

P2WW-1512-17Z0

---

**Fujitsu Scanner Control SDK**  
Version 2.1 L31

リファレンスマニュアル

---

**FUJITSU**



- ・本製品の一部または、全部を弊社の許可なく複写、複製、配布、転載を行うことは、その形態、理由を問わず禁止いたします。
- ・本製品の内容、仕様に関しては、改善のため、事前連絡なしに変更することがあります。
- ・本ソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。
- ・本製品の内容に関しては、万全を期しておりますが、万が一、お気づきの点等ありましたら、弊社迄ご連絡ください。

## 注意事項

- ・富士通、FUJITSU は、富士通株式会社の登録商標です。
- ・Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Visual Basic、Visual C++および Visual C#は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ActiveX は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- ・Intel、MMX、Pentium はIntel Corporation の登録商標です。
- ・Adobe Reader はAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の登録商標です。
- ・VRSはKofax Image Products, Inc. の登録商標および商標です。
- ・Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- ・Sun、Sun Microsystems、Sun ロゴ、Solaris およびすべての Solaris に関する商標及びロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- ・Eclipse はEclipse Foundation, Inc.の登録商標です。
- ・その他の一般製品名、社名は各社の商標または登録商標です。

## 本書の略称

本書では、オペレーティングシステムを以下のように表記しています。

Windows® 2000 Professional :  
Windows® 2000 Professional operating system

Windows® XP Professional :  
Windows® XP Professional operating system

Windows® XP Home Edition :  
Windows® XP Home Edition operating system

Windows Server® 2003 :  
Windows Server® 2003 operating system

Windows Server® 2003 R2 :  
Windows Server® 2003 R2 operating system

Windows Vista® Home Basic :  
Windows Vista® Home Basic operating system

Windows Vista® Home Premium :  
Windows Vista® Home Premium operating system

Windows Vista® Business :  
Windows Vista® Business operating system

Windows Vista® Enterprise :  
Windows Vista® Enterprise operating system

Windows Vista® Ultimate :  
Windows Vista® Ultimate operating system

Windows Server® 2008 :  
Windows Server® 2008 operating system

Windows Server® 2008 R2 :  
Windows Server® 2008 R2 operating system

Windows® 7 Home Premium :  
Windows® 7 Home Premium operating system

Windows® 7 Professional :  
Windows® 7 Professional operating system

Windows® 7 Enterprise :  
Windows® 7 Enterprise operating system

Windows® 7 Ultimate :  
Windows® 7 Ultimate operating system

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しない場合は、Windows® と表記しています。  
Windows® XP Professional と Windows® XP Home Edition を区別しない場合は、Windows® XP と表記しています。  
Windows Server® 2003 と Windows Server® 2003 R2 を区別しない場合は、Windows Server® 2003 と表記しています。  
Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business、  
Windows Vista® EnterpriseとWindows Vista® Ultimate を区別しない場合は、Windows Vista® と表記します。  
Windows Server® 2008 と Windows Server® 2008 R2 を区別しない場合は、Windows Server® 2008 と表記しています。  
Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 EnterpriseとWindows® 7 Ultimate を区別しない場合は、Windows® 7と表記します。

開発ツールを以下のように表記しています。

Visual Basic® .NET 2003 :

Microsoft® Visual Basic® .NET 2003 development system

Visual Basic® 2005 :

Microsoft® Visual Basic® 2005 development system

Visual Basic® 2008 :

Microsoft® Visual Basic® 2008 development system

Visual Basic® 2010 :

Microsoft® Visual Basic® 2010 development system

Visual C++® .NET 2003 :

Microsoft® Visual C++® .NET 2003 development system

Visual C++® 2005 :

Microsoft® Visual C++® 2005 development system

Visual C++® 2008 :

Microsoft® Visual C++® 2008 development system

Visual C++® 2010 :

Microsoft® Visual C++® 2010 development system

Visual C#® .NET 2003 :

Microsoft® Visual C#® .NET 2003 development system

Visual C#® 2005 :

Microsoft® Visual C#® 2005 development system

Visual C#® 2008 :

Microsoft® Visual C#® 2008 development system

Visual C#® 2010 :

Microsoft® Visual C#® 2010 development system

Java™ SE 6

Java SE Development Kit (JDK™) 6

上記の開発ツールのバージョンを区別しない場合は、Visual Basic® .NET、Visual C++® .NET、Visual C#® .NET、Java™ と表記しています。

FUJITSU fiシリーズイメージスキャナ用デバイスドライバを以下のように表記しています。

FUJITSU TWAIN32 ドライバ

## はじめに

このたびは、「Fujitsu Scanner Control SDK」をご購入いただきましてありがとうございます。

本製品は、FUJITSU fi シリーズイメージスキャナをアプリケーションから制御するための開発キットです。

TWAIN 規約に準拠した「FUJITSU TWAIN32 ドライバ」を使用して画像データを取り込むアプリケーションを開発していただくための情報とサンプルソースコードを提供しております。Windows®用カスタムコントロール(ActiveX Control)形式のライブラリとして提供しておりますので、Visual Basic® .NET、Visual C++® .NET、Visual C#® .NET、Java™等のコンピュータ言語でお使いいただくことができます。

本書では上記のカスタムコントロールを以降、単にコントロールもしくは Fujitsu Scanner Control と記述します。

本製品は、各種プログラミング言語の知識および、Windows® に関する知識をお持ちの方を対象としております。

FUJITSU fi シリーズイメージスキャナについては、下記ホームページをご参照ください。

(日本語) <http://imagescanner.fujitsu.com/jp/>  
(英語) <http://imagescanner.fujitsu.com/>

本製品をお使いになる前に、FUJITSU TWAIN32 デバイスドライバおよび本製品の README ファイルも必ずご覧ください。README ファイルは、この製品をお使いになる前にお読みいただきたい注意事項や、オンラインヘルプなどに含まれていない最新の追加情報が含まれています。

### [高度な安全性が要求される用途への使用について]

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的な用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切責任を負いかねます。

株式会社 PFU

## 目次 <Contents>

はじめに .....	VI
<b>1. 概要および本製品の特徴 .....</b>	<b>1</b>
1.1 本製品の特徴 .....	1
1.2 システム要件 .....	2
1.2.1 ハードウェア環境 .....	2
1.2.2 サポートイメージスキャナおよびオプション .....	2
1.2.3 ソフトウェア環境 .....	4
1.3 セットアップCDの構成 .....	6
1.4 互換性 .....	6
<b>2. インストール方法 .....</b>	<b>8</b>
2.1 Fujitsu Scanner Control SDKのインストール .....	8
2.1.1 インストーラの起動 .....	8
2.1.2 インストールの開始 .....	10
2.1.3 製品ライセンス .....	10
2.1.4 情報の確認 .....	10
2.1.5 インストール先フォルダの選択 .....	11
2.1.6 プログラムフォルダの選択 .....	11
2.1.7 ファイルのコピー開始 .....	12
2.1.8 インストールの完了 .....	13
2.2 Fujitsu Scanner Control SDKのアンインストール .....	14
2.3 Fujitsu Scanner Control Runtimeのインストール .....	16
2.3.1 インストーラの起動 .....	16
2.3.2 インストールの開始 .....	17
2.3.3 製品ライセンス .....	17
2.3.4 ファイルのコピー開始 .....	18
2.3.5 インストールの完了 .....	19
2.4 Fujitsu Scanner Control Runtimeのアンインストール .....	20
2.5 プロジェクトへの組み込み方法 .....	22
2.6 プロジェクトからの削除方法 .....	23
2.7 開発したプログラムの配布方法について .....	24
<b>3. リファレンス .....</b>	<b>26</b>
3.1 プロパティ .....	26
3.1.1 プロパティ一覧 .....	26
3.1.2 本章の用例および表記方法 .....	29
3.1.3 AutoBorderDetection .... 自動原稿サイズ検出 .....	30
3.1.4 AutoSeparation .... 自動像域分離 .....	31
3.1.5 Background .... 下地追従 .....	32
3.1.6 BackgroundColor .... 背景色(黒背景,白背景)の設定 .....	33
3.1.7 Binding.... 両面とじ方向 .....	34
3.1.8 Brightness .... 明るさ .....	35
3.1.9 CloseSourceUI .... ソースのユーザーインターフェース (UI) クローズ設定 .....	36
3.1.10 CompressionType .... データ圧縮形式 .....	37
3.1.11 Contrast .... コントラスト .....	39
3.1.12 CustomGamma .... カスタムガンマ .....	40
3.1.13 CustomPaperLength .... カスタム原稿の長さ .....	41

3.1.14	CustomPaperWidth .... カスタム原稿の横幅.....	43
3.1.15	CustomResolution .... カスタム解像度.....	44
3.1.16	DoubleFeed .... ダブルフィード検出 .....	45
3.1.17	Endorser .... エンドーサー/インプリンタの設定.....	46
3.1.18	EndorserCountDirection .... エンドーサー/インプリンタカウンタのステップ方向設定 .....	47
3.1.19	EndorserCounter .... エンドーサー/インプリンタカウンタの初期値設定 .....	48
3.1.20	EndorserCountStep .... エンドーサー/インプリンタカウンタのステップ値設定 .....	50
3.1.21	EndorserDirection .... エンドーサー/インプリンタの印字方向の設定 .....	51
3.1.22	EndorserOffset .... エンドーサー/インプリンタの印字開始位置の設定.....	52
3.1.23	EndorserString .... エンドーサー/インプリンタ文字列の設定 .....	53
3.1.24	ErrorCode .... エラー情報の取得 .....	55
3.1.25	FileCounter .... ファイル連番の設定 .....	56
3.1.26	FileName .... ファイル名 .....	57
3.1.27	FileType .... ファイル形式(イメージデータ形式) .....	59
3.1.28	Filter .... ドロップアウトカラー .....	61
3.1.29	Gamma .... ガンマ補正.....	63
3.1.30	GammaFile .... ガンマパターンファイル名 .....	64
3.1.31	Halftone .... ハーフトーン .....	65
3.1.32	HalftoneFile .... ハーフトーンパターンファイル.....	67
3.1.33	Highlight .... ハイライト .....	68
3.1.34	ImageScanner .... イメージスキヤナ名の取得.....	69
3.1.35	Indicator.... プログレスインジケーターの表示設定 .....	70
3.1.36	ExistsFB .... イメージスキヤナのフラットベッド (FB) の有無.....	71
3.1.37	JobControl .... ジョブ制御の設定 .....	72
3.1.38	JpegQuality.... Jpegデータ圧縮レベル .....	73
3.1.39	LongPage .... 長い原稿 (長尺帳票) の読み取りの設定 .....	74
3.1.40	Mirroring .... 鏡像 (左右反転) .....	76
3.1.41	MultiFeed .... マルチフィード検出 .....	77
3.1.42	NoiseRemoval .... ゴミ取りモード.....	78
3.1.43	Orientation .... 原稿方向の設定.....	79
3.1.44	Outline .... 輪郭に関する補正機能.....	80
3.1.45	OverScan .... オーバースキャンの設定.....	82
3.1.46	Overwrite .... ファイルの上書き設定.....	83
3.1.47	PageCount .... 読み取り枚数の取得.....	85
3.1.48	PaperSize .... 原稿サイズ.....	86
3.1.49	PaperSupply .... 紙給方法 .....	88
3.1.50	ParentAppName .... 呼び出し元アプリケーション名の指定 .....	91
3.1.51	PixelType .... 画素タイプ .....	92
3.1.52	PreFiltering .... ボールペンフィルタ .....	94
3.1.53	RegionLeft .... 読み取り領域の左端位置 .....	95
3.1.54	RegionLength .... 読み取り領域の長さ .....	96
3.1.55	RegionTop .... 読み取り領域の上端位置 .....	98
3.1.56	RegionWidth .... 読み取り領域の横幅 .....	99
3.1.57	Report .... レポート出力 .....	101
3.1.58	ReportFile .... レポートファイル名 .....	102
3.1.59	Resolution .... 定型解像度 .....	103
3.1.60	Reverse .... 白黒反転.....	105
3.1.61	Rotation .... 回転角度の設定 .....	106
3.1.62	ScanCount .... 読み取りページ数.....	107
3.1.63	ScanTo .... 読み取りデータの出力方法.....	109
3.1.64	SEE .... 選択的強調 .....	110
3.1.65	Shadow .... シャドウ .....	111

3.1.66	ShowSourceUI .... ソースのユーザーインターフェース (UI) 表示設定	113
3.1.67	SilentMode .... サイレントモードの設定	115
3.1.68	SkipBlackPage.... 黒原稿のスキップ	116
3.1.69	SkipWhitePage.... 白原稿のスキップ	117
3.1.70	Smoothing .... OCRスムージングモード／背景除去	118
3.1.71	SourceCurrentScan .... ソースのカレント値で読み取り	119
3.1.72	Threshold .... スレッシュホールド	121
3.1.73	ThresholdCurve.... 自動 2 値時の濃度カーブ	122
3.1.74	TwainDS .... データソースの設定	123
3.1.75	UndefinedScanning .... 不定長読み取り (後端検出) の設定	125
3.1.76	Unit .... 寸法単位(インチ/センチ/ピクセル)	126
<b>3.2 メソッド</b>		<b>127</b>
3.2.1	メソッド一覧	127
3.2.2	本章の用例および表記規則	128
3.2.3	AboutBox .... バージョン情報ダイアログの表示	129
3.2.4	CancelScan .... イメージの読み取り中止	130
3.2.5	ClearPage.... 原稿の排出処理	131
3.2.6	CloseScanner .... スキャナのクローズを行う	133
3.2.7	FeederLoaded .... ADFの原稿の有無の通知	134
3.2.8	GetCapability.... キャパビリティの取得	135
3.2.9	GetSlpcTemplateCount .... テンプレート総数の取得	136
3.2.10	GetSlpcTemplateName .... テンプレート名の取得	138
3.2.11	GetSlpcTemplateSelect .... 選択されているテンプレート番号の取得	140
3.2.12	GetTWAINTemplateCount .... 設定ファイル総数の取得	141
3.2.13	GetTWAINTemplateName .... 設定ファイル名の取得	143
3.2.14	GetTWAINTemplateSelect .... 選択されている設定ファイル番号の取得	144
3.2.15	OpenScanner .... スキャナのオープンを行う	145
3.2.16	ScannerAvailable .... イメージキャナの利用可否	146
3.2.17	SelectSource .... ソースの選択	148
3.2.18	SetCapability .... キャパビリティの設定	150
3.2.19	SetSlpcTemplateSelect .... テンプレート番号の指定	151
3.2.20	SetTWAINTemplateSelect .... 設定ファイル番号の指定	152
3.2.21	SetupDataSourceProperties.... 設定のみ可能なUIを表示する	153
3.2.22	StartScan .... イメージの読み取り開始	155
<b>3.3 イベント</b>		<b>159</b>
3.3.1	イベント一覧	159
3.3.2	本章の用例および表記規則	160
3.3.3	DetectJobSeparator .... 特殊原稿の検出通知	161
3.3.4	NegotiateCapabilities .... キャパビリティ設定通知	162
3.3.5	ScanToDib .... DIBハンドルの受け渡し	163
3.3.6	ScanToFile .... ファイル渡し	164
3.3.7	ScanToRaw .... メモリ渡し	165
<b>3.4 プロパティページ</b>		<b>166</b>
<b>4. サンプル</b>		<b>169</b>
4.1	基本操作	169
4.2	項目名	169
4.3	SoftIPC Template	171
4.4	TWAIN Template	172
4.5	Visual Basic®.NET / Visual C#®.NETサンプル画面	173
4.6	Visual C++®.NETサンプル画面	175
4.7	Java™ サンプルプログラム	177

5. 付録 .....	178
5.1 各装置で有効となるプロパティ .....	178
5.2 エラー番号とエラー時の対処方法 .....	198
5.3 プロパティにおける相関関係 .....	204
5.4 プロパティにおける優先順位 .....	210
5.5 画像処理ソフトウェアオプションを利用する場合に有効な指定 .....	210
5.6 用語説明 .....	211

# 1. 概要および本製品の特徴

## 1.1 本製品の特徴

- ・本章は、「FUJITSU TWAIN32 ドライバ」を使用して、FUJITSU fi シリーズイメージスキャナより画像データを取り込むための Windows®用カスタムコントロール（ActiveX Control）の仕様について記述したものです。
- ・本コントロールは、「FUJITSU TWAIN32 ドライバ」を使用して、FUJITSU fi シリーズイメージスキャナの特性をサポートすることにより、アプリケーションでのスキャナの組み込みをより簡単にします。そのため、スキャナの機種毎の違いをアプリケーションが意識する必要がありません。

### 1) Windows®アプリケーションからの簡単な呼び出し

Windows®用カスタムコントロール（ActiveX Control）により、Visual Basic® .NET, Visual C++® .NET, Visual C#® .NET, Java™ の統合開発環境から簡単に呼び出すことが可能です。

### 2) FUJITSU fi シリーズイメージスキャナへの最適化

煩雑なTWAINインターフェースを直接呼び出すことなく、FUJITSU fi シリーズイメージスキャナの高度な機能を制御することが可能になります。また、機種間の違いを意識しないでお使いいただけます。<sup>1</sup>

---

<sup>1</sup> ただし、例えば、A4 サイズまでしか読み取りをできない装置で、A3 サイズの読み取りを指定した場合などの使用できない機能は、有効にはなりません。

## 1.2 システム要件

### 1.2.1 ハードウェア環境

以下のすべてを満たすこと。

Intel® Pentium®以上のプロセッサ及び機能互換のプロセッサをもつ DOS/V 互換機
CD-ROM ドライブ
ASPI に準拠した SCSI カード、もしくは、USB 1.1 以降に準拠したハードウェア ※お使いの装置および、ハードウェア環境に依存します。
20MB 以上の空き領域をもつハードディスク ドライブ
RAM64MB 以上(TWAIN ドライバの必要なサイズを含む)

### 1.2.2 サポートイメージスキャナおよびオプション

以下の FUJITSU fi シリーズイメージスキャナ

- fi-6800
- fi-6770
- fi-6770A
- fi-6750S
- fi-6670
- fi-6670A
- fi-6240Z
- fi-6240
- fi-6140Z
- fi-6140
- fi-6230Z
- fi-6230
- fi-6130Z
- fi-6130
- fi-6110
- fi-5950
- fi-5900C
- fi-5750C
- fi-5650C
- fi-5530C/C2
- fi-5220C
- fi-5120C
- fi-5110C
- fi-5015C
- fi-4860C2
- fi-4340C
- fi-60F

ただし、FUJITSU fi シリーズイメージスキャナに添付の「FUJITSU TWAIN32 ドライバ」はお使いになれない場合があります。本製品に添付の版数をお使いください。

以下のオプション

－インプリンタ(エンドーサ)

fi-680PRF, fi-680PRB インプリンタ (fi-6800)  
fi-667PR インプリンタ (fi-6670, fi-6670A)

fi-614PR インプリンタ (fi-6140/fi-6140Z、fi-6130/ fi-6130Z)

fi-590PRB, fi-590PRF インプリンタ (fi-5900C/fi-5950)

fi-553PRFR,fi-553PR インプリンタ (fi-5530C/C2)

fi-512PR インプリンタ (fi-5120C)

fi-486PRFR,fi-486PRRE インプリンタ (fi-4860C2)

fi-434PR インプリンタ (fi-4340C)

fi-565PR インプリンタ (fi-5650C)

—画像処理ボード

FI-IPC4D (fi-4340C)

—画像処理ソフトウェアオプション

FI-SIPC2 (サポート対応機種や対応OSは、fiシリーズイメージスキャナのホームページをご参照ください。)

—スキャナ共用装置

fi-5000N

### 1.2.3 ソフトウェア環境

#### オペレーティングシステム

以下のいずれか。

Windows® 2000 Professional
Windows® XP Home Edition
Windows® XP Professional
Windows Server® 2003, Standard Edition
Windows Server® 2003 R2, Standard Edition
Windows Vista® Home Basic
Windows Vista® Home Premium
Windows Vista® Business
Windows Vista® Enterprise
Windows Vista® Ultimate
Windows Server® 2008 Standard
Windows Server® 2008 R2 Standard
Windows® 7 Home Premium
Windows® 7 Professional
Windows® 7 Enterprise
Windows® 7 Ultimate

本製品は32bit アプリケーション用ライブラリです。64bit オペレーティングシステム上でもご利用になれます。64bit アプリケーションは開発できません。

#### 開発環境

以下のいずれか。

Visual Basic® .NET 2003 *1
Visual Basic® 2005 *2, *3
Visual Basic® 2008 *4, *5
Visual Basic® 2010 *6
Visual C++® .NET 2003 *1
Visual C++® 2005 *2, *3
Visual C++® 2008 *4, *5
Visual C++® 2010 *6
Visual C#® .NET 2003 *1
Visual C#® 2005 *2, *3
Visual C#® 2008 *4, *5
Visual C#® 2010 *6
Java™ SE Development Kit (JDK™) 6 *7

本製品には、上記開発環境で使用できるサンプルソースコードと実行形式が添付されています。  
(ただし日本語版または英語版のサンプルとなります。)

\*1 :Visual Basic® .NET 2003、Visual C++® .NET 2003、Visual C#® .NET 2003 は Windows Vista®、Windows Server® 2008、Windows® 7 ではご利用になれます。

\*2 : Visual Basic® 2005、Visual C++® 2005、Visual C#® 2005 を Windows Server® 2003 でご使用する場合は、Windows Server® 2003 Service Pack 1 の適用が必要です。

\*3 :Visual Basic® 2005、Visual C++® 2005、Visual C#® 2005 を Windows Vista®、Windows Server® 2008、Windows® 7 でご使用する場合は、Service Pack 1 および Visual Studio 2005 Service Pack 1 Update for Windows Vista の適用が必要です。

\*4 :Visual Basic® 2008、Visual C++® 2008、Visual C#® 2008 は Windows® 2000 Professional ではご利用になれます。

\*5 :Visual Basic® 2008、Visual C++® 2008、Visual C#® 2008 は、Windows Server® 2008 R2、Windows® 7 でご使用する場合は、Service Pack 1 の適用が必要です。

\*6 :Visual Basic® 2010、Visual C++® 2010、Visual C#® 2010 は Windows® 2000 Professional ではご利用になれます。

\*7 :Java をご使用する場合は、64bit オペレーティングシステム上でも、32bit 版をご使用ください。

### その他

本製品は VRS をサポートしていません。

本書を表示するには、Adobe® Reader™ 7.0.8 または、それ以降をご使用ください。

## 1.3 セットアップCDの構成

本製品のセットアップCDには、以下が含まれます。

- 1) Fujitsu Scanner Control SDK V2.1L31 (スキャナコントロール)
- 2) Fujitsu Scanner Control SDK V2.1L31 リファレンスマニュアル[本書]
- 3) Fujitsu Scanner Control SDK V2.1L31 サンプルソースコード
- 4) Fujitsu Scanner Control Runtime V2.1L31 (作成したプログラム配布時に必要)
- 5) Scanner Utility for Microsoft Windows FUJITSU TWAIN32 ドライバ
- 6) Scanner Utility for Microsoft Windows FUJITSU TWAIN32 ドライバ 取扱説明書

## 1.4 互換性

Fujitsu Scanner Control SDK V2.1L31 で開発されたお客様のアプリケーションは、同一バージョン・レベルか、それより新しいSDKもしくはランタイム環境で動作させてください。古いSDKバージョンで作成されたアプリケーションは、より新しいランタイム環境で動作しますので、複数のバージョンで開発されたアプリケーションを実行させる場合、パソコンのランタイム環境は、それらの最新バージョンをご使用ください。

Scanner Control SDK V2.1L23A 以前を使用してアプリケーションの開発を行っていた場合、以下の環境で作成されたアプリケーションは「'AxFiScnLib.AxFiScn' が定義されていません。」のエラーが発生し、正常にビルドができなくなります。

これは、本製品に含まれるコントロールのバージョンがアップしたためです。

- Visual Basic® .NET 2003
- Visual Basic® 2005
- Visual Basic® 2008
- Visual Basic® 2010
- Visual C#® .NET 2003
- Visual C#® 2005
- Visual C#® 2008
- Visual C#® 2010

なお、コントロールはバージョン間で動作互換があるため、アプリケーション実行時の動作には影響ありません。

Scanner Control SDK V2.1L23A 以前を使用してアプリケーションの開発を行っていた環境に本製品をインストールしてしまった場合は、以下のいずれかの処置をいただくことにより対応することが可能となります。

- 当初使用していた Scanner Control SDK に戻す。
  - 1) 本製品をアンインストールします。
  - 2) 当初使用していた Scanner Control SDK を再インストールします。

-本製品を使用する。

- 1) 本製品をアンインストールします。
- 2) 当初使用していた Scanner Control SDK を再インストールします。
- 3) アプリケーションのプロジェクトを開き、フォームに貼り付けられた OCX を削除します。
- 4) ソリューションエクスプローラの参照設定(※)から、"AxFiScnLib"と"FiScnLib"を削除

- します。
- 5) プロジェクトのフォルダに格納されている “AxInterop.FiScnLib.dll” と “Interop.FiScnlib.dll”を全て削除します(Bin フォルダ、および Obj フォルダに格納されています)。
  - 6) 本製品をインストールします。
  - 7) アプリケーションのプロジェクトを開き、フォームに OCX を貼り付けます。

※Visual Basic® 2005、Visual Basic® 2008 および Visual Basic® 2010 の場合は、ソリューションのプロパティを開き、参照を選択します。

## 2. インストール方法

### 2.1 Fujitsu Scanner Control SDKのインストール

#### 2.1.1 インストーラの起動

インストーラ画面には、以下のインストール項目があります。

—Fujitsu Scanner Control SDK V2.1

Fujitsu Scanner Control SDKのインストールに関する項目です。

SDKのインストール、ランタイムのインストールを行います。

以降の手順に従ってインストールしてください。

—FUJITSU TWAIN32

FUJITSU TWAIN32のインストールに関する項目です。

※FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバがインストールされていない場合、または、バージョンが古い場合はインストールが必要です。（バージョンは、TWAINドライバを起動して、[バージョン情報...]ボタンで確認できます。）

—Microsoft® .NET Framework™

Microsoft® .NET Framework™のダウンロードに関する項目です。

—Adobe® Reader™

Adobe® Reader™のダウンロードに関する項目です。

※リファレンスマニュアルおよび、取扱説明書を参照する場合は、インストールされている必要があります。

—Sun Microsystems Java™

Sun Microsystems Java™のダウンロードに関する項目です。

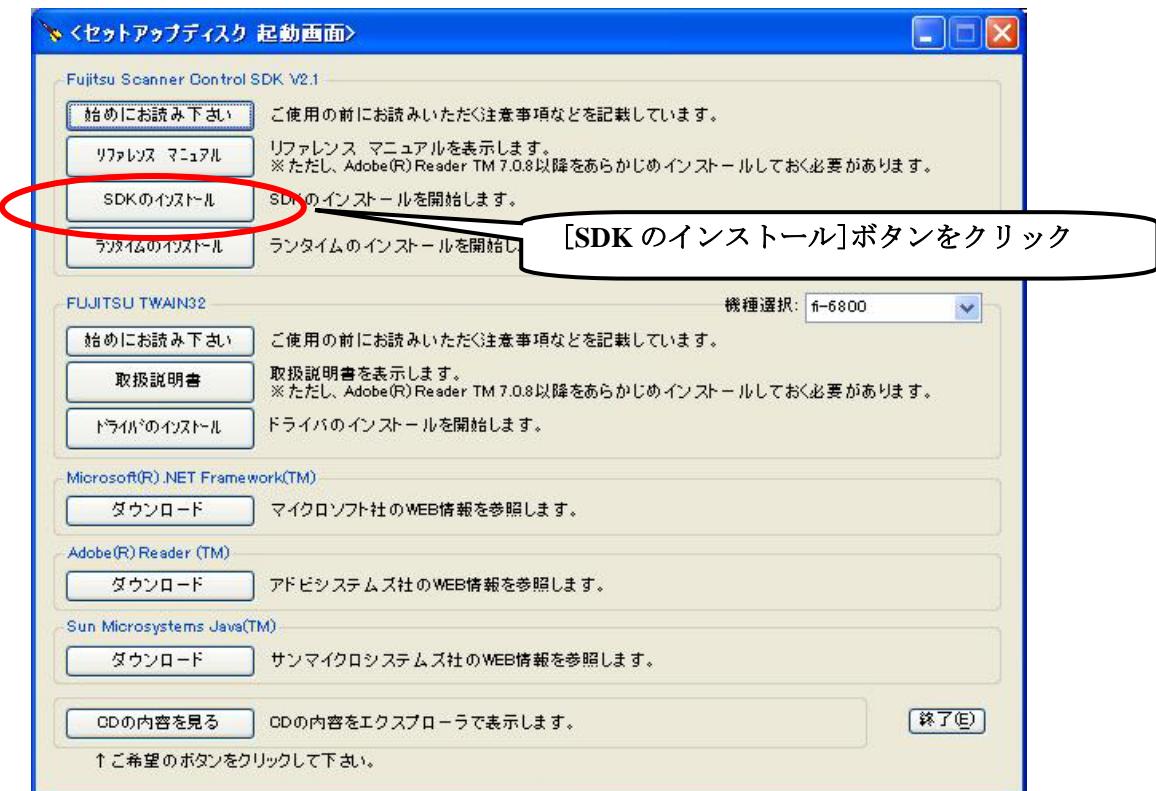
—CDの内容を見る

エクスプローラを起動し、CDの内容を表示します。

以下に、インストーラの起動方法を記述します。

“Fujitsu Scanner Control SDK CD-ROM”をCDドライブにセットすると、以下の画面が表示されます。

「Fujitsu Scanner Control SDK V2.1」の[SDKのインストール]ボタンをクリックします。



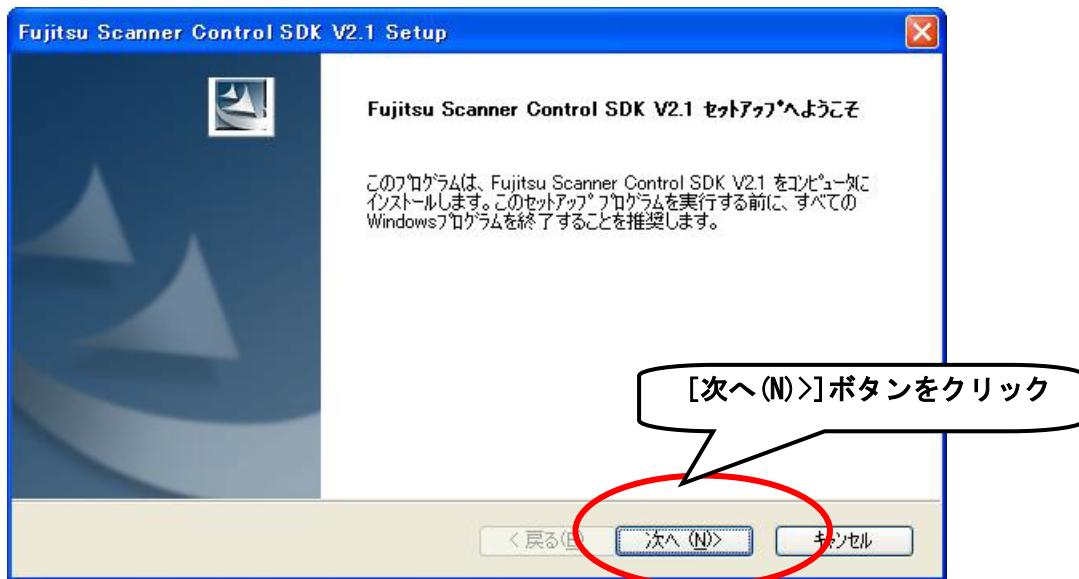
### 注意

お使いのパソコンのCDドライブの自動再生設定がOFFになっていると、上記画面が表示されない場合があります。その場合は、エクスプローラを用いて、CD-ROM の[Bin] フォルダ内の“PDFLaunch.exe”を直接実行してください。

インストールする場合は、Administrator権限 (Windows® XP Home Edition ではコンピュータの管理者権限)のあるユーザー名でログインしてからインストールしてください。

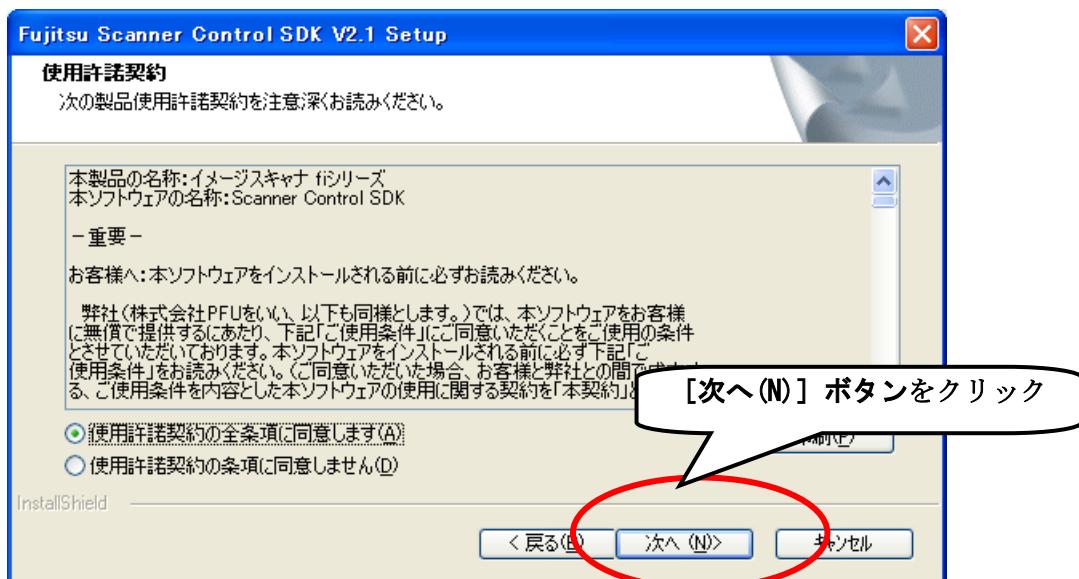
## 2.1.2 インストールの開始

インストールの準備が完了すると、以下のダイアログが表示されますので [次へ(N)] ボタンをクリックします。



## 2.1.3 製品ライセンス

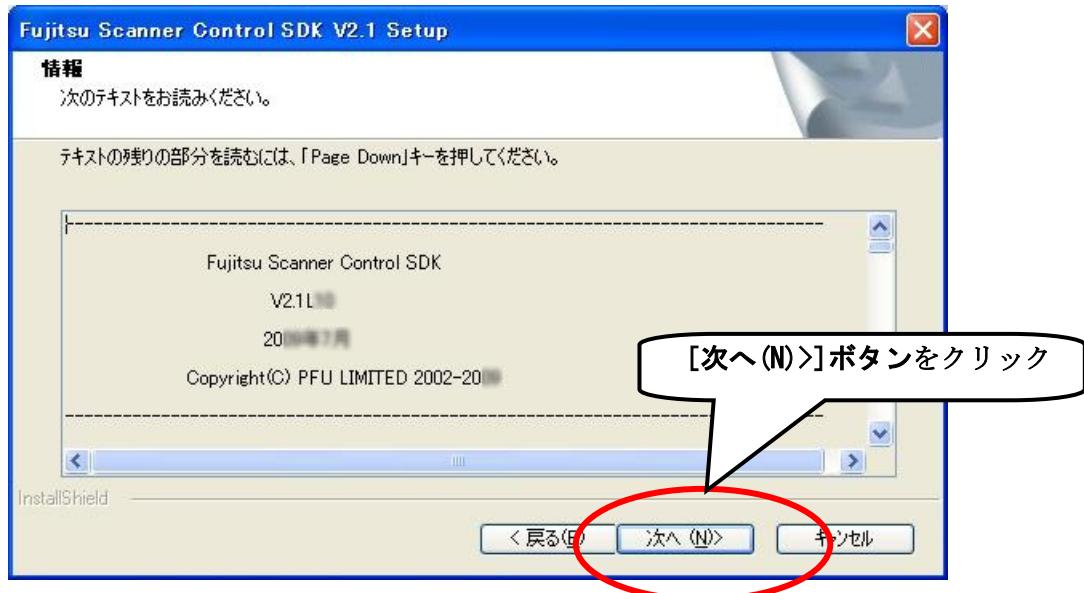
「使用許諾契約」の内容をよくお読みの上、使用条件に同意いただける場合は「使用許諾契約の全項目に同意します(A)」を選択し、[次へ(N)] ボタンをクリックします。



## 2.1.4 情報の確認

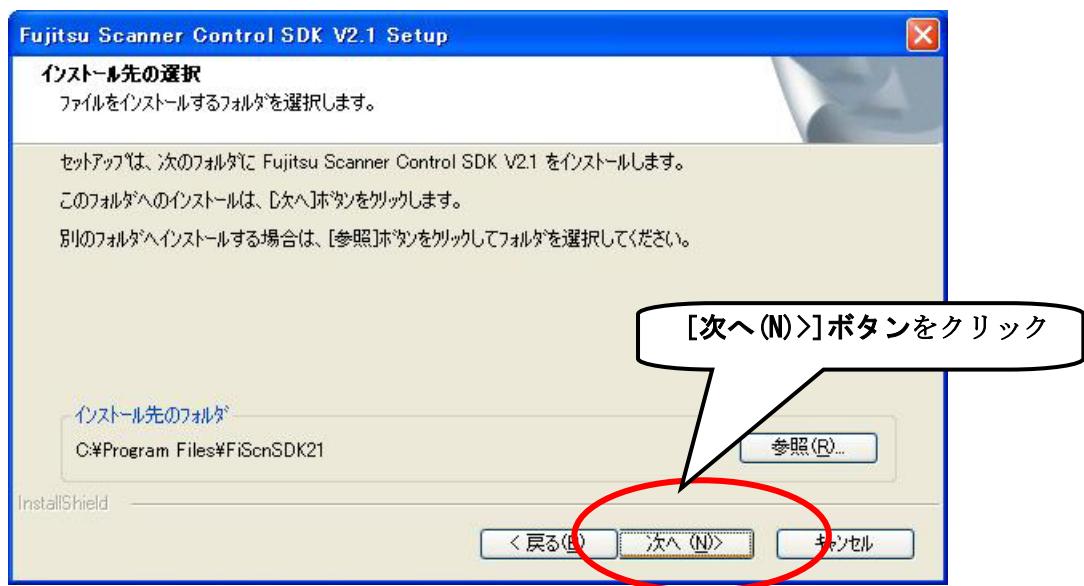
情報 (Readme.txt) が表示されます。内容を確認できたら、[次へ(N)] ボタンをクリック

します。



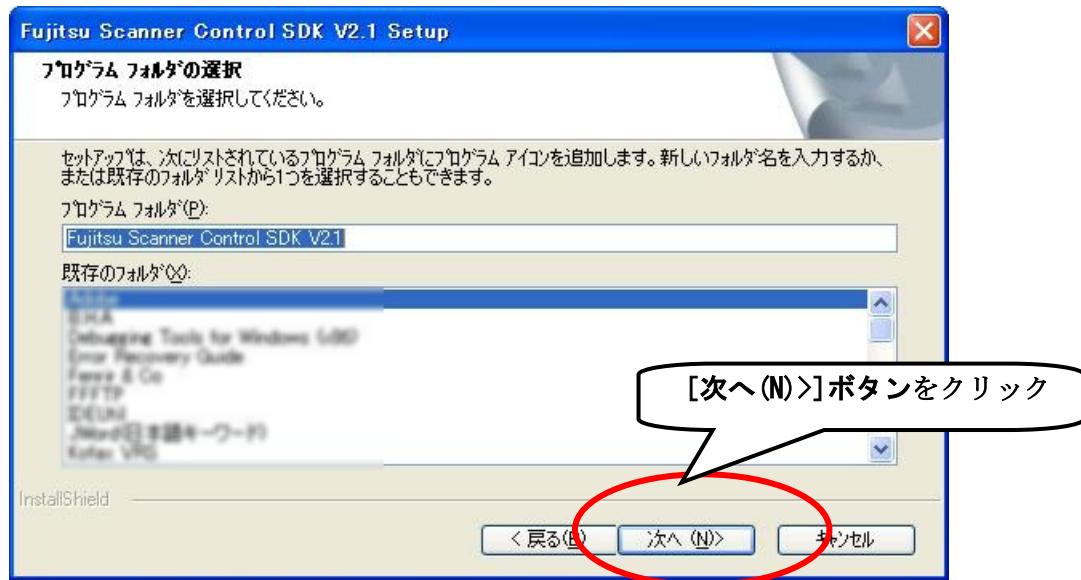
## 2.1.5 インストール先フォルダの選択

表示の既定フォルダへインストールする場合は、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。インストール先フォルダを変更したい場合は、[参照(R)...] ボタンをクリックしてインストール先を変更します。



## 2.1.6 プログラムフォルダの選択

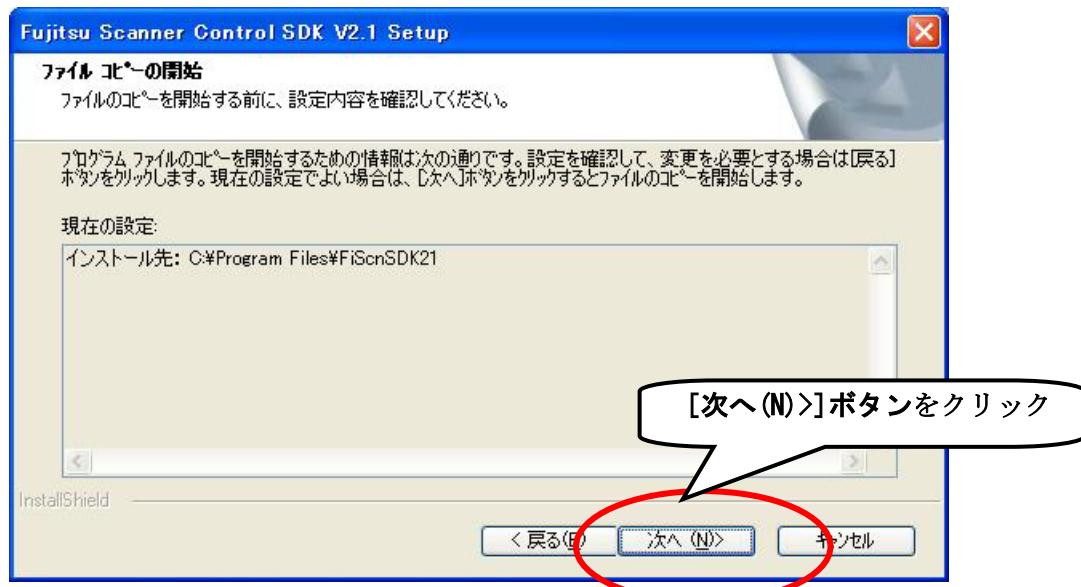
表示の既定フォルダへインストールする場合は、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。フォルダ名を変更したい場合は、[プログラムフォルダ(P)]に直接入力するか、[既存のフォルダ(X)]リストからフォルダ名を選択します。



## 2.1.7 ファイルのコピー開始

設定内容でよい場合は、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

設定内容を変更する場合は、[戻る(B)] ボタンをクリックします。



## 2.1.8 インストールの完了

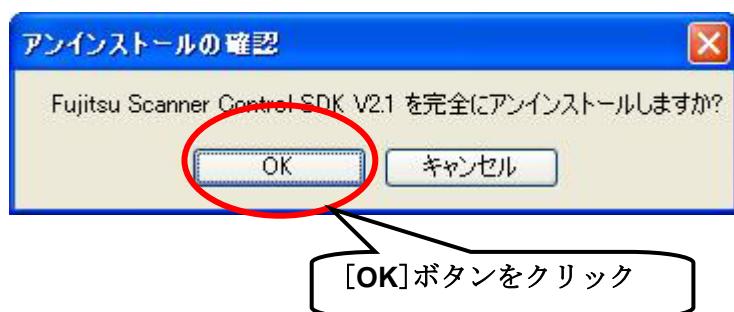
必要なファイルがコピーされ、セットアップが完了すると以下のダイアログが表示されます。  
[完了] ボタンをクリックしてインストールを終了します。



## 2.2 Fujitsu Scanner Control SDKのアンインストール

本製品を削除する場合は、以下の手順でアンインストールしてください。

1. [スタート]ボタンから、[設定]—[コントロールパネル]—[アプリケーションの追加と削除]のアイコンをダブルクリックします。  
(Windows® XP および Windows Server® 2003 の場合は[コントロールパネル]—[プログラムの追加と削除] のアイコンをダブルクリックします。Windows Vista®、Windows Server® 2008 および Windows® 7 は[コントロールパネル]—[プログラムと機能] のアイコンをクリックします。)
2. 現在インストールされているプログラムの一覧が表示されますので、その中から “Fujitsu Scanner Control SDK V2.1” を選択して、[変更と削除]ボタンをクリックします。  
(Windows® XP および Windows Server® 2003 の場合は[削除]ボタンをクリックします。Windows Vista®、Windows Server® 2008 および Windows® 7 は[アンインストール]ボタンをクリックします。)
3. 以下のダイアログが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



4. アンインストールが完了すると、以下のダイアログが表示されますので、[完了]ボタンをクリックします。



また、再起動用のダイアログが表示された場合、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択

して、[完了]ボタンをクリックします。



#### 注意

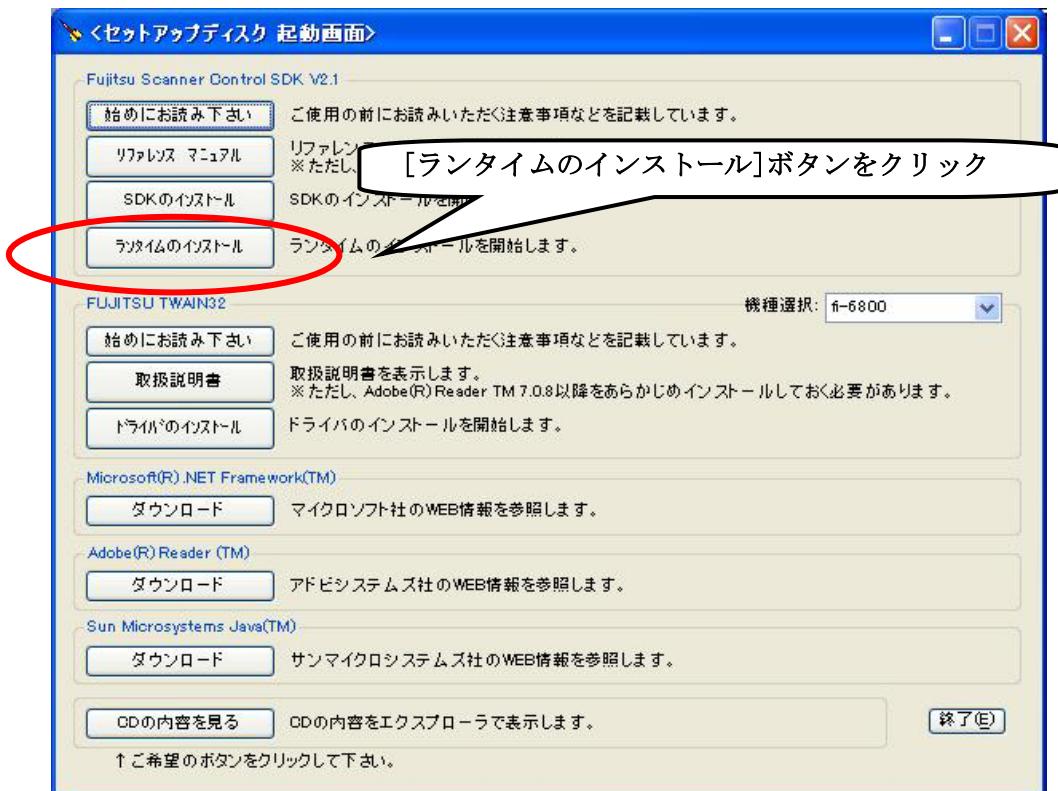
アンインストールする場合は、Administrator権限(Windows® XP Home Edition ではコンピュータの管理者権限)のあるユーザー名でログインしてからアンインストールしてください。

## 2.3 Fujitsu Scanner Control Runtimeのインストール

### 2.3.1 インストーラの起動

“Fujitsu Scanner Control SDK CD-ROM”をCDドライブにセットすると、以下の画面が表示されます。

「Fujitsu Scanner Control SDK V2.1」の[ランタイムのインストール]ボタンをクリックします。



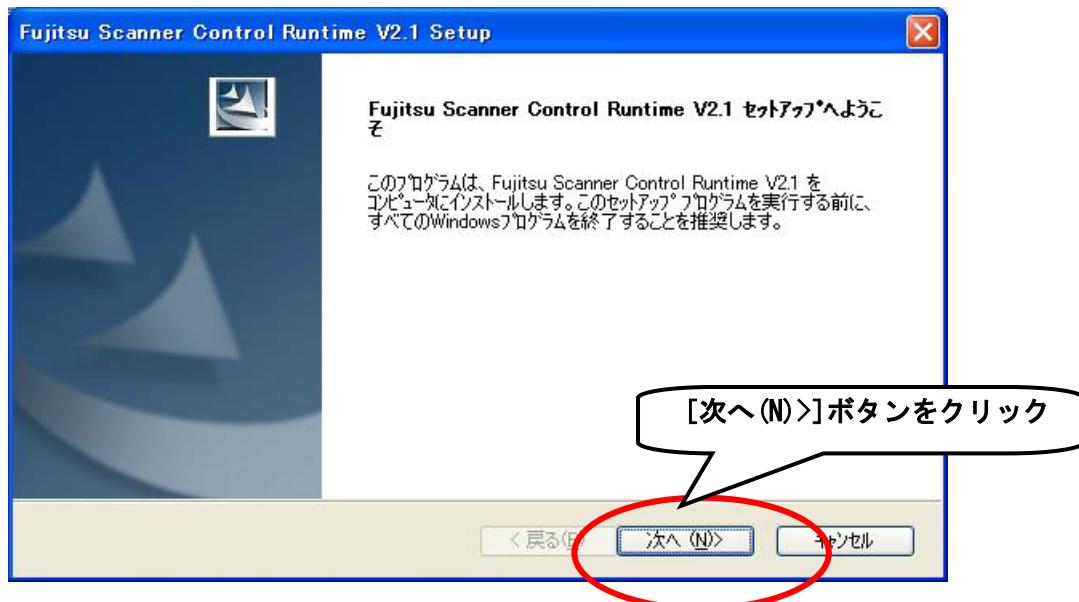
#### 注意

お使いのパソコンのCDドライブの自動再生設定がOFFになっていると、上記画面が表示されない場合があります。その場合は、エクスプローラを用いて、CD-ROMの[Bin]フォルダ内の“PDFLaunch.exe”を直接実行してください。

インストールする場合は、Administrator権限(Windows® XP Home Editionではコンピュータの管理者権限)のあるユーザー名でログインしてからインストールしてください。

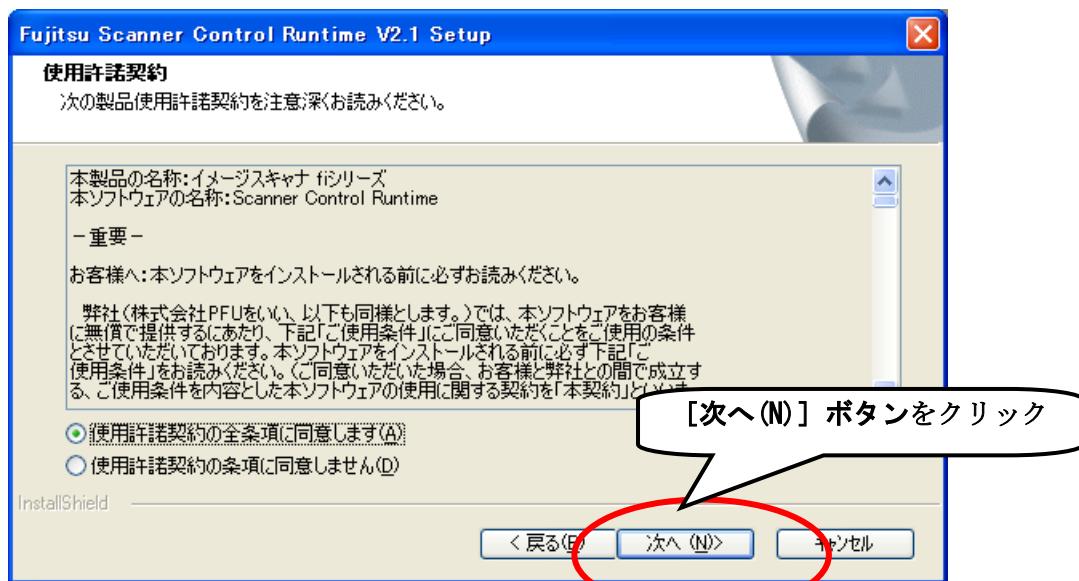
### 2.3.2 インストールの開始

インストールの準備が完了すると、以下のダイアログが表示されますので [次へ(N)>] ボタンをクリックします。



### 2.3.3 製品ライセンス

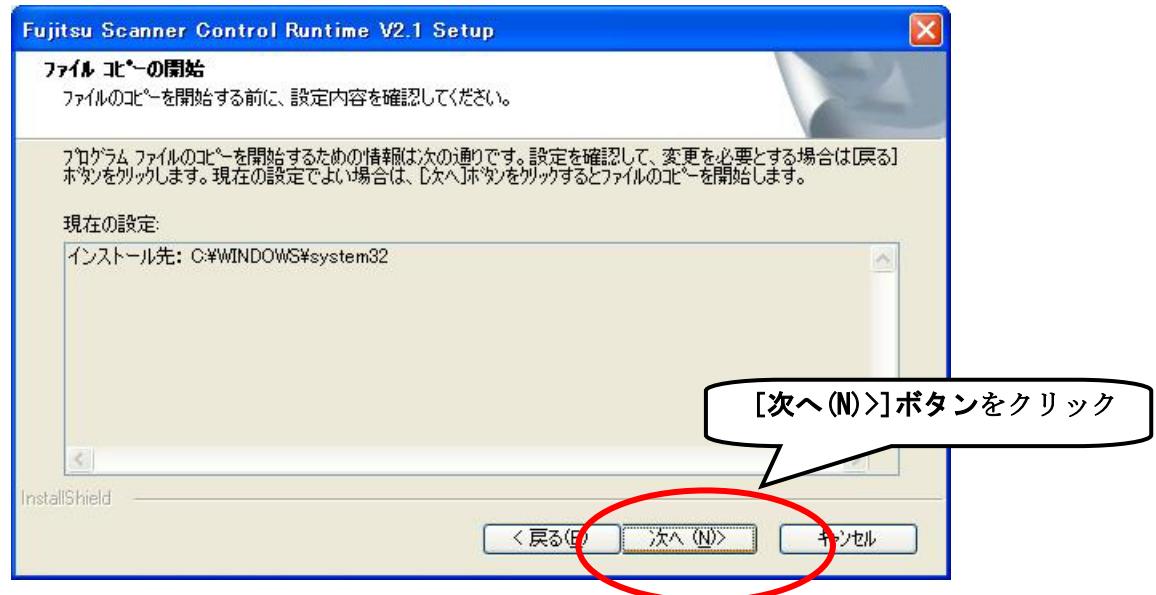
「使用許諾契約」の内容をよくお読みの上、使用条件に同意いただける場合は「使用許諾契約の全項目に同意します(A)」を選択し、[次へ(N)] ボタンをクリックします。



### 2.3.4 ファイルのコピー開始

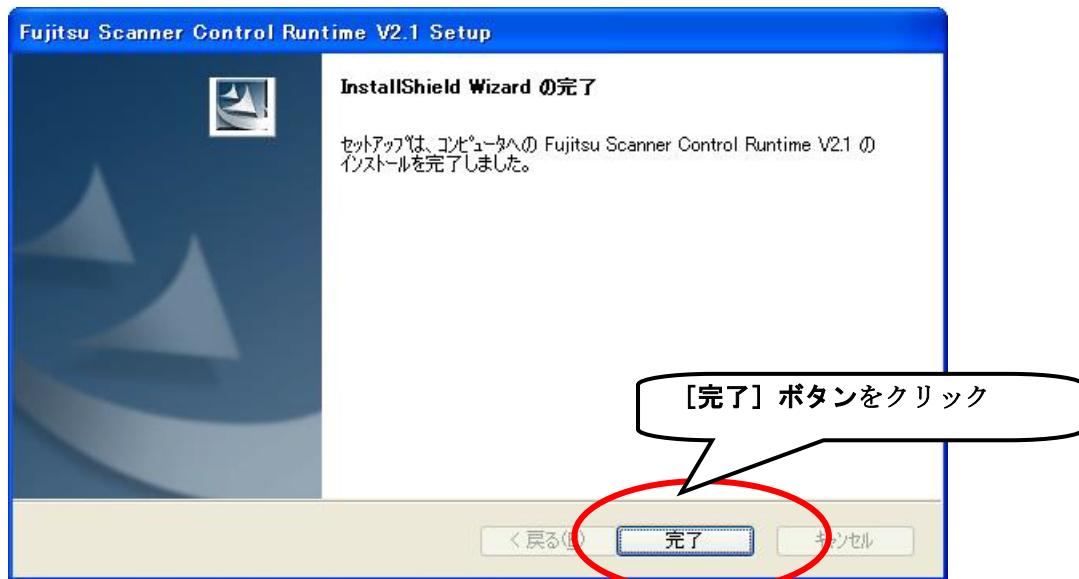
設定内容でよい場合は、[次へ(N)>] ボタンをクリックします。

設定内容を変更する場合は、[戻る(B)]ボタンをクリックします。



### 2.3.5 インストールの完了

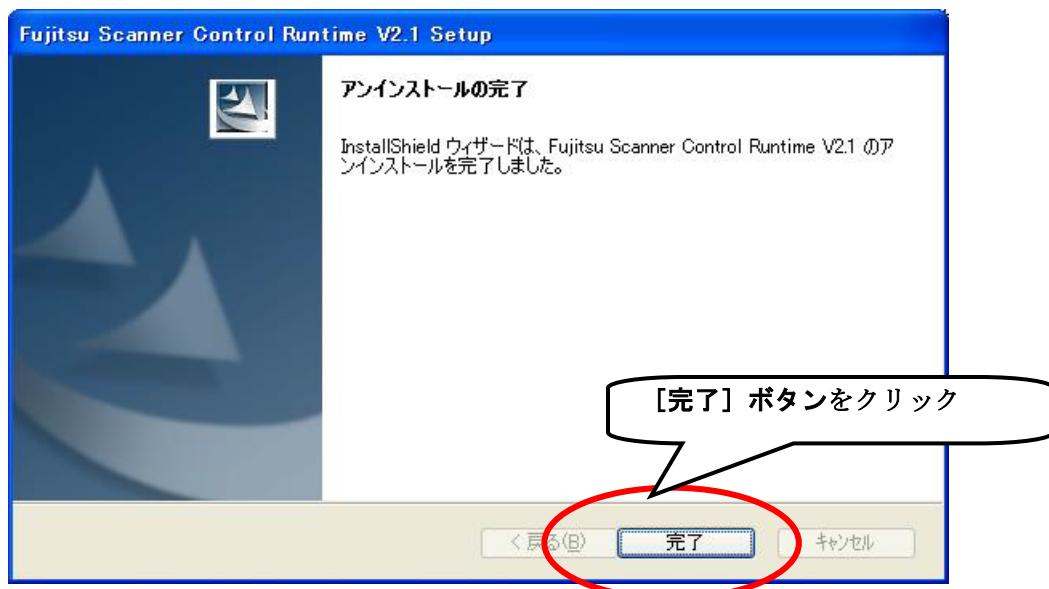
必要なファイルがコピーされ、セットアップが完了すると以下のダイアログが表示されます。  
[完了] ボタンをクリックしてインストールを終了します。



## 2.4 Fujitsu Scanner Control Runtimeのアンインストール

本製品を削除する場合は、以下の手順でアンインストールしてください。

1. [スタート]ボタンから、[設定]—[コントロールパネル]—[アプリケーションの追加と削除]のアイコンをダブルクリックします。  
(Windows® XP および Windows Server® 2003 の場合は[コントロールパネル]—[プログラムの追加と削除] のアイコンをダブルクリックします。Windows Vista®、Windows Server® 2008 および Windows® 7 は[コントロールパネル]—[プログラムと機能] のアイコンをクリックします。)
2. 現在インストールされているプログラムの一覧が表示されますので、その中から “Fujitsu Scanner Control Runtime V2.1” を選択して、[変更と削除]ボタンをクリックします。  
(Windows® XP および Windows Server® 2003 の場合は [削除] ボタンをクリックします。Windows Vista®、Windows Server® 2008 および Windows® 7 は[アンインストール]ボタンをクリックします。)
3. アンインストールが完了すると、以下のダイアログが表示されますので、[完了]ボタンをクリックします。



また、再起動用のダイアログが表示された場合、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択して、[完了]ボタンをクリックします。



### 注意

アンインストールする場合は、Administrator権限(Windows® XP Home Edition ではコンピュータの管理者権限)のあるユーザー名でログインしてからアンインストールしてください。

## 2.5 プロジェクトへの組み込み方法

### Visual Basic® .NET / Visual C++® .NET / Visual C#® .NET の場合

- (1) ツールボックスを右クリックし、[ツールボックスのカスタマイズ(X)...]を選択します。
- (2) COM コンポーネントタブで、名前が「Fujitsu Scanner Control」のコンポーネントにチェックを付け、[OK] ボタンをクリックします。
- (3) ツールボックスに Fujitsu Scanner Control の新しいアイコンが表示されます。

### Visual Basic® 2005 / Visual Basic® 2008 / Visual Basic® 2010 / Visual C++® 2005 / Visual C++® 2008 / Visual C++® 2010 / Visual C#® 2005 / Visual C#® 2008 / Visual C#® 2010 の場合

- (1) ツールボックスを右クリックし、[アイテムの選択(I)...]を選択します。
- (2) COM コンポーネントタブで、名前が「Fujitsu Scanner Control」のコンポーネントにチェックを付け、[OK] ボタンをクリックします。
- (3) ツールボックスに Fujitsu Scanner Control の新しいアイコンが表示されます。

#### 注意

##### - Visual C++® 2010

OCX を貼り付けたダイアログを再度表示した場合、以下のメッセージが表示される場合は [はい]を選択してください。

「現在のリソース (\*.rc) ファイルには、1 つ以上の ActiveX コントロールが含まれています。リソース ファイルの提供者を信頼する場合は、[はい]をクリックして ActiveX コントロールを初期化して使用してください。信頼しない場合は、[いいえ]をクリックして終了してください。」

#### Java™ の場合

Eclipse V3.5.0 を使用した場合の手順を説明します。

- (1) プロジェクトのプロパティ画面を表示します。
- (2) 「Java のビルド・パス」を選択し、[ライブラリー(L)]タブで、[外部 JAR の追加(X)...]ボタンをクリックします。
- (3) 「JAR の選択」画面の「ファイルの場所」を「<Program Files Common>\Fujitsu\Scanner Control SDK」\*1、「ファイル名」には「Fiscn.jar」を選択し、[開く(O)]ボタンをクリックします。
- (4) プロパティ画面の[OK]ボタンをクリックします。
- (5) プロジェクトに「Fiscn.jar」が表示されます。

\*1:<Program Files Common>は、システムがインストールされたドライブが C ドライブの場合、以下を示します。

32bit オペレーティングシステム : "C:\Program Files\Common Files"

64bit オペレーティングシステム : "C:\Program Files (x86)\Common Files"

## 2.6 プロジェクトからの削除方法

### Visual Basic® .NET / Visual C++® .NET / Visual C#® .NET の場合

- (1) ツールボックスを右クリックし、[ツールボックスのカスタマイズ(X)...]を選択します。
- (2) COM コンポーネントタブで、名前が「Fujitsu Scanner Control」のコンポーネントからチェックをはずし、[OK] ボタンをクリックします。
- (3) ツールボックスから Fujitsu Scanner Control のアイコンが削除されます。

### Visual Basic® 2005 / Visual Basic® 2008 / Visual Basic® 2010 / Visual C++® 2005 / Visual C++® 2008 / Visual C++® 2010 / Visual C#® 2005 / Visual C#® 2008 / Visual C#® 2010 の場合

- (1) ツールボックスを右クリックし、[アイテムの選択(I)...]を選択します。
- (2) COM コンポーネントタブで、名前が「Fujitsu Scanner Control」のコンポーネントからチェックをはずし、[OK] ボタンをクリックします。
- (3) ツールボックスから Fujitsu Scanner Control のアイコンが削除されます。

### Java™ の場合

Eclipse V3.5.0 を使用した場合の手順を説明します。

- (1) プロジェクトのプロパティ画面を表示します。
- (2) 「Java のビルド・パス」を選択し、[ライブラリー(L)]タブで、「FiScn.jar」を選択します。
- (3) 「除去(R)」ボタンをクリックします。
- (4) プロパティ画面の[OK]ボタンをクリックします。
- (5) プロジェクトから「Fiscn.jar」が削除されます。

## 2.7 開発したプログラムの配布方法について

本製品を使用して開発されたプログラムを他のコンピュータ(PC)に配布し、動作させるためには、本製品に含まれるいくつかのファイルを同時に配布し、使用されるコンピュータ(PC)にインストールして頂く必要があります。ここでは、そのときの注意事項を記載いたします。

### 1) FUJITSU TWAIN32 ドライバ

Readme を含め、一切の変更（ディレクトリ構成等）を加えてはなりません。CD に含まれているインストーラの形にて、そのまま配布しインストールする必要があります。以下のディレクトリのすべてを同時に配布してください。

- a) fi-6140Z, fi-6240Z, fi-6130Z, fi-6230Z をご使用の場合  
CD-ROM: ¥Driver8
- b) fi-6110 をご使用の場合  
CD-ROM: ¥Driver7
- c) fi-6800, fi-5950 をご使用の場合  
CD-ROM: ¥Driver6
- d) fi-6110, fi-6800, fi-5950, fi-5015C, fi-4860C2, fi-4340C, fi-6140Z, fi-6240Z, fi-6130Z, fi-6230Z 以外をご使用の場合  
CD-ROM: ¥Driver5
- e) fi-60F をご使用の場合  
CD-ROM: ¥Driver4
- f) fi-5015C をご使用の場合  
CD-ROM: ¥Driver3
- g) fi-4340C をご使用の場合  
CD-ROM: ¥Driver2
- h) fi-4860C2 をご使用の場合  
CD-ROM: ¥Driver1

### 2) ランタイムライブラリ

Readme を含め、一切の変更（ディレクトリ構成等）を加えてはなりません。

CD に添付された “Fujitsu Scanner Control Runtime V2.1” のインストーラで使用するコンピュータ(PC)にインストールしてください。開発したプログラムに必要なスキナコントロールファイルが、インストールされます。以下のディレクトリのすべてを同時に配布してください。

CD-ROM: ¥FiScnRun

### 3) その他のファイル

配布することは出来ません。

注意

Microsoft® Visual Basic® .NET、Microsoft® Visual C++® .NET、Microsoft® Visual C#® .NET、Microsoft® Visual Basic® 2005、Microsoft® Visual C++® 2005、Microsoft® Visual C#® 2005、Microsoft® Visual Basic® 2008、Microsoft® Visual C++® 2008、Microsoft® Visual C#® 2008、Microsoft® Visual Basic® 2010、Microsoft® Visual C++® 2010、Microsoft® Visual C#® 2010 を使用して開発されたプログラムを他のコンピュータ(PC)に配布し、動作させるためには、アプリケーションの開発環境と同一のランタイムライブラリが必要です。

ランタイムライブラリの再頒布パッケージは、マイクロソフト社のウェブページ  
(<http://www.microsoft.com/ja-jp>)から入手できます。

### 3.リファレンス

Visual Basic®.NET / Visual C++®.NET / Visual C#®.NET について説明します。

Java™に関しては、以下のメニューを選択し、HTML 形式の API ドキュメントを参照してください。

(Microsoft Internet Explorer のバージョン 6.0 以降をご使用ください。)

[スタート メニュー]→[プログラム]→[Fujitsu Scanner Control SDK V2.1]→[Javadoc]

#### 3.1 プロパティ

##### 3.1.1 プロパティ一覧

Fujitsu Scanner Control SDK がサポートするプロパティにおいてグループ別にまとめたものを以降に記述します。

プロパティ名	説明	項番
<b>装置の属性をあらわすグループ</b>		
<a href="#">ImageScanner</a>	イメージスキャナ名を取得します。	3.1.34
<a href="#">IsExistsFB</a>	フラットベッド (FB) をサポートしているかどうか装置情報を取得します。	3.1.36
<b>ドライバの属性(または給紙方法)</b>		
<a href="#">CloseSourceUI</a>	ソースのユーザーインターフェース (UI) を読み取り後クローズするかどうかを設定します。	3.1.9
<a href="#">ErrorCode</a>	各メソッドがエラー終了した時のエラーの情報を取得します。	3.1.24
<a href="#">Indicator</a>	読み取り中のプログレスインジケーターを表示するかどうかを設定します。	3.1.35
<a href="#">LongPage</a>	指定可能な用紙サイズに対して、最大の長さを超えるような長い用紙 (長尺帳票) の読み取りを設定します。	3.1.39
<a href="#">PageCount</a>	読み取り枚数を取得します。	3.1.44
<a href="#">PaperSupply</a>	原稿の給紙方法 (フラットベッド、ADF など) を設定します。	3.1.49
<a href="#">ScanCount</a>	原稿の読み取り枚数を指定します。	3.1.62
<a href="#">ShowSourceUI</a>	ソースのユーザーインターフェース (UI) を表示するかどうかを設定します。	3.1.66
<a href="#">SilentMode</a>	エラーメッセージを通知 (表示) するかどうか設定します。	3.1.67
<a href="#">SourceCurrentScan</a>	ソースが現在設定されている値で読み取りを行うかどうかを設定します。	3.1.71
<a href="#">TwainDS</a>	読み取りに使用する TWAIN データソースを設定します。	3.1.74
<b>画像フォーマットの属性/送信先</b>		
<a href="#">CompressionType</a>	データの圧縮形式を設定します。	3.1.10
<a href="#">FileCounter</a>	ファイル名に付ける開始連番を設定します。	3.1.25
<a href="#">FileName</a>	イメージを保存するファイル名を設定します。 (拡張子除く)	3.1.26
<a href="#">FileType</a>	出力するファイルのイメージデータ形式を設定します。	3.1.27
<a href="#">JpegQuality</a>	JPEG のデータ圧縮レベルを指定します。	3.1.38
<a href="#">Overwrite</a>	ファイルを上書きするかどうか指定します。	3.1.46
<a href="#">ScanTo</a>	読み取りデータの出力方法 (ファイル、DIB ハンドルなど) を設定します。	3.1.63

プロパティ名	説明	項番
<b>画像の属性</b>		
<a href="#">AutoSeparation</a>	自動像域分離処理を設定します。	3.1.4
<a href="#">Background</a>	下地追従処理を設定します。	3.1.5
<a href="#">Brightness</a>	明るさを指定します。	3.1.8
<a href="#">Contrast</a>	コントラストを設定します。	3.1.11
<a href="#">CustomGamma</a>	任意のガンマ値を指定します。 ガンマパターンで、カスタムが設定されたときの「カスタム値」を指定します。	3.1.12
<a href="#">CustomPaperLength</a>	カスタムサイズ原稿の長さを設定します。	3.1.13
<a href="#">CustomPaperWidth</a>	カスタムサイズ原稿の横幅を設定します。	3.1.14
<a href="#">CustomResolution</a>	読み取り解像度を指定します。 (カスタム)	3.1.15
<a href="#">Filter</a>	ドロップアウトカラーを設定します。	3.1.28
<a href="#">Gamma</a>	ガンマパターンの種類 (ソフト/シャープ/ダウンロード/カスタム) を設定します。	3.1.29
<a href="#">GammaFile</a>	任意のガンマパターンファイルを指定します。	3.1.30
<a href="#">Halftone</a>	ハーフトーンパターンを指定します。	3.1.31
<a href="#">HalftoneFile</a>	ハーフトーンパターンファイルを指定します。	3.1.32
<a href="#">Highlight</a>	ハイライトを設定します。	3.1.33
<a href="#">Mirroring</a>	鏡像反転処理を設定します。	3.1.40
<a href="#">NoiseRemoval</a>	ごみ取り機能 (画像の小さい点をゴミとみなして、自動的に除去する機能) を設定します。	3.1.42
<a href="#">Orientation</a>	原稿方向 (縦置き/横置き) を設定します。	3.1.43
<a href="#">Outline</a>	輪郭に関する補正処理を設定します。	3.1.44
<a href="#">PaperSize</a>	原稿サイズを指定します。	3.1.48
<a href="#">PixelType</a>	画素タイプ (白黒二値, グレー, カラー) を設定します。	3.1.51
<a href="#">PreFiltering</a>	ボールペンフィルタを設定します。	3.1.52
<a href="#">RegionLeft</a>	読み取り領域の左端位置を指定します。	3.1.53
<a href="#">RegionLength</a>	読み取り領域の長さを指定します。	3.1.54
<a href="#">RegionTop</a>	読み取り領域の上端位置を指定します。	3.1.55
<a href="#">RegionWidth</a>	読み取り領域の横幅を指定します。	3.1.56
<a href="#">Resolution</a>	読み取り解像度を指定します。 (定型)	3.1.59
<a href="#">Reverse</a>	白黒反転処理を設定します。	3.1.60
<a href="#">SEE</a>	選択的強調処理を設定します。	3.1.64
<a href="#">Smoothing</a>	OCR スムージング/背景除去 (線画のギザギザ部分を滑らかにし、背景のムラを取り除く機能) を設定します。	3.1.70
<a href="#">Threshold</a>	スレッシュホールド (しきい値) を設定します。	3.1.72
<a href="#">ThresholdCurve</a>	自動 2 値読み取り時の濃度カーブを設定します。	3.1.73
<a href="#">Shadow</a>	シャドウを設定します。	3.1.65

プロパティ名	説明	項番
<b>動作に関する属性</b>		
<a href="#">AutoBorderDetection</a>	自動原稿サイズ検出(原稿のサイズを検出し、読み取った画像をそのサイズで出力)を設定します。	3.1.3
<a href="#">BackgroundColor</a>	背景色を設定します。	3.1.6
<a href="#">Binding</a>	両面読み取り時のとじ方向を設定します。	3.1.7
<a href="#">DoubleFeed</a>	ダブルフィード検出機能(一度に2枚以上の原稿が重なって給紙される)を設定します。	3.1.16
<a href="#">Endorser</a>	エンドーサー/インプリンタの使用可否を設定します。	3.1.17
<a href="#">EndorserCountDirection</a>	エンドーサー/インプリンタカウンタのステップ方向(増/減)を指定します。	3.1.18
<a href="#">EndorserCounter</a>	エンドーサー/インプリンタカウンタの初期値を指定します。	3.1.19
<a href="#">EndorserCountStep</a>	エンドーサー/インプリンタカウンタのステップ値を指定します。	3.1.20
<a href="#">EndorserDirection</a>	エンドーサー/インプリンタの印字方向を指定します。	3.1.21
<a href="#">EndorserOffset</a>	エンドーサー/インプリンタの印字開始位置を指定します。	3.1.22
<a href="#">EndorserString</a>	エンドーサー/インプリンタで印字する文字列を指定します。	3.1.23
<a href="#">JobControl</a>	特殊原稿(特定形状の原稿)を検出した場合の処理を指定します。	3.1.37
<a href="#">MultiFeed</a>	マルチフィード検出機能(一度に2枚以上の原稿が重なって給紙される)を設定します。	3.1.41
<a href="#">OverScan</a>	オーバースキャンの設定を行います。	3.1.45
<a href="#">Rotation</a>	読み取ったイメージを回転する角度を指定します。	3.1.61
<a href="#">SkipBlackPage</a>	ADF連続読み取り時にブランクページ(真っ黒な紙)をとばして読み取りする機能を設定します。	3.1.68
<a href="#">SkipWhitePage</a>	ADF連続読み取り時にブランクページ(白紙)をとばして読み取りする機能を設定します。	3.1.69
<a href="#">UndefinedScanning</a>	不定長読み取りを設定します。	3.1.75
<a href="#">Unit</a>	寸法単位(インチ/センチ/ピクセル)を設定します。	3.1.76
<b>その他</b>		
<a href="#">ParentAppName</a>	呼び出し元のアプリケーション名を指定します。	3.1.50
<a href="#">Report</a>	読み取り結果報告の出力方法を設定します。	3.1.57
<a href="#">ReportFile</a>	読み取り結果をファイル出力する際のファイル名を指定します。	3.1.58

### 3.1.2 本章の用例および表記方法

#### 機能

プロパティの機能概要を説明します。

#### 書式

プログラムを記載する場合のプロパティの記述方法および書式を示します。

Visual Basic®.NET の表記規則にそって記載いたします。

例) [form.] scancontrolname.ScanTo [= Short]

構文中の角かっこ ([ ]) で囲まれた項目は、省略可能であることを示します。

#### 設定値

設定または参照できる値の一覧及び説明を記載します。

#### 初期値

コントロール(OCX)がロード時に持っている初期状態での値について記載します。

#### 解説

使用目的やその機能について記載します。加えて、注意事項や相関するプロパティについての制限なども必要に応じて併記します。

#### 対象メソッド

このメソッドを処理する事でこのプロパティの状態が変化するものの一覧を示します。

#### 関連プロパティ

プロパティ同士で影響を受け合うもの全てを記述します。

#### 値の設定

値の設定を行うことができる状態を記述します。デザイン時は、開発環境(Visual Basic®, Visual C++®, Visual C#®, Java™, 等)において、コントロール(OCX)を使うアプリケーションの設計時の状態(環境)を示し、実行時は、実際にコントロール(OCX)を使ったアプリケーションの動作時の状態を示します。

設定をしても実際には値の有効無効は分かりません。(値が範囲外であれば分かります。) 実際には、あるメソッドを実行してからで、それまでは、その値の正当性は判別できません。

設定不可は2通りの意味があり、1つ目に、設定値を変更するとあるメソッド実行時にエラーが返るような場合。2つ目は、設定値を変更しても、その値自身が無視される場合があります。

#### 値の参照

参照を行う事ができる状態を記述します。

実行時: これから実行される対象メソッドで有効となるはずの値または1つ前のメソッドでの実行結果を示します。

#### エラーリカバリ

不正な値を設定された場合や不正な処理が起きた時の対処方法を記述します。

#### 互換性、制限事項

バージョンの違いにより機能に差があるものや機能制限があるものを記述します。

### 3.1.3 AutoBorderDetection .... 自動原稿サイズ検出

#### 機能

自動原稿サイズ検出機能を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.AutoBorderDetection [= Boolean ]

#### 設定値

True 原稿サイズ検出を行う  
False 原稿サイズ検出を行わない

#### 初期値

False 原稿サイズ検出を行わない

#### 解説

ADF 読み取り時、原稿サイズを検出し、読み取った画像をその原稿サイズで出力します。  
また、原稿が傾いた状態で読み取られた場合は、原稿の傾きを検出してその傾きを自動で修正します。

(注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[BackgroundColor](#)  
[OverScan](#)  
[PaperSupply](#)  
[UndefinedScanning](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。  
また、装置によって、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを「0 – False」を設定し、読み取り処理を行います。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

AutoBoarderDetection プロパティは、V2.0L10 にてこの AutoBorderDetection に名称が変わりました。AutoBoarderDetection プロパティと記述しても正しく動作しますが、これは V2.0L10 よりも前の SDK で作成したソースプログラムをそのまま、V2.0L10 以降の SDK を使って再度コンパイルするための互換として用意されています。ただし将来のメジャー・バージョンアップ時点で、コンパイルができなくなる場合があります。アプリケーションを新規に開発する場合、あるいはプログラムに修正を行なう際には、AutoBoarderDetection ではなく本プロパティ名を使用するようにしてください。

### 3.1.4 AutoSeparation .... 自動像域分離

#### 機能

自動像域分離処理を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**AutoSeparation** [= Short]

#### 設定値

0 – OFF	自動像域分離処理を行わない
1 – ON	自動像域分離処理を行う

#### 初期値

0 – OFF	自動像域分離処理を行わない
---------	---------------

#### 解説

自動像域分離処理を有効(1-ON)にした場合、線画(文字)領域と、画像(写真)領域を区別して、線画部分は「2値白黒」で読み取り、写真画像部分は「中間調白黒(ハーフトーン)」で読み取ります。写真と線画／文字が混在した文書に適しています。

このプロパティは、PixelType プロパティに「0 – Black & White」が設定されているときのみ有効になります。

画像処理ボード(fi-4860C2 は装置に内蔵)を持たない装置では、本プロパティはサポートされていないため、読み取り実行時に OFF(自動像域分離処理を行わない)が設定されます。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[Halftone](#)

[PixelType](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

PixelType プロパティに「1 – Grayscale」、「2 – RGB」が設定されていると、本プロパティを無視し、読み取り処理を行います。また、Halftone プロパティが「0 – None」に設定されている場合は、Halftone プロパティを「1 – Dither Pattern 0」(濃い写真画像用)に設定します。

本プロパティがサポートされていない装置において、本プロパティに「1 – ON」が設定されている場合、読み取った画像に Halftone の効果が生じる場合があります。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.5 Background .... 下地追従

#### 機能

下地追従処理を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Background [= Integer ]

#### 設定値

0 - OFF	なし(無効)
1 - ON	あり(有効)
2 - AUTO	自動

#### 初期値

0 - OFF	なし
---------	----

#### 解説

下地追従(なし・あり・自動)を設定します。

※下地追従とは、下地色(背景色)が白色でない原稿を読み取る場合に、コントラストを自動追従補正することを意味します。

新聞紙などのように、地色が白でない用紙を読み取る場合に有効です。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

なし

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値は更新されません。

また、装置によって、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.6 BackgroundColor .... 背景色(黒背景,白背景)の設定

#### 機能

背景色(黒背景または白背景)を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname. **BackgroundColor** [= Short ]

#### 設定値

0 – OFF	なし
1 – ON	あり(白または黒)

#### 初期値

0 – OFF	なし
---------	----

#### 解説

ADF 読み取り時の背景色を設定します。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[AutoBorderDetection](#)  
[OverScan](#)  
[PaperSupply](#)  
[UndefinedScanning](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。  
また、装置によって、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

値の 0-OFF および 1-ON は、V2.0L20 までは 0-White および 1-Black と記述されていました。動作は変わりません。

### 3.1.7 Binding.... 両面とじ方向

#### 機能

両面読み取り時のとじ方向を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Binding [ = Short ]

#### 設定値

0 – Side	左右とじ
1 – Height	上下とじ

#### 初期値

0 – Side	左右とじ
----------	------

#### 解説

左右とじ「0 – Side」が指定された場合は、両面とも読み取った画像そのままの状態で出力します。  
上下とじ「1 – Height」が指定された場合は、裏面のみ、読み取った画像を 180° 回転して出力します。  
このプロパティは、PaperSupply プロパティが、「2 – ADF(Duplex)」が設定された時のみ有効となります。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PaperSupply](#)

[ScanTo](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.8 Brightness .... 明るさ

#### 機能

明るさを指定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Brightness [= Short]

#### 設定値

1(明るい) ~ 255(暗い) の範囲内の値

#### 初期値

128

#### 解説

読み取り時のイメージの明るさを設定します。

注) 他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[AutoSeparation](#)

[Halftone](#)

[PaperSupply](#)

[PixelType](#)

[SEE](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値(1 ~ 255 以外)を設定した場合には、値の更新は行いません。

また、装置によって、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.9 CloseSourceUI .... ソースのユーザーインターフェース (UI) クローズ設定

#### 機能

ソースのユーザーインターフェース (UI) を読み取り後クローズするかどうかを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.CloseSourceUI [= Boolean ]

#### 設定値

True 読み取り終了後ソースのユーザーインターフェースをクローズする  
False 読み取り終了後ソースのユーザーインターフェースをクローズしない

#### 初期値

False 読み取り終了後ソースのユーザーインターフェースをクローズしない

#### 解説

本プロパティに True を指定すると、読み取り終了後、自動的にユーザーインターフェース (UI) をクローズします。

このプロパティは、ShowSourceUI プロパティが、「True」に設定された時のみ有効となります。

注) 他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ShowSourceUI](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

ShowSourceUI プロパティに「False」が設定されていると、本プロパティを無視し、読み取り処理を行います。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.10 CompressionType .... データ圧縮形式

## 機能

データの圧縮形式を設定します。

## 書式

[form.] **scancontrolname.CompressionType** [= Short]

## 設定值

0 – No Compress	なし(非圧縮)
1 – CCITT G3(1D)	MH 圧縮
2 – CCITT G3(2D) KFactor = 2	MR 圧縮 K因子 2
3 – CCITT G3(2D) KFactor = 4	MR 圧縮 K因子 4
4 – CCITT G4	MMR圧縮
5 – JPEG	JPEG 圧縮
6 – Old JPEG	旧形式の JPEG 圧縮(TIFF ファイル専用)

### 初期值

4 – CCITT G4 MMR 壓縮

## 解説

データの圧縮形式を指定します。

このプロパティは、ScanTo プロパティが「0 - File」かつ FileType プロパティが「1 - TIFF」、「2 - Multipage TIFF」、「4 - PDF」、「5 - Multipage PDF」のとき、または ScanTo プロパティが「2 - Raw Image Handle」の時のみ有効となります。それ以外は無視されます。

FileType プロパティで「0 - BMP」が設定されている場合は、本プロパティの設定に関わらず、「0 - No Compress」として動作します。

FileType プロパティで「3 - JPEG」が設定されている場合は、本プロパティの設定に関わらず、「5 - JPEG」として動作します。

ScanTo プロパティに「2 - Raw Image Handle」を設定し、本プロパティに「6 - Old JPEG」を設定した場合、本プロパティは「5 - JPEG」として動作します。

PixelFormat プロパティが「0 - Black & White」の白黒二値画像圧縮に対しては、本プロパティ「1 - CCITT G3(1D)」、「2 - CCITT G3(2D) KFactor = 2」、「3 - CCITT G3(2D) Kfactor = 4」、「4 - CCITT G4」が適しており、PixelFormat プロパティが「2 - RGB」のカラー画像圧縮に対しては、本プロパティ「5 - JPEG」が適しております。

また、Halftone プロパティにて、ハーフトーンを指定した場合についての圧縮については(本プロパティに 1 ~ 4 を設定した場合)、期待通りの圧縮率になるとは限りません。上記圧縮を指定するのは、本来、白黒二値の画像に対して行います。

PixelFormat プロパティが「1 - Grayscale」又は「2 - RGB」に設定され、本プロパティにて圧縮（「1 - CCITT G3(1D)」, 「2 - CCITT G3(2D) KFactor = 2」, 「3 - CCITT G3(2D) Kfactor = 4」, 「4 - CCITT G4」の場合）を指定し、読み取り処理を行うと白黒二値として読み取りを行います。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

## 対象メソッド

## StartScan

## 関連プロパティ

[FileType](#)

[JpegQuality](#)

[PaperSupply](#)

[PixelType](#)

[ScanTo](#)

## 値の設定

デザイン時、実行時

## 値の参照

実行時

## エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

また、無効な組み合わせを指定した場合、FileType プロパティが「4-PDF」または「5-Multipage PDF」であれば「4-CCITT G4」として、それ以外の FileType では「0-No Compress」として読み取られます。

## 互換性、制限事項

なし

### 3.1.11 Contrast .... コントラスト

#### 機能

コントラストを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**Contrast** [= Short ]

#### 設定値

1(低い) ~ 255(高い) の範囲内の値

#### 初期値

128

#### 解説

読み取ったイメージの濃淡の強さを設定します。1~255 の範囲で設定できます。

この設定値を大きくするとイメージの濃い部分はより濃く、淡い部分はより淡く読み取られます。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PaperSupply](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値(1 ~ 255 以外)を設定した場合には、値の更新は行いません。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.12 CustomGamma .... カスタムガンマ

#### 機能

ガンマ値を指定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**CustomGamma** [= Single]

#### 設定値

0.1 ~ 10.0 の範囲内の値

#### 初期値

2.2

#### 解説

任意のガンマ値(カスタム指定値)を設定します。

このプロパティは、Gamma プロパティが「4 - Custom」に設定されているときのみ有効となります。

＜ガンマ値＞

画像の非線形性を補正するための数値で、0.1 ~ 10.0 の範囲で設定できます。

スキャナ内のセンサーは、文書から反射した光密度に対して線形的な出力をしますが、ほとんどの出力端末(CRT など)は入力に対して線形出力をしないため、線形性の調整が必要となります。

一般的にガンマ値を 1 より大きくすると明るく、1 より小さいと暗くなります。

(ガンマ値(γ)と入/出力値は、下図のような関係になります。)

(注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[Gamma](#)

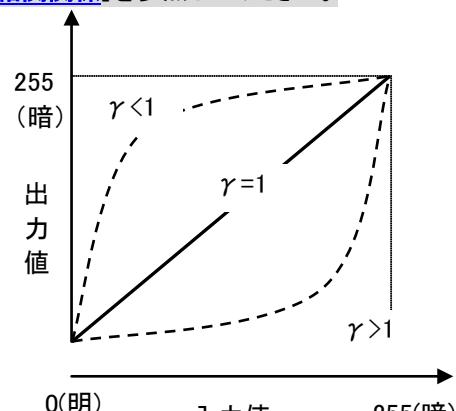
[PaperSupply](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時



#### エラーリカバリ

範囲外の値(0.1 ~ 10.0 以外)を設定した場合には、値の更新は行いません。

Gamma プロパティが「4 - Custom」以外のときは、本プロパティは無視されます。

また、装置によって、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.13 CustomPaperLength .... カスタム原稿の長さ

#### 機能

カスタム原稿の長さを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**CustomPaperLength** [= Single]

#### 設定値

カスタム原稿の長さを設定します。

#### 初期値

1

#### 解説

読み取り長を設定します。

このプロパティは、PaperSize プロパティで、原稿サイズが「99 - Custom」に設定されているときのみ有効となります。

PaperSupply プロパティが「7 - ADF(CarrierSheet Clipping)」に設定されているときに、2 インチ(51mm)未満の値を設定した場合は、読み取り実行時に、2 インチ(51mm)を設定し、読み取り処理を行います。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[LongPage](#)

[PaperSize](#)

[PaperSupply](#)

[Unit](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

設定時におけるエラーチェックは一切行っていません。

PaperSize プロパティが「99 - Custom」以外の時は、本プロパティは無視されます。

LongPage プロパティの指定で長い原稿(長尺帳票)の読み取りを行わない時、装置の物理長を超えて設定した場合は、読み取り実行時に、装置の物理長に設定し、読み取り処理を行います。

LongPage プロパティの指定で長い原稿(長尺帳票)の読み取りを行う時、装置の物理長を越えて、長い原稿を読み取れます。ただし長尺帳票の最大値を越えた場合は、長尺帳票の最大値で読み取り処理を行います。

1 インチ(26mm)未満の値を設定した場合は、読み取り実行時に 1 インチ(26mm)を設定し、読み取り処理を行います。

### **互換性、制限事項**

長尺帳票の読み取り時、設定値が長尺帳票の最大値を越えた場合は、可能な最大値で読み取り処理を行います。ただしプロパティの実行後、設定値はその最大値に変更されません。

### 3.1.14 CustomPaperWidth .... カスタム原稿の横幅

#### 機能

カスタム原稿の横幅を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**CustomPaperWidth** [= Single ]

#### 設定値

カスタム原稿の横幅を設定します。

#### 初期値

1

#### 解説

読み取り幅を設定します。

このプロパティは、PaperSize プロパティで原稿サイズが「99- Custom」に設定されているときのみ有効となります。

PaperSupply プロパティが「7 - ADF(CarrierSheet Clipping)」に設定されているときに、2 インチ(51mm)未満の値を設定した場合は、読み取り実行時に、2 インチ(51mm)を設定し、読み取り処理を行います。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PaperSize](#)

[PaperSupply](#)

[Unit](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

設定時におけるエラーチェックは一切行っていません。

PaperSize プロパティが「99 - Custom」以外の時は、本プロパティは無視されます。

装置の物理幅を超えて設定した場合は、読み取り実行時に、装置の物理幅に設定し、読み取り処理を行います。

また、1 インチ(26mm)未満の値を設定した場合は、読み取り実行時に、1 インチ(26mm)を設定し、読み取り処理を行います。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.15 CustomResolution .... カスタム解像度

#### 機能

読み取り解像度を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**CustomResolution** [= Short]

#### 設定値

50 ~ 1600 [dpi]の範囲内の値

#### 初期値

300

#### 解説

読み取り解像度を設定します。

このプロパティは、Resolution プロパティにて「99 – Custom」が設定されているときのみ有効となります。

また、装置にてサポートされている解像度であっても、読み取り原稿サイズなどとの関係で読み取りができない場合があります。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[Resolution](#)

[PaperSize](#)

[PixelType](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値(50 ~ 1600 以外の値)を設定した場合には、値の更新は行いません。

装置にて未サポートの解像度が設定された場合は、読み取り実行時に、初期値を設定し読み取り処理を行います。

※装置毎に読み取ることができる解像度は異なります。

お使いの装置の説明書をご参照願います。

(※ 「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

V2.0L10 より、初期値が 400 から 300 に変更されました。

### 3.1.16 DoubleFeed .... ダブルフィード検出

#### 機能

このプロパティは、V2.0L10 以後サポートされておりません。

#### 互換性、制限事項

本プロパティは互換のために用意されています。

V2.0L10 よりも前の SDK で作成したソースプログラムをそのまま、V2.0L10 以降の SDK を使って再度コンパイルするための互換として用意されています。ただし将来のメジャーバージョンアップ時点で、コンパイルができない場合があります。アプリケーションを新規に開発する場合、あるいはプログラムに修正を行なう際には、当プロパティではなく、MultiFeed プロパティを使用するようにしてください。

### 3.1.17 Endorser .... エンドーサ／インプリンタの設定

#### 機能

エンドーサ／インプリンタの使用可否を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**Endorser** [= Boolean ]

#### 設定値

True エンドーサ／インプリンタを使用する  
False エンドーサ／インプリンタを使用しない

#### 初期値

False エンドーサ／インプリンタを使用しない

#### 解説

エンドーサ／インプリンタの使用可否の設定を行います。

エンドーサ／インプリンタオプションがついたスキヤナのみ有効です。

プレインプリンタ／プレエンドーサとポストインプリンタ／ポストエンドーサが使用できる装置では、同時に装着された場合はポストインプリンタ／ポストエンドーサへ印刷を行います。片方のみ装着された場合は、装着されたインプリンタ／エンドーサへ印刷を行います。

ポストインプリンタ表面／ポストエンドーサ表面とポストインプリンタ裏面／ポストエンドーサ裏面が使用できる装置では、同時に装着された場合はポストインプリンタ表面／ポストエンドーサ表面へ印刷を行います。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PaperSupply](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

装置によって、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを「False」に設定し、読み取り処理を行います。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.18 EndorserCountDirection

.... エンドーサ／インプリンタカウンタのステップ方向設定

#### 機能

エンドーサ／インプリンタカウンタのステップ方向を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**EndorserCountDirection** [= Short ]

#### 設定値

0 - Add	加算する
1 - Del	減算する

#### 初期値

0 - Add	加算する
---------	------

#### 解説

エンドーサ／インプリンタカウンタのステップ方向(増/減)を設定します。

このプロパティは、Endorser プロパティが「True」に設定されているときのみ有効となります。

エンドーサ／インプリンタオプションがついたスキャナのみ有効です。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[Endorser](#)  
[EndorserCounter](#)  
[EndorserCountStep](#)  
[EndorserDirectoin](#)  
[EndorserOffset](#)  
[EndorserString](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.19 EndorserCounter .... エンドーサ／インプリントカウンタの初期値設定

#### 機能

エンドーサ／インプリントカウンタの初期値を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**EndorserCounter** [= Integer ]

#### 設定値

-1, 0～ 99999 または 0～ 16777215 範囲内の値

-1を設定した場合は、エンドーサ／インプリントカウンタの出力を行いません。

#### 初期値

0

#### 解説

エンドーサ／インプリントカウンタの初期値の設定を行います。

設定値に-1を設定した場合、エンドーサ／インプリントカウンタは印字されません。

設定値は、EndorserString に文字列 "%08ud" を含む場合は 8 桁(0～16777215)で、含まない場合は 5 桁(0～99999)です。

このプロパティは、Endorser プロパティが「True」に設定されているときのみ有効となります。

エンドーサ／インプリントオプションがついたスキーナのみ有効です。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

(注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[Endorser](#)

[EndorserCountDirection](#)

[EndorserCountStep](#)

[EndorserDirectoin](#)

[EndorserOffset](#)

[EndorserString](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合、値の更新は行いません。

エンドーサ／インプリントカウンタの増減によって設定値の範囲を超えた場合は、値が回り込みます。5 桁の場合は、99999 の次は 0 となります。8 桁の場合は、装置によって異なります。スキーナドライバの取扱説明書を参照してください。

印字を有効にした読み取り動作中にジャムやマルチフィードが発生した場合、その後の読み取り時に、印字カウンタ値が期待値と異なる場合があります。その為、エラーが発生した後に読み取りを再開する際に

は、インプリントカウンタの初期値を必ず設定してください。

#### **互換性、制限事項**

本プロパティの設定値が範囲外であるかどうかを判定するとき、その時点の EndorserString の値を参照します。よって EndorserString は EndorserCounter の前に設定してください。

### 3.1.20 EndorserCountStep

.... エンドーサ／インプリンタカウンタのステップ値設定

#### 機能

エンドーサ／インプリンタカウンタのステップ値を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**EndorserCountStep** [= Short ]

#### 設定値

0 – None	Step なし
1 – 1 Step	1 ずつ Step する
2 – 2 Step	2 ずつ Step する

#### 初期値

1 – 1 Step	1 ずつ Step する
------------	--------------

#### 解説

エンドーサ／インプリンタカウンタのステップ値を設定します。

このプロパティは、Endorser プロパティが「True」に設定されているときのみ有効となります。

エンドーサ／インプリンタオプションがついたスキーナのみ有効です。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[Endorser](#)

[EndorserCountDirection](#)

[EndorserCounter](#)

[EndorserDirectoin](#)

[EndorserOffset](#)

[EndorserString](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.21 EndorserDirection

.... エンドーサ／インプリンタの印字方向の設定

#### 機能

エンドーサ／インプリンタの印字方向を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**EndorserDirection** [= Short]

#### 設定値

1 - ToUnder	上から下へ印字を行なう
3 - ToUpper	下から上へ印字を行なう

#### 初期値

1 - ToUnder	上から下へ印字を行なう
-------------	-------------

#### 解説

エンドーサ／インプリンタカウンタの印字方向を設定します。

このプロパティは、Endorser プロパティが「True」に設定されているときのみ有効となります。

エンドーサ／インプリンタオプションがついたスキヤナのみ有効です。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[Endorser](#)

[EndorserCountDirection](#)

[EndorserCounter](#)

[EndorserCountStep](#)

[EndorserOffset](#)

[EndorserString](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.22 EndorserOffset .... エンドーサ／インプリンタの印字開始位置の設定

#### 機能

エンドーサ／インプリンタの印字開始位置を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**EndorserOffset** [= Single]

#### 設定値

エンドーサ／インプリンタの印字開始位置を設定します。

#### 初期値

0

#### 解説

エンドーサ／インプリンタの印字開始位置を設定します。

このプロパティは、Endorser プロパティが「True」に設定されているときのみ有効となります。

エンドーサ／インプリンタオプションがついたスキャナのみ有効です。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

エンドーサ／インプリンタの印字可能範囲については、お使いのインプリンタの説明書をご参照願います。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[Endorser](#)

[EndorserCountDirection](#)

[EndorserCounter](#)

[EndorserDirectoin](#)

[EndorserCountStep](#)

[EndorserString](#)

[Unit](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

印刷可能範囲以外の値を指定した場合、各装置毎の印刷可能範囲の最大値で処理されます。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.23 EndorserString .... エンドーサ／インプリンタ文字列の設定

#### 機能

エンドーサ／インプリンタ文字列を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**EndorserString** [= String ]

#### 設定値

40 文字以内の英数字

アルファベット	: A～Z, a～z
英数字	: 0, 1～9
記号	: ! " # \$ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [ ¥ ] ^ _ ` {   } ~
その他	: (スペース)

#### 初期値

""(空の文字列)

#### 解説

エンドーサ／インプリンタ文字列の設定を行います。

ここで指定した文字列にカウンタ(5桁または8桁)が付加され、エンドーサ／インプリンタによって原稿に印刷されます。

このプロパティは、Endorser プロパティが「True」に設定されているときのみ有効となります。

エンドーサ／インプリンタオプションがついたスキヤナのみ有効です。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

エンドーサ／インプリンタの最大文字数については、お使いのインプリンタの説明書をご参照願います。

“%”を印字する場合は“%”と指定する必要があります。その他の設定値詳細につきましては、TWAIN ドライバのヘルプをご参照ください。

**注** 他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[Endorser](#)

[EndorserCountDirection](#)

[EndorserCounter](#)

[EndorserCountStep](#)

[EndorserDirectoin](#)

[EndorserOffset](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

### エラーリカバリ

エンドーサ／インプリントの最大文字数を超えた文字(含むカウンタ)は印刷されません。

### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.24 ErrorCode .... エラー情報の取得

#### 機能

エラー情報を取得します。

#### 書式

[ Long = ] [form.] scancontrolname.ErrorCode

#### 設定値

なし。 値の参照専用プロパティ。

#### 初期値

0x00000000 : EC\_SUCCESS エラーなし

#### 解説

各メソッドがエラー終了した時のエラー情報を取得するためのプロパティです。

各メソッド呼び出し時に、EC\_SUCCESS に初期化されます。

エラーの一覧は、「5.2 エラー番号とエラー時の対処方法」を参照してください。

#### 対象メソッド

[AboutBox](#)メソッド以外のすべてのメソッド

#### 関連プロパティ

[SilentMode](#)

#### 値の設定

不可

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

エラーの対処方法については、「5.2 エラー番号とエラー時の対処方法」を参照してください。

#### 互換性、制限事項

- ドライバにて表示されるエラーも含まれます。
- 用紙ジャム(0x00000003:EC\_JAM)は装置の仕様により、対象原稿の処理完了時に報告されず、次の読み取り時にジャムが報告される場合があります。具体的には、原稿先端がスキャナ装置内トップセンサーに到達後、原稿がトップセンサーを通過しない場合です。
- fi-5015C では装置仕様のため、原稿が排出されていない状態で StartScan メソッドまたは ClearPage メソッドを実行すると、ジャム (0x00000003:EC\_JAM)または ClearPage 機能をサポートしていない(0x00000028: EC\_ERROR\_CLEARPAGE)が通知される場合があります。本現象が発生した場合、装置から手で原稿を取り除いて、再試行してください。

### 3.1.25 FileCounter .... ファイル連番の設定

#### 機能

ファイルに付ける開始連番を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.FileCounter [= Integer]

#### 設定値

0 ~ 65535 範囲内の値

#### 初期値

1

#### 解説

ファイルに保存する時にファイル名につける「連番」の開始番号の設定を行います。

実際に作成されるファイルは、“FileName プロパティ”+“連番”. 拡張子となります。(「Multipage TIFF」, 「Multipage PDF」の場合は、StartScan メソッド呼び出し時の FileCounter プロパティ値が使われ、読み取り終了(StartScan 呼び出し終了まで)まで同一のファイルとなります。)

一枚(1ページ)読み込むごとに本プロパティは、インクリメント(1加算)されます。(「Multipage TIFF」, 「Multipage PDF」の場合も同様に、StartScan メソッド呼び出しから読み取り終了(StartScan 呼び出し終了)まで読み込み枚数(ページ)分加算されます。)

65535 を超えると、1 に設定され、読み取り処理を続けます。

両面読み取り指定時には、1枚(表面裏面 2 ページ)で、2 加算されます。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

[OpenScanner](#)

#### 関連プロパティ

[FileType](#)

[ScanCount](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値(0 ~ 65535 以外)を設定した場合には、値の更新は行われません。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.26 FileName .... ファイル名

#### 機能

保存するイメージのファイル名を設定します。(拡張子除く)

#### 書式

[form.] scancontrolname.FileName [ = String ]

#### 設定値

イメージを保存するファイル名(絶対パスを含む NULL で終わる文字列)

拡張子はコントロール(OCX) で付加するので設定する必要はありません。

#### 初期値

""(空の文字列)

#### 解説

出力するファイル名を設定します。(拡張子の設定は必要ありません。)

このプロパティは、ScanTo プロパティが「0 - File」の時のみ有効となります。

また、実際に作成されるファイル名は、本プロパティで設定したファイル名に3桁の連番号を付加し、さらに FileType で設定されているイメージデータ形式の拡張子を付けたものになります。

例えば、

FileType = 「1-TIFF」で

FileName = "C:¥IMAGE¥IMG"

と設定し、3枚読み込んだ場合は、

C:¥IMAGE¥ フォルダの中に IMG001.tif, IMG002.tif, IMG003.tif という3つのイメージファイルが作成されます。

すでにファイルが存在していた場合は、Overwrite プロパティの指定に応じて処理されます。

¥\*?"<>| 左記の文字が入っている場合には、ファイルは作成できません。

ファイル名に#を指定することにより、指定位置に指定桁数の連番号を付加することができます。

#は、1~5 衔までが有効です。

例)

img#	→ img1
img###vvv	→ img001vvv
img#####v	→ img00001v

連番号が桁上がりした場合は、必要な桁数が自動的に確保されます。

例えば、

FileName = "C:¥IMAGE¥IMG#"

と設定し、10 枚読み込んだ場合は、10 枚目からは IMG10 というファイルが生成されます。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ScanTo](#)

[FileCounter](#)

[FileType](#)

[Overwrite](#)

### 値の設定

デザイン時、実行時

### 値の参照

実行時

### エラーリカバリ

設定時においてのエラーチェックは一切行っていません。

読み取り実行時に、実際に設定されているファイル名で作成できるかどうかチェックを行っています。設定されているファイル名が正しくない場合(ファイルが作成できない場合など)は、ErrorCodeプロパティに、EC\_CANNOT\_MAKE というエラーコードを設定し、RC\_FAILURE を返します。

""(空の文字列)が設定されている場合は、読み取り実行時に、ファイル名を入力するダイアログ(Windows®共通ダイアログ)を表示します。

### 互換性、制限事項

フォルダ名に#を使用しないでください。使用すると正しくファイルが生成されません。

### 3.1.27 FileType .... ファイル形式(イメージデータ形式)

#### 機能

ファイル形式を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.FileType [ = Short ]

#### 設定値

0 - BMP	Windows Bitmap ファイル
1 - TIFF	TIFF ファイル
2 - Multipage TIFF	マルチページ TIFF ファイル
3 - JPEG	JPEG ファイル
4 - PDF	PDF ファイル
5 - Multipage PDF	マルチページ PDF ファイル
6 - Multi Image Output	マルチイメージ出力(白黒二値画像は TIFF ファイル、白黒二値以外の画像は JPEG ファイル)
7 - Auto Color Detection	カラー/モノクロ自動判別(白黒二値画像は TIFF ファイル、白黒二値以外の画像は JPEG ファイル)

#### 初期値

1 - TIFF                    TIFF ファイル

#### 解説

出力するファイルのイメージデータ形式を設定します。

このプロパティは、ScanTo プロパティが「0 - File」の時のみ有効となります。

(上記以外の値が設定されていた場合は、このプロパティは無視されます。)

-本プロパティに「1 - TIFF」、「2 - Multipage TIFF」を設定し、PixelType プロパティに「1 - Grayscale」または「2 - RGB」を設定する際は、必ず、CompressionType プロパティで「0 - No Compress」、「5 - JPEG」、または「6 - Old JPEG」を設定してください。

-本プロパティで「3 - JPEG」を設定する際は、必ず、PixelType プロパティは「1 - Grayscale」または「2 - RGB」を設定してください。

-本プロパティに「4 - PDF」、「5 - Multipage PDF」を設定する場合

  ・PixelType プロパティが「0 - Black&White」の場合は、CompressionType プロパティで「5 - JPEG」以外を設定してください。(「5 - JPEG」が指定されている場合は、無条件に MMR 圧縮で保存されます。)

  ・PixelType プロパティが「1 - Grayscale」の場合は、必ず CompressionType プロパティで「0 - No Compress」を設定してください。(それ以外が設定されている場合は、無条件に RGB に増色し JPEG 圧縮で保存されます。)

  ・PixelType プロパティが「2 - RGB」の場合は、必ず CompressionType プロパティで「0 - No Compress」または「5 - JPEG」を設定してください。(それ以外が指定されている場合は、無条件に JPEG 圧縮で保存されます。)

-本プロパティに「6 - Multi Image Output」を設定する場合

  ・1ページの原稿に対して、白黒二値と非白黒二値の画像が出力されることが前提条件となります。TWAIN ドライバのマルチイメージ出力、または、画像処理ソフトウェアオプションのカラー/モノクロ同時出力を有効にしてください。

  ・CompressionType プロパティの指定は無効となり、TIFF ファイルの圧縮形式は CCITT G4、JPEG ファイルの圧縮形式は JPEG となります。

  ・TIFF ファイルと JPEG ファイルは各ページで同じファイル名(拡張子が異なるだけ)となります。

-本プロパティに「7 - Auto Color Detection」を設定する場合

- ・TWAIN ドライバのカラー/モノクロ自動判別を有効にしてください。
  - ・CompressionType プロパティの指定は無効となり、TIFF ファイルの圧縮形式は CCITT G4、JPEG ファイルの圧縮形式は JPEG となります。
  - ・TIFF ファイルと JPEG ファイルは各ページごとでファイルカウンタがカウントアップされます。
- 注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

## **対象メソッド**

[StartScan](#)

## **関連プロパティ**

[ScanTo](#)

[CompressionType](#)

[PixelType](#)

[JpegQuality](#)

[ScanCount](#)

## **値の設定**

デザイン時、実行時

## **値の参照**

実行時

## **エラーリカバリ**

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

## **互換性、制限事項**

なし

### 3.1.28 Filter .... ドロップアウトカラー

#### 機能

ドロップアウトカラーを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Filter [= Short]

#### 設定値

0 – Green	緑色をドロップアウトする
1 – Red	赤色をドロップアウトする
2 – Blue	青色をドロップアウトする
3 – None	なし、または装置指定(装置が指定するドロップアウトカラーを指定する)
4 – White	白色をドロップアウトする
99 – Custom1	ソースの UI で設定したカスタムパターン 1 を指定する
100 – Custom2	ソースの UI で設定したカスタムパターン 2 を指定する
101 – Custom3	ソースの UI で設定したカスタムパターン 3 を指定する

#### 初期値

0 – Green 緑色をドロップアウトする

#### 解説

緑、赤、青、白の中から、選択した色情報を除いて読み取ることができます。例えば、赤い枠がついた、黒い文字を読み取る場合、赤を選択して読み取りを行なえば、黒い文字の部分だけを読み取ることができます。

カスタムパターンが指定できる装置では、ソースの UI で設定したカスタムパターンが指定できます。カスタムパターンについては、ドライバの取扱説明書をご覧ください。

このプロパティは、PixelType プロパティが「0 – Black & White」および「1 – Grayscale」の時のみ有効となります。それ以外は無視されます。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ScanTo](#)

[PixelType](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

装置によっては、サポートされていない設定値があります。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照して下さい)

サポートされていない値を指定した場合は、ドライバによって他の有効な値が設定されます。

カスタムパターンを指定する場合、カスタムパターンを予め設定せずに、StartScan メソッドを発行すると、RC\_CANCEL または RC\_FAILURE エラーになります。ErrorCode プロパティで取得される値は不定です。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.29 Gamma .... ガンマ補正

#### 機能

ガンマ補正モードを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**Gamma** [= Short ]

#### 設定値

0 – None	なし
1 – Soft	ソフト
2 – Sharp	シャープ
3 – Gamma Pattern File	ダウンロード(ガンマパターンファイル指定)
4 – Custom	カスタム(ガンマ値指定)

#### 解説

イメージの非線形性の補正を設定します。

(注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 初期値

0 – None なし

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[CustomGamma](#)  
[GammaFile](#)  
[PaperSupply](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

装置によって、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。

また、装置によっては、サポートされていない設定値があるため、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

設定値の 2-Sharp は、V1.0 では 2-Hard と表記されていました。意味は変わりません。

### 3.1.30 GammaFile .... ガンマパターンファイル名

#### 機能

ガンマパターンファイルを指定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**GammaFile** [= String ]

#### 設定値

ガンマパターンファイル名(絶対パスを含む NULL で終わる文字列)

#### 初期値

"" (空の文字列)

#### 解説

任意のガンマパターンファイルを設定します。

パターンファイルの記述は、スキヤナドライバの取扱説明書を参照してください。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[Gamma](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

Gamma プロパティが「3 - Gamma Pattern File」以外のときは、本プロパティは無視されます。

空の文字列が設定されている場合や、設定したファイルが存在しない場合などは、読み取り実行時に、Gamma プロパティを「0 - None」に設定し、読み取り処理を行います。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.31 Halftone .... ハーフトーン

#### 機能

ハーフトーンパターンを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Halftone [= Short ]

#### 設定値

0 – None	なし
1 – Dither Pattern 0	濃い写真画像用
2 – Dither Pattern 1	濃い文字+写真混在用
3 – Dither Pattern 2	淡い写真画像用
4 – Dither Pattern 3	淡い文字+写真混在用
5 – Dither Pattern File	ダウンロード(ハーフトーンパターンファイル指定)
6 – Error Diffusion	誤差拡散法

#### 初期値

0 – None	なし
----------	----

#### 解説

このプロパティでは、ハーフトーンに使用するパターンを設定します。

ハーフトーンは、階調性のある画像を編み点(パターン)で擬似階調表現します。装置内蔵のディザ

パターン(1-4)、ダウンロード(5)、または誤差拡散法(6)が選択できます。

写真などの濃淡があるイメージの読み取りに適しています。

このプロパティは、PixelType プロパティが「0 – Black & White」が設定されているときのみ有効とな

ります。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無

視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[CompressionType](#)

[PixelType](#)

[HalftoneFile](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

PixelType プロパティに「1 – Grayscale」、「2 – RGB」が設定されていると、本プロパティを無視し、読み取り処理を行います。

また、装置により、サポートされていない設定値がある場合は、読み取り実行時に本プロパティを「1 – Dither Pattern 0」に設定し読み取り処理を行います。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」

を参照してください。)

**互換性、制限事項**  
なし

### 3.1.32 HalftoneFile .... ハーフトーンパターンファイル

#### 機能

ハーフトーンパターンファイルを指定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.HalftoneFile [= String ]

#### 設定値

ハーフトーンパターンファイル名(絶対パスを含む NULL で終わる文字列)

#### 初期値

""(空の文字列)

#### 解説

任意のハーフトーンパターンファイルを指定します。

パターンファイルの記述は、スキヤナドライバの取扱説明書を参照してください。

このプロパティは、PixelType プロパティが「0 – Black & White」で、かつ、Halftone プロパティが「5 – Dither Pattern File」に設定されているときのみ有効となります。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PixelType](#)

[Halftone](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

PixelType プロパティが「0 – Black & White」で、かつ、Halftone プロパティが「5 – Dither Pattern File」以外のときは、本プロパティは無視されます。

空の文字列が設定されている場合や、設定したファイルが存在しない場合などは、読み取り実行時に、Halftone プロパティを「0 – None」に設定し、読み取り処理を行います。

装置により、Halftone プロパティ「5 – Dither Pattern File」(ハーフトーンパターンファイル指定)の設定がサポートされていない場合、読み取り実行時に、Halftone プロパティを「1 – Dither Pattern 0」に設定し、読み取り処理を行います。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.33 Highlight .... ハイライト

#### 機能

ハイライトを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Highlight [= Short ]

#### 設定値

1 ~ 255 の範囲内の値

#### 初期値

230

#### 解説

読み取り時のイメージのハイライトを設定します。

本プロパティは、PixelType プロパティに「1 - Grayscale」または「2 - RGB」が設定されているときに有効です。

但し、PixelType プロパティに「1 - Grayscale」を設定する場合は、Gamma プロパティは「4 - Custom」を設定してください。

PaperSupply プロパティに「4 - ADF(CarrierSheet Spread A3)」、「5 - ADF(CarrierSheet Spread DL)」、「6 - ADF(CarrierSheet Spread B4)」、「7 - ADF(CarrierSheet Clipping)」を指定した場合、本プロパティは無効になります。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[Gamma](#)

[PaperSupply](#)

[PixelType](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値(1 ~ 255 以外)を設定した場合には、値の更新は行いません。

装置によって、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.34 ImageScanner .... イメージスキャナ名の取得

#### 機能

イメージスキャナのプロダクト名を取得します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**ImageScanner** [ String = ]

#### 設定値

なし。値の参照専用のプロパティ。

#### 初期値

""(空の文字列)

#### 解説

接続されている FUJITSU fi シリーズイメージスキャナのプロダクト名を取得します。  
(例、"fi-5220Cdj")

#### 対象メソッド

[OpenScanner](#)

#### 関連プロパティ

なし

#### 値の設定

不可

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

なし

#### 互換性、制限事項

OpenScanner メソッド呼び出し後に本プロパティを参照してください。(OpenScanner メソッドにより本プロパティは設定されます。)

### 3.1.35 Indicator.... プログレスインジケーターの表示設定

#### 機能

読み取り中のプログレスインジケーターを表示するかどうかを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Indicator [= Boolean ]

#### 設定値

True プログレスインジケーターを表示する  
False プログレスインジケーターを表示しない

#### 初期値

True プログレスインジケーターを表示する

#### 解説

読み取り中のプログレスインジケーターを表示するかどうかを設定します。

本プロパティは、ShowSourceUI プロパティが「False」のときに有効です。

ShowSourceUI プロパティに「True」が設定されてる場合は、本プロパティの設定にかかわらず、「True」として動作します。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ShowSourceUI](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

なし

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.36 IsExistsFB .... イメージスキャナのフラットベッド (FB) の有無

#### 機能

フラットベッド(FB)をサポートしているかどうか装置情報を取得します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**IsExistsFB** [ Boolean = ]

#### 設定値

なし。 値の参照専用のプロパティ。

#### 初期値

True	サポートされている
False	サポートされていない

#### 解説

現在接続されているイメージスキャナがフラットベッド(FB)をサポートしているかどうかの装置情報を取得します。

#### 対象メソッド

[OpenScanner](#)

#### 関連プロパティ

[PaperSupply](#)

#### 値の設定

不可

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

なし

#### 互換性、制限事項

OpenScanner メソッド呼び出し後に値を取得してください。  
(OpenScanner メソッドにより本プロパティは設定されます。)

### 3.1.37 JobControl .... ジョブ制御の設定

#### 機能

ジョブ制御を設定します。

※ジョブ制御とは、特殊原稿(特定形状の原稿)を検出した場合の処理の制御を指します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.JobControl [= Short ]

#### 設定値

0 - None	特殊原稿検出なし
1 - Include and Continue	特殊原稿を読み取り、継続する
2 - Include and Stop	特殊原稿を読み取り、中止する
3 - Exclude and Continue	特殊原稿をスキップし、継続する
4 - Exclude and Stop	特殊原稿をスキップし、中止する

#### 初期値

0 - None 特殊原稿検出なし

#### 解説

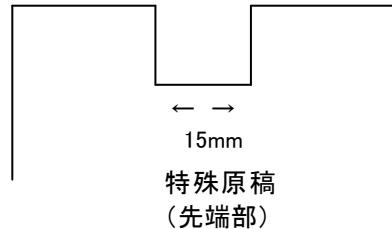
ジョブ制御の設定を行います。

ADFによる連続読み取り中に、特殊原稿を検出した場合に、DetectJobSeparator イベントを発行し、上記設定値(1~4)に応じた制御を行います。

(ドライバのUIにて設定された場合も、本プロパティに関わらず、上記イベントを発行します。)

詳細は、[DetectJobSeparator](#)イベントを参照してください。

※特殊原稿とは、先端部分が下図のような形状で、中央部に 15mm 角の切り欠きがあり、横幅が A4 サイズ以上ある原稿のことです。



#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

なし

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

装置により、本プロパティがサポートされていない場合は、無効となります。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

※特殊原稿(特定形状の原稿)の詳細については、お使いの装置の説明書をご参照願います。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.38 JpegQuality.... Jpegデータ圧縮レベル

#### 機能

Jpeg データの圧縮レベルを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.JpegQuality [= Short]

#### 設定値

0 – Level1	圧縮レベル 1	(サイズ最優先)
1 – Level2	圧縮レベル 2	
2 – Level3	圧縮レベル 3	
3 – Level4	圧縮レベル 4	
4 – Level5	圧縮レベル 5	
5 – Level6	圧縮レベル 6	
6 – Level7	圧縮レベル 7	(画質最優先)



#### 初期値

3 – Level4 圧縮レベル 4

#### 解説

JPEG のデータ圧縮レベルを指定します。

このプロパティは、ScanTo プロパティが「0 – File」の場合、FileType プロパティが「3 – JPEG」または「4 – PDF」または「5 – Multipage PDF」で、かつ PixelType プロパティが「0 – Black & White」以外のとき有効です。また ScanTo プロパティが「2 – Raw Image Handle」の時にも有効となります。それ以外は無視されます。

(注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ScanTo](#)

[FileType](#)

[PixelType](#)

[CompressionType](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.39 LongPage .... 長い原稿（長尺帳票）の読み取りの設定

#### 機能

指定可能な原稿サイズに対して、最大の長さを超えるような長い原稿（長尺帳票）の読み取りの設定を行います。

#### 書式

[form.] scancontrolname. **LongPage** [ = Boolean ]

#### 設定値

True 長い原稿（長尺帳票）の読み取りを行う  
False 長い原稿（長尺帳票）の読み取りを行わない

#### 初期値

False 長い原稿（長尺帳票）の読み取りを行わない

#### 解説

定型原稿サイズ（A4,A3 など）では読み取りができないような、長い原稿（長尺帳票）の読み取りを可能にします。

このプロパティは、**PaperSize** プロパティが「99 – Custom」に設定されているときのみ有効となり、長尺帳票の幅と長さは、**CustomPaperWidth** プロパティと **CustomPaperLength** の設定値が参照されます。

注) 他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない（無視される）場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[CustomPaperWidth](#)  
[CustomPaperLength](#)  
[PaperSupply](#)  
[PaperSize](#)  
[ScanTo](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

### エラーリカバリ

PaperSizeプロパティに「99 - Custom」以外が指定された時や、PaperSupplyプロパティに「3 - ADF(BackSide)」が指定された時は無視されます。

装置によって、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

※装置毎により読み取ることができる長さは異なります。「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。

### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.40 Mirroring .... 鏡像（左右反転）

#### 機能

鏡像反転処理を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**Mirroring** [= Boolean ]

#### 設定値

True 鏡像反転処理を行う  
False 鏡像反転処理を行わない

#### 初期値

False 鏡像反転処理を行わない

#### 解説

鏡像反転処理の有無を設定します。

このプロパティは、PixelType プロパティに「0 – Black & White」が設定されているときのみ有効になります。

画像処理ボード(fi-4860C2 は装置に内蔵)を持たない装置では、本プロパティはサポートされていないため、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PixelType](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

PixelType プロパティに「1 – Grayscale」、「2 – RGB」が設定されていると、本プロパティを無視し、読み取り処理を行います。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.41 MultiFeed .... マルチフィード検出

#### 機能

マルチフィード(一度に 2 枚以上の原稿が重なって給紙される)の検出を行います。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**MultiFeed** [= Short]

#### 設定値

0 – None	無効
1 – Mode0	装置設定
2 – Mode1	厚さの違いを検出/重なりを検出
3 – Mode2	長さの違いを検出
4 – Mode3	長さと厚さの違いを検出/重なりと長さの違いを検出

#### 初期値

0 – None      無効

#### 解説

マルチフィード(一度に 2 枚以上の原稿が重なって給紙される)の検出を行います。本指定に無効以外を指定して、マルチフィードが検出された場合、装置が停止し、TWAIN ドライバからエラーメッセージ「マルチフィードを検出しました(Code: DS32006)」が表示されます。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PaperSupply](#)

[SilentMode](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。  
また、装置によって、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを「0 – None」として読み取り処理を行います。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

マルチフィードになった原稿は、イメージとして読み取りが行われてしまう場合があります。

### 3.1.42 NoiseRemoval .... ゴミ取りモード

#### 機能

画像の小さい点をゴミとみなして、自動的に除去する機能です。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**NoiseRemoval** [= Short ]

#### 設定値

0 – None	無効
1 – Matrix2	2×2ドットマトリックスの大きさ以下のゴミを除去
2 – Matrix3	3×3ドットマトリックスの大きさ以下のゴミを除去
3 – Matrix4	4×4ドットマトリックスの大きさ以下のゴミを除去
4 – Matrix5	5×5ドットマトリックスの大きさ以下のゴミを除去

#### 初期値

0 – None      無効

#### 解説

画像の白い領域の黒い小さな点や、黒い領域の中の白い小さな点をゴミとみなして、自動的に除去する機能です。

このプロパティは、PixelType プロパティが「0 – Black & White」でかつ、Threshold プロパティに「0」が指定された時のみ有効となります。それ以外は無視されます。

画像処理ボード(fi-4860C2 は装置に内蔵)を持たない装置では、本プロパティはサポートされていないため、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PixelType](#)

[Threshold](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.43 Orientation .... 原稿方向の設定

#### 機能

原稿方向の設定を行います。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Orientation [= Short ]

#### 設定値

0 – Portrait	縦
1 – Landscape	横

#### 初期値

0 – Portrait	縦
--------------	---

#### 解説

原稿方向(縦/横)の設定を行います。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PaperSize](#)

[PaperSupply](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

原稿サイズや、使用するスキャナによっては、「1 – Landscape」設定はできない場合があります。

例) PaperSize「0 – A3 (297x420mm)」

また、原稿サイズや、使用するスキャナによっては、読み取ったイメージデータが欠ける場合があります。

例) fi-60F の PaperSize「11 – PostCard(100x149mm)」「12 – Photo(89x127mm)」

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.44 Outline .... 輪郭に関する補正機能

#### 機能

輪郭に関する補正機能を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**Outline** [= Short ]

#### 設定値

PixelType が白黒二値の場合

0 – None	なし
1 – Outline Emphasis Low	弱(輪郭強調)
2 – Outline Emphasis Mid	中(輪郭強調)
3 – Outline Emphasis High	強(輪郭強調)
4 – Outline Smooth	輪郭平滑化
5 – Edge Extract	輪郭抽出

PixelType が RGB カラーの場合

0 – None	なし
1 – Outline Emphasis Low	弱(輪郭強調)
2 – Outline Emphasis Mid	中(輪郭強調)
3 – Outline Emphasis High	強(輪郭強調)
5 – De-Screen Level 1	モアレ除去レベル 1
6 – De-Screen Level 2	モアレ除去レベル 2
7 – De-Screen Level 3	モアレ除去レベル 3
8 – De-Screen Level 4	モアレ除去レベル 4

PixelType が Grayscale の場合

0 – None	なし
----------	----

#### 初期値

0 – None	なし
----------	----

#### 解説

輪郭に関する補正機能を上記リストから選択し設定します。

輪郭強調 : 読み取った画像の輪郭部分を強調して出力します。

弱/中/強の 3 段階が選択できます。

輪郭平滑化 : ギザギザになった輪郭を滑らかにします。

輪郭抽出 : 画像の輪郭を抽出して出力します。

モアレ除去レベル : 画像内を平滑化しモアレを除去します。

レベルが大きいほど平滑化の度合いが大きくなります。

注) 他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PaperSupply](#)

## PixelType

### **値の設定**

デザイン時、実行時

### **値の参照**

実行時

### **エラーリカバリ**

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

PixelType プロパティの設定値により、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。また、デザイン時には設定できません。

装置によって、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

### **互換性、制限事項**

本プロパティは PixelType プロパティに設定されている値に依存しますので、本プロパティを設定する場合は、以下の手順で行ってください。

1. PixelType プロパティを設定する前に、本プロパティに「0 – None」を設定してください。
2. PixelType プロパティを設定します。
3. 再度、本プロパティを設定してください。

### 3.1.45 OverScan .... オーバースキャンの設定

#### 機能

オーバースキャンの設定を行います。

#### 書式

[form.] scancontrolname.OverScan [= Short]

#### 設定値

0 - OFF	オーバースキャンを行わない
1 - ON	オーバースキャンを行う

#### 初期値

0 - OFF オーバースキャンを行わない

#### 解説

オーバースキャンの設定を行います。

原稿サイズよりもすこしだけ大きめのサイズで読み取りを行います。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[AutoBorderDetection](#)

[BackgroundColor](#)

[PaperSupply](#)

[UndefinedScanning](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

装置によって、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.46 Overwrite .... ファイルの上書き設定

#### 機能

ファイルを上書きするかどうかの設定を行います。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Overwrite [= Short ]

#### 設定値

0 – OFF(Mode0) 上書きしない

(画像処理ソフトウェアオプションを使用せず TIFF, JPEG, BMP を指定した場合は、同名ファイルが存在しても ScanCount プロパティで指定された枚数を最後まで処理する)

1 – ON 上書きする

2 – Confirm(Mode0) 確認メッセージボックスの表示 (SilentMode でも表示される)

3 – OFF(Mode1) 上書きしない(同名ファイルが存在したら読み取りを中止)

4 – Confirm(Mode1) 確認メッセージボックスの表示

(SilentMode では「3 – OFF(Mode1)」と同様の動作になる)

#### 初期値

2 – Confirm(Mode0) 確認メッセージボックスの表示

#### 解説

ファイルを保存する際に、同名ファイルが存在した場合、上書きするかどうかの設定を行います。

・「0 – OFF(Mode0)」または「3 – OFF(Mode1)」を設定した場合において同名ファイルが存在した場合は、読み取りを中止し、ファイルは上書きされません。(データは破棄されます。)

・「1 – ON」を設定した場合において同名ファイルが存在した場合は、ファイルは上書きされます。

・「2 – Confirm(Mode0)」または「4 – Confirm(Mode1)」を設定した場合において同名ファイルが存在した場合は、上書き確認のメッセージボックスが表示されます。[はい(Y)]ボタンを押下した場合は、ファイルは上書きされ、[いいえ(N)]ボタンが押下された場合は、読み取りを中止し、ファイルは上書きはされません。(データは破棄されます。)

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ScanTo](#) 「0 – File 」

[SilentMode](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

### **互換性、制限事項**

- Mode0,Mode1 は V2.0L10 で導入されました。推奨する動作モードは Mode1 です。Mode0 は V1.0 で作成したアプリケーションが同一の振る舞いとなるための互換モードです。

### 3.1.47 PageCount .... 読み取り枚数の取得

#### 機能

読み取り枚数を取得します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**PageCount** [= Short ]

#### 設定値

なし。値の参照専用のプロパティ。

#### 初期値

0

#### 解説

読み取り枚数を取得します。

StartScan呼び出し時に、PageCountを0に初期化し、読み取った枚数(ページ数)を取得します。PaperSupplyプロパティに「4 - ADF(CarrierSheet Spread A3)」、「5 - ADF(CarrierSheet Spread DL)」、「6 - ADF(CarrierSheet Spread B4)」を指定した場合、読み取るのは1枚(1ページ)です。「7 - ADF(CarrierSheet Clipping)」を指定した場合、読み取るのは1枚(2ページ)です。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ScanTo](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

なし

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.48 PaperSize .... 原稿サイズ

#### 機能

原稿サイズを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.PaperSize [= Short ]

#### 設定値

0 - A3 (297x420mm)	
1 - A4 (210x297mm)	
2 - A5 (148x210mm)	
3 - A6 (105x148mm)	
4 - B4 (257x364mm)	
5 - B5 (182x257mm)	
6 - B6 (128x182mm)	
7 - Letter (8.5x11inch)	(= 216x279mm)
8 - Legal (8.5x14inch)	(= 216x356mm)
9 - Executive (7.25x10.5inch)	(= 184x267mm)
10 - Double Letter (11x17inch)	(= 279x432mm)
11 - PostCard(100x149mm)	はがきサイズ
12 - Photo(89x127mm)	写真L判サイズ
13 - Card(55x91mm)	名刺サイズ
99 - Custom	

#### 初期値

1 - A4 (210x297mm)

#### 解説

読み取る原稿のサイズを上記リストより選択し設定します。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[CustomPaperWidth](#)

[CustomPaperLength](#)

[LongPage](#)

[PaperSupply](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

装置により、「0 - A3(297x420mm)」、「4 - B4 (257x364mm)」及び、「10 - Double Letter (11x17inch)」はサポートされていない場合は、読み取り実行時に「1 - A4 (210x297mm)」を設定し、

読み取り処理を行います。

また、装置により、「11-PostCard」、「12-Photo」及び、「13-Card」がサポートされていない場合は、読み取り実行時に「99 - Custom」を設定し、読み取り処理を行います。

また、装置により、「3 - A6(105x148mm)」はサポートされていない場合は、読み取り実行時に「1 - A4 (210x297mm)」を設定し、読み取り処理を行います。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

#### **互換性、制限事項**

V2.0L10 にて名刺サイズの用紙指定は、縦方向から横方向へ変更されました。

TWAIN 準拠の原稿サイズのみサポートします。

Custom を設定し、サイズを 55 × 91mmなどの定型サイズにしても、ソース UI の表示では定型サイズの Custom と表示される場合があります。

### 3.1.49 PaperSupply .... 紙給付方法

#### 機能

紙給付方法を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.PaperSupply [= Short ]

#### 設定値

0 - Flatbed	フラットベッド
1 - ADF	ADF(表面読み取り)
2 - ADF(Duplex)	ADF(両面読み取り)
3 - ADF(BackSide)	ADF(裏面読み取り)
4 - ADF(CarrierSheet Spread A3)	キャリアシート見開き画像 A3
5 - ADF(CarrierSheet Spread DL)	キャリアシート見開き画像 ダブルレター
6 - ADF(CarrierSheet Spread B4)	キャリアシート見開き画像 B4
7 - ADF(CarrierSheet Clipping)	キャリアシート表裏別出力
10 - ADF(CarrierSheet Spread A3)	キャリアシート見開き画像 A3
11 - ADF(CarrierSheet Spread DL)	キャリアシート見開き画像 ダブルレター
12 - ADF(CarrierSheet Spread B4)	キャリアシート見開き画像 B4
13 - ADF(CarrierSheet Spread Auto)	キャリアシート見開き画像 サイズ自動選択
14 - ADF(CarrierSheet Clipping All)	キャリアシート切り出し表面 キャリアシート
15 - ADF(CarrierSheet Clipping A4)	キャリアシート切り出し表面 A4
16 - ADF(CarrierSheet Clipping A5)	キャリアシート切り出し表面 A5
17 - ADF(CarrierSheet Clipping A6)	キャリアシート切り出し表面 A6
18 - ADF(CarrierSheet Clipping POST)	キャリアシート切り出し表面 はがき
19 - ADF(CarrierSheet Clipping B5)	キャリアシート切り出し表面 B5
20 - ADF(CarrierSheet Clipping B6)	キャリアシート切り出し表面 B6
21 - ADF(CarrierSheet Clipping LT)	キャリアシート切り出し表面 レター
22 - ADF(CarrierSheet Clipping CARD_T)	キャリアシート切り出し表面 名刺縦
23 - ADF(CarrierSheet Clipping CARD_Y)	キャリアシート切り出し表面 名刺横
24 - ADF(CarrierSheet Clipping PHOTO_ET)	キャリアシート切り出し表面 写真 E 版縦
25 - ADF(CarrierSheet Clipping PHOTO_EY)	キャリアシート切り出し表面 写真 E 版横
26 - ADF(CarrierSheet Clipping PHOTO_LT)	キャリアシート切り出し表面 写真 L 版縦
27 - ADF(CarrierSheet Clipping PHOTO_LY)	キャリアシート切り出し表面 写真 L 版横
28 - ADF(CarrierSheet Clipping PHOTO_LLT)	キャリアシート切り出し表面 写真 LL 版縦
29 - ADF(CarrierSheet Clipping PHOTO_LLY)	キャリアシート切り出し表面 写真 LL 版横
30 - ADF(CarrierSheet Clipping Auto)	キャリアシート切り出し表面 サイズ自動選択
31 - ADF(CarrierSheet Clipping Custom)	キャリアシート切り出し表面 カスタムサイズ
32 - ADF(CarrierSheet Clipping Duplex All)	キャリアシート切り出し両面 キャリアシート
33 - ADF(CarrierSheet Clipping Duplex A4)	キャリアシート切り出し両面 A4
34 - ADF(CarrierSheet Clipping Duplex A5)	キャリアシート切り出し両面 A5
35 - ADF(CarrierSheet Clipping Duplex A6)	キャリアシート切り出し両面 A6
36 - ADF(CarrierSheet Clipping Duplex POST)	キャリアシート切り出し両面 はがき
37 - ADF(CarrierSheet Clipping Duplex B5)	キャリアシート切り出し両面 B5
38 - ADF(CarrierSheet Clipping Duplex B6)	キャリアシート切り出し両面 B6
39 - ADF(CarrierSheet Clipping Duplex LT)	キャリアシート切り出し両面 レター
40 - ADF(CarrierSheet Clipping Duplex CARD_T)	キャリアシート切り出し両面 名刺縦
41 - ADF(CarrierSheet Clipping Duplex CARD_Y)	キャリアシート切り出し両面 名刺横
42 - ADF(CarrierSheet Clipping Duplex PHOTO_ET)	キャリアシート切り出し両面 写真 E 版縦

43 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex PHOTO_EY)	キャリアシート切り出し両面 写真 E 版横
44 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex PHOTO_LT)	キャリアシート切り出し両面 写真 L 版縦
45 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex PHOTO_LY)	キャリアシート切り出し両面 写真 L 版横
46 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex PHOTO_LLT)	キャリアシート切り出し両面 写真 LL 版縦
47 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex PHOTO_LLY)	キャリアシート切り出し両面 写真 LL 版横
48 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Auto)	キャリアシート切り出し両面 サイズ自動選択
49 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)	キャリアシート切り出し両面 カスタムサイズ

### 初期値

1 – ADF

ADF(表面読み取り)

### 解説

読み取り給紙方法の選択を行います。

フラットベッド	: 原稿台に原稿を固定して、一枚ずつ読み取りを行います。
ADF(Auto Document Feeder)	: 複数枚の原稿を ADF 上にセットし、一枚ずつ用紙を搬送しながら連続読み取りを行います。設定値により、表面/裏面のみの片面読み取り、および両面同時読み取りが可能となります。
キャリアシート	: キャリアシートに挟んだ原稿を ADF 上にセットし、両面読み取りを行います。読み取るのは1枚(見開き画像は1ページ、表裏別出力は2ページ)だけです。 原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。その場合には、原稿の折り曲げ部分をキャリアシートの端から、1mm ほど内側にセットして読み取ってください。精度を求める読み取りにはお薦めできません。

「2 – ADF(Duplex)」(ADF 両面読み取り)の指定時において、ScanCount プロパティに1(1ページ読み取り)が指定されている場合は、表面のみの読み取りを行います。

「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」、「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」、「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」、「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」を指定した場合、PixelType プロパティに「2 – RGB」を設定し読み取りを行います。

本プロパティに「10 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」～「49 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)」を設定する際は、必ず ScanTo プロパティは「0 – File」、「1 – Dib Handle」を設定してください。

**注** 本プロパティの設定値によって、他プロパティの指定が有効にならない(無視される)場合があります。[\[5.3 プロパティにおける相関関係\]](#)を参照してください。

### 対象メソッド

[StartScan](#)

### 関連プロパティ

[IsExistsFB](#)

[PageCount](#)

[PaperSize](#)

[ScanCount](#)

### 値の設定

デザイン時、実行時

## 値の参照

実行時

### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

装置により、「0 – Flatbed」がサポートされていない場合は、読み取り実行時に「1 – ADF」を設定し、読み取り処理を行います。

装置により、「2 – ADF(Duplex)」がサポートされていない場合は、読み取り実行時に「1 – ADF」を設定し、読み取り処理を行います。

装置により、「3 – ADF(BackSide)」がサポートされていない場合は、読み取り実行時に「1 – ADF」を設定し、読み取り処理を行います。

装置により、「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」から「49 – ADF(CarrierSheet Clipping Custom Duplex)」がサポートされていない場合、読み取り動作は保証されません。

ご使用の装置が設定値をサポートしているかどうかは「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。

ADF読み取りにおいて、読み取り途中でエラーが発生した場合、装置によって次の用紙を読み取る場合があります。

### 互換性、制限事項

日本語以外のオペレーティングシステム環境で、「ShowSourceUI」プロパティに「True」を設定し、本プロパティに「24 – ADF(CarrierSheet Clipping PHOTO\_ET)」～「29 – ADF(CarrierSheet Clipping PHOTO\_LLY)」、「42 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex PHOTO\_ET)」～「47 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex PHOTO\_LLY)」を設定した場合、ソースのユーザーインターフェースの用紙サイズには「レター」が表示されます。

### 3.1.50 ParentAppName ....呼び出し元アプリケーション名の指定

#### 機能

このプロパティは V1.0L22 以後サポートされておりません。

#### 互換性、制限事項

本プロパティは互換のために用意されています。

V1.0L22 よりも前の SDK で作成したソースプログラムをそのまま、V1.0L22 以降の SDK を使って再度コンパイルするための互換として用意されています。ただし将来のメジャー・バージョンアップ時点で、コンパイルができない場合があります。アプリケーションを新規に開発する場合は、当プロパティは使用しないでください。

### 3.1.51 PixelType .... 画素タイプ

#### 機能

画素タイプを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**PixelType** [= Short]

#### 設定値

0 – Black & White	白黒二値
1 – Grayscale	グレースケール
2 – RGB	RGB カラー

#### 初期値

0 – Black & White	白黒二値
-------------------	------

#### 解説

読み取り画素タイプを設定します。

PixelFormat プロパティでグレースケールを設定し読み取りを行うには、

- ・ファイル出力時(ScanTo プロパティに「0 – File」を設定した場合)、またはメモリ渡し時(ScanTo プロパティに「2 – Raw Image Handle」を設定した場合)
  - FileType プロパティを「0 – BMP」または「3 – JPEG」に設定します。
  - FileType プロパティを「1 – TIFF」、「2 – Multipage TIFF」、「4 – PDF」、または「5 – Multipage PDF」に設定し、さらに CompressionType プロパティを「0 – No Compress」に設定します。
- ・DIB ハンドル渡し(ScanTo プロパティに「1 – Dib Handle」を設定した場合)  
特に設定しなければならないプロパティはありません。

また、ファイル出力、メモリ渡し時において、本プロパティが強制的に「0 – Black & White」に設定される場合があります。

(CompressionType プロパティが、「1 – CCITT G3(1D)」、「2 – CCITT G3(2D) Kfactor = 2」、「3 – CCITT G3(2D) Kfactor = 4」、「4 – CCITT G4」が設定されている場合は、CompressionType プロパティ指定が優先され、本プロパティを「0 – Black & White」に設定して読み取り処理を行います。) Outline プロパティの設定値によっても、本プロパティの指定が有効とならない場合があります。

- ・Outline プロパティが 0-3 または 5 の時、PixelFormat=白黒二値および RGB が有効です。有効とならない場合は値の更新は行いません。
- ・Outline プロパティが 4 の時、PixelFormat=白黒二値が有効で、有効とならない場合は値の更新は行いません。
- ・Outline プロパティが 6-8 の時、PixelFormat=RGB が有効で、有効とならない場合は値の更新は行いません。

したがって、例えば Outline プロパティが 4 かつ PixelType=白黒二値の状態から、PixelFormat=RGB に変更したい場合は、一度 Outline パラメタを 0 にし、その後 PixelType を RGB に変更してください。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

## 関連プロパティ

[CompressionType](#)

[FileType](#)

[JpegQuality](#)

[Outline](#)

[PaperSupply](#)

[ScanTo](#)

## 値の設定

デザイン時、実行時

## 値の参照

実行時

## エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

## 互換性、制限事項

V1.0 ではメモリ渡し時 (ScanTo プロパティに「2 -Raw Image Handle」を設定した場合)、CompressionType プロパティを「0 - No Compress」に設定しましたが、V2.0L10 以後は設定しません。

本プロパティは Outline プロパティに設定されている値に依存しますので、本プロパティを設定する前に、Outline プロパティに「0 - None」を設定してください。

### 3.1.52 PreFiltering .... ボールペンフィルタ

#### 機能

ボールペンフィルタモードを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.PreFiltering [= Boolean ]

#### 設定値

True ボールペンフィルタモード有効にする

False ボールペンフィルタモード無効にする

#### 初期値

False ボールペンフィルタモード無効にする

#### 解説

ボールペンで書き込まれた帳票を読み取る場合に、ボールペンのインクの反射光特性は均一でない為、文字の一部が欠落する場合があります。この指定を有効にすると、途切れた線と細い線を補正するフィルタリングを行います。

このプロパティは、PixelType プロパティが「0 – Black & White」でかつ、Threshold プロパティが「0」が指定された時のみ有効となります。それ以外は無視されます。

画像処理ボード(fi-4860C2 は装置に内蔵)を持たない装置では、本プロパティはサポートされていないため、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PixelType](#)

[Threshold](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

なし

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.53 RegionLeft .... 読み取り領域の左端位置

#### 機能

読み取り領域の左端位置を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.RegionLeft [= Single ]

#### 設定値

読み取り領域の左端位置を設定します。

#### 初期値

0

#### 解説

読み取り領域の左端位置を設定します。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[CustomPaperWidth](#)

[PaperSize](#)

[PaperSupply](#)

[RegionTop](#)

[RegionWidth](#)

[RegionLength](#)

[Unit](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

設定時におけるエラーチェックは一切行っていません。

RegionLeft, RegionTop, RegionWidth, RegionLength プロパティで設定されている読み取り領域が四角形にならない(負の値が設定されている場合)ときは、上記4つのプロパティは、読み取り実行時に 0 に設定され、原稿サイズ全体の読み取り処理を行います。

RegionLeft プロパティで設定されている読み取り領域の左端位置が、PaperSize、または、CustomPaperWidth プロパティで設定されている原稿サイズに収まらない場合、読み取り実行時に 0 を設定して読み取り処理を行います。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.54 RegionLength .... 読み取り領域の長さ

#### 機能

読み取り領域の長さを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.RegionLength [= Single ]

#### 設定値

読み取り領域の長さを設定します。

#### 初期値

0

#### 解説

読み取り領域の長さ(縦)を設定します。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[CustomPaperWidth](#)

[CustomPaperLength](#)

[PaperSize](#)

[PaperSupply](#)

[RegionLeft](#)

[RegionTop](#)

[RegionWidth](#)

[Unit](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

設定時におけるエラーチェックは一切行っていません。

RegionWidth, RegionLength プロパティが、0 に設定されていた場合は、Paper Size, CustomPaperWidth, CustomPaperLength プロパティで設定されている原稿サイズ全体の読み取りを行います。

RegionLeft, RegionTop, RegionWidth, RegionLength プロパティで設定されている読み取り領域が四角形にならない(負の値が設定されている場合)ときは、上記4つのプロパティは、読み取り実行時に、0 に設定され、原稿サイズ全体の読み取り処理を行います。

読み取り領域の長さが 1 インチ(26mm)未満に設定されているときは、読み取り実行時に、読み取り領域の長さを 1 インチ(26mm)に設定し読み取り処理を行います。

RegionLength プロパティで設定されている読み取り領域が、PaperSize、または、CustomPaperLength プロパティで設定されている原稿サイズに収まらない場合、読み取り実行時に

原稿サイズ(領域)に収まるように設定し読み取り処理を行います。

**互換性、制限事項**

なし

### 3.1.55 RegionTop .... 読み取り領域の上端位置

#### 機能

読み取り領域の上端位置を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.RegionTop [= Single ]

#### 設定値

読み取り領域の上端位置を設定します。

#### 初期値

0

#### 解説

読み取り領域の上端位置を設定します。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[CustomPaperLength](#)

[PaperSize](#)

[PaperSupply](#)

[RegionLeft](#)

[RegionWidth](#)

[RegionLength](#)

[Unit](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

設定時におけるエラーチェックは一切行っていません。

RegionLeft, RegionTop, RegionWidth, RegionLength プロパティで設定されている読み取り領域が四角形にならない(負の値が設定されている場合)ときは、上記4つのプロパティは、読み取り実行時に、0に設定され、原稿サイズ全体の読み取り処理を行います。

RegionTop プロパティで設定されている読み取り領域の上端位置が、PaperSize、または、CustomPaperLength プロパティで設定されている原稿サイズに収まらない場合、読み取り実行時に0を設定して読み取り処理を行います。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.56 RegionWidth .... 読み取り領域の横幅

#### 機能

読み取り領域の横幅を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.RegionWidth [= Single ]

#### 設定値

読み取り領域の横幅を設定します。

#### 初期値

0

#### 解説

読み取り領域の幅(横)を設定します。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[CustomPaperWidth](#)

[CustomPaperLength](#)

[PaperSize](#)

[PaperSupply](#)

[RegionLeft](#)

[RegionTop](#)

[RegionLength](#)

[Unit](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

設定時におけるエラーチェックは一切行っていません。

RegionWidth,RegionLength プロパティが、0 に設定されていた場合は、Paper Size, CustomPaperWidth,CustomPaperLength プロパティで設定されている原稿サイズ全体での読み取りとなります。

RegionLeft, RegionTop, RegionWidth, RegionLength プロパティで設定されている読み取り領域が四角形にならない(負の値が設定されている場合)ときは、上記4つのプロパティは、読み取り実行時に、0 に設定され、原稿サイズ全体の読み取り処理を行います。

読み取り領域の横幅が1 インチ(26mm)未満に設定されているときは、読み取り実行時に、読み取り領域の横幅を1 インチ(26mm)に設定し読み取り処理を行います。

RegionWidth プロパティで設定されている読み取り領域が、PaperSize、または、CustomPaperWidth プロパティで設定されている原稿サイズに収まらない場合、読み取り実行時に原稿サイズ(領域)に

収まるように設定し読み取り処理を行います。

**互換性、制限事項**

なし

### 3.1.57 Report .... レポート出力

#### 機能

読み取り結果の出力方法を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**Report** [= Short]

#### 設定値

0 – OFF	結果報告を行わない
1 – Display	結果報告を画面に出力(ダイアログ表示)
2 – File	結果報告をファイルに出力
3 – Display+File	結果報告を画面およびファイルに出力

#### 初期値

0 – OFF	結果報告を行わない
---------	-----------

#### 解説

読み取り結果の出力方法を設定します。

読み取り開始ボタンが押されてから、読み取りが終わるまでの時間(PPM/IPM 単位)、および、読み取り属性(解像度、原稿サイズ、イメージタイプ等)を出力します。出力するタイミングは、ドライバが閉じた後です。ドライバ画面を閉じないでそのまま、読み取りを行った場合は、ドライバを閉じる直前に読み取り結果が出力されます。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ReportFile](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

読み取り枚数が0(読み取りを行わなかった)の場合や、読み取り中にエラーが発生した場合などにおいては、結果は出力されません。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.58 ReportFile .... レポートファイル名

#### 機能

読み取り結果ファイル名を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**ReportFile** [= String]

#### 設定値

読み取り結果を保存するファイル名(絶対パスを含む NULL で終わる文字列)

#### 初期値

"" (空の文字列)

#### 解説

読み取り結果をファイルに出力する際のファイル名を設定します。

このプロパティは、Report プロパティに「2 - File」または、「3 - Display+File」が設定されているときのみ有効になります。

読み取り開始ボタンが押されてから、読み取りが終わるまでの時間(PPM/IPM 単位)、および、読み取り属性(解像度、原稿サイズ、イメージタイプ等)を出力します。出力するタイミングは、ドライバが閉じた後です。ドライバ画面を閉じないでそのまま、読み取りを行った場合は、ドライバを閉じる直前に読み取り結果が出力されます。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[Report](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

Report プロパティに「2 - File」または、「3 - Display+File」以外が設定されている場合は本プロパティを無視して読み取り処理を行います。

実行時において、ファイル名のチェックを行います。ファイル名が不正な場合や、書き込みできなかった場合などにおいては、ファイルの書き込みは行わずに終了します。

ディスク容量不足の場合は、読み取り結果が出力されないファイルが生成される場合があります。相対パスが指定された場合の動作は保証しません。意図しない場所にファイルが生成される場合があります。

また、読み取り枚数が 0(読み取りを行わなかった)の場合や、読み取り中にエラーが発生した場合などにおいても、出力されません。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.59 Resolution .... 定型解像度

#### 機能

読み取り解像度を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**Resolution** [= Short]

#### 設定値

0 – 200 × 200 [dpi]

1 – 240 × 240 [dpi]

2 – 300 × 300 [dpi]

3 – 400 × 400 [dpi]

4 – 500 × 500 [dpi]

5 – 600 × 600 [dpi]

6 – 700 × 700 [dpi]

7 – 800 × 800 [dpi]

99 – Custom

#### 初期値

2 – 300 × 300 [dpi]

#### 解説

上記設定値から、読み取りに使用する解像度を選択し設定します。

装置にてサポートされている解像度であっても、読み取り原稿サイズなどとの関係で読み取りができない場合があります。

例)「7 – 800 × 800」を設定し、原稿サイズ A3 で読み取り。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[CustomResolution](#)

[PaperSize](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

装置にてサポートされていない解像度が設定された場合は、読み取り実行時に初期値に設定し読み取りを行います。

※装置毎により読み取ることができる解像度は異なります。

お使いの装置に添付の「オペレータガイド」をご参照願います。

(※ 「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

### **互換性、制限事項**

V2.0L10 より、初期値が 3 から 2 に変更されました。

### 3.1.60 Reverse .... 白黒反転

#### 機能

白黒反転処理の有無を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Reverse [= Boolean ]

#### 設定値

True 白黒反転処理を行う  
False 白黒反転処理を行わない

#### 初期値

False 白黒反転処理を行わない

#### 解説

イメージデータの白黒反転処理の有無を設定します。

(注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PaperSupply](#)

[PixelType](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

装置によっては、本プロパティは PixelType プロパティとの組み合わせで有効にならない場合があります。この場合 PixelType プロパティの指定が優先となり、Reverse プロパティは初期値として読み取り処理を行います。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.61 Rotation .... 回転角度の設定

#### 機能

読み取りイメージの回転角度を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Rotation [ = Short ]

#### 設定値

0 - None	回転なし
1 - R90	右 90 度回転
2 - R180	右 180 度回転
3 - R270	右 270 度回転

#### 初期値

0 - None 回転なし

#### 解説

読み取った画像を指定した角度に回転させて出力します。

読み取りイメージの回転角度を設定します。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PaperSupply](#)

[ScanTo](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.62 ScanCount .... 読み取りページ数

#### 機能

読み取りページ数を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.ScanCount [= Short ]

#### 設定値

-1, 1 ~ 32767 の範囲内の値（単位はページ）

-1 を設定した場合は、ADF 上の原稿をすべて読み込みます。

(0 は範囲外です)

#### 初期値

-1(ADF 上の紙をすべて読み込みます)

#### 解説

ADF から連続読み取りを行う際に、一度に読み取るページ数を指定します。

このプロパティは、PaperSupply プロパティが「1 - ADF」または、「2 - ADF(Duplex)」、「3 - ADF(BackSide)」が設定された時のみ有効となります。

「0 - Flatbed」が設定されていた場合、1 回のみスキャニングを行います。

また、「2 - ADF(Duplex)」が設定されていて、本プロパティを 1 に設定し読み込みを行った場合は、表面のみ読み取りを行います。原稿を表裏両面読みみたい場合は、本プロパティに 2(表裏合わせて2ページとなります。) を設定してください。

本プロパティに 16384 以上を設定し、FileType プロパティに「6 - Muti Image Output」が設定されていた場合、32766 回スキャニングを行います。

注) 他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[FileType](#)

[PaperSupply](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

ADF 読み取り時に、本プロパティで設定した枚数よりも少ない枚数しか原稿がなかった場合は、ADF 上の原稿をすべて読み込んだ後に、RC\_FAILURE を返します。その時の ErrorCode プロパティには EC\_NOT\_ENOUGH\_PAPER という値が入ります。原稿をセットし直し、続けて読み取りを行いたい場合は、再度、StartScan メソッドを呼びます。

### **互換性、制限事項**

ADF 読み取り時に、本プロパティで設定した枚数より原稿が多い場合は、ScanCount プロパティで指定した枚数の最後の一枚は、装置によっては完全に排出されません。

### 3.1.63 ScanTo .... 読み取りデータの出力方法

#### 機能

読み取りデータの出力方法を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.ScanTo [ = Short ]

#### 設定値

読み取ったデータの出力方法を下記より選択し設定します。

- |                      |                             |
|----------------------|-----------------------------|
| 0 – File             | ファイル                        |
| 1 – Dib Handle       | DIB ハンドル渡し (Java の場合、未サポート) |
| 2 – Raw Image Handle | メモリ渡し (Java の場合、未サポート)      |

#### 初期値

- |          |      |
|----------|------|
| 0 – File | ファイル |
|----------|------|

#### 解説

イメージスキーナで読み取ったデータの出力方法を設定します。

- ・「0 – File」を設定した場合には、データはファイルとして出力します。  
FileName プロパティ及び FileType プロパティを設定してください。
- ・「1 – Dib Handle」を設定した場合には、ScanToDib イベントを発行し、DIB ハンドルを渡します。  
詳細は、[ScanToDib](#) イベントを参照してください。
- ・「2 – Raw Image Handle」を設定した場合は、ScanToRaw イベントを発行し、メモリハンドルを渡します。  
詳細は、[ScanToRaw](#) イベントを参照してください。

注) 他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

「0 – File」のとき

[FileName](#)  
[FileType](#)

「2 – Raw Image Handle」のとき

[PaperSupply](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

#### 互換性、制限事項

Java の場合は、設定する値を「0 – File」のみ有効になります。

### 3.1.64 SEE .... 選択的強調

#### 機能

選択的強調の有無を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**SEE** [= Short]

#### 設定値

0 – OFF	選択的強調処理を行わない
1 – ON	選択的強調処理を行う

#### 初期値

0 – OFF	選択的強調処理を行わない
---------	--------------

#### 解説

選択的強調処理(SEE : Selectable Edge Enhancement)を設定します。

線画(文字)と写真画像をハーフトーンで読み取り、線画部分のみに強調処理を施します。

文字と写真が混在した文書で文字だけ強調させたい場合に最適です。

このプロパティは、PixelType プロパティに「0 – Black & White」、AutoSeparation プロパティに「0 – OFF」、Halftone プロパティに「0 – None」以外が設定されている場合のみ有効になります。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[AutoSeparation](#)

[Halftone](#)

[PixelType](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

PixelType プロパティに「1 – Grayscale」、「2 – RGB」が設定されている、または、AutoSeparation プロパティに「1 – ON」が設定されている場合、本プロパティを無視して読み取り処理を行います。

また、Halftone プロパティが「0 – None」に設定されている場合は、Halftone プロパティを「1 – Dither Pattern 0」(濃い写真画像用)に設定します。

本プロパティがサポートされていない装置において、本プロパティに「1 – ON」が設定されている場合、読み取った画像に Halftone の効果が生じる場合があります。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.65 Shadow .... シャドウ

#### 機能

シャドウを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Shadow [= Short]

#### 設定値

0 ~ 254 の範囲内の値

#### 初期値

10

#### 解説

読み取り時のイメージのシャドウを設定します。

本プロパティは、PixelType プロパティに「1 - Grayscale」または「2 - RGB」が設定されているときに有効です。

但し、PixelType プロパティに「1 - Grayscale」を設定する場合は、Gamma プロパティは「4 - Custom」を設定してください。

本プロパティは、Highlight プロパティより大きい値を指定することは出来ません。

PaperSupply プロパティに「4 - ADF(CarrierSheet Spread A3)」、「5 - ADF(CarrierSheet Spread DL)」、「6 - ADF(CarrierSheet Spread B4)」、「7 - ADF(CarrierSheet Clipping)」を指定した場合、本プロパティは無効になります。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[Gamma](#)

[Highlight](#)

[PaperSupply](#)

[PixelType](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値(0~ 254 以外)およびHighlight プロパティより大きい値を設定した場合には、値の更新は行いません。

装置によって、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

本プロパティの設定値が範囲外であるかどうかを判定するとき、その時点の Highlight プロパティの

値を参照します。よって `Highlight` プロパティは本プロパティの前に設定してください。

### 3.1.66 ShowSourceUI .... ソースのユーザーインターフェース (UI) 表示設定

#### 機能

ソースのユーザーインターフェース(UI)を表示するかどうかを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.ShowSourceUI [= Boolean]

#### 設定値

True ソースのユーザーインターフェースを表示する  
False ソースのユーザーインターフェースを表示しない

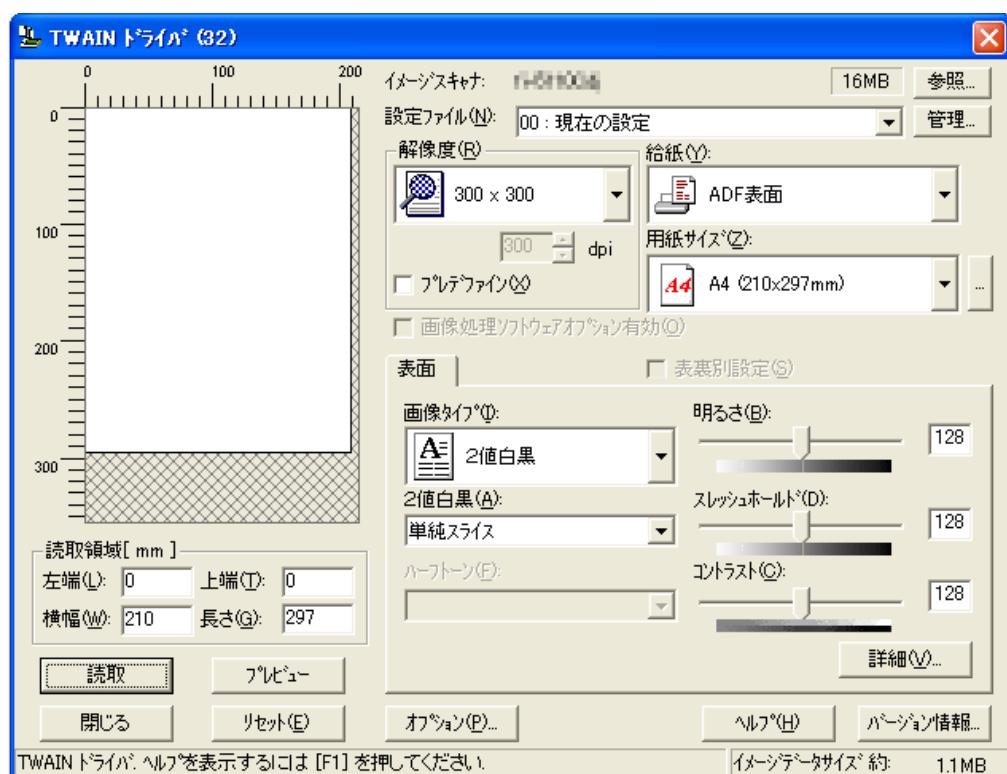
#### 初期値

True ソースのユーザーインターフェースを表示する

#### 解説

読み取り時に、ソースのユーザーインターフェース(UI)を表示するかどうかを指定します。

読み取り処理を自動化したいときなどには、Falseにしてください。



#### ユーザーインターフェース表示例

読み取りを行なわないで、クローズボックスまたは[閉じる]ボタンでソースのユーザーインターフェース (UI) を閉じた場合、StartScan メソッドの戻り値は、RC\_SUCCESS が報告されます。

注) 他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

**対象メソッド**

[StartScan](#)

**関連プロパティ**

[PaperSupply](#)

**値の設定**

デザイン時、実行時

**値の参照**

実行時

**エラーリカバリ**

なし

**互換性、制限事項**

なし

### 3.1.67 SilentMode .... サイレントモードの設定

#### 機能

ソースをサイレントモードで実行するかどうか設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**SilentMode** [= Boolean ]

#### 設定値

True サイレントモード

False 通常モード

#### 初期値

False 通常モード

#### 解説

ソースをサイレントモード(エラーメッセージなどの通知を行わないモード)で実行するかどうか設定します。

True を指定した場合には、エラーメッセージが出力されなくなります。

False を指定した場合には、通常と同様にエラーメッセージなどが出力されるようになります。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ErrorCode](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

エラーメッセージの表示などは、すべてアプリケーション側で行わなければなりません。エラーの詳細については、ErrorCode プロパティを参照するようにします。

#### 互換性、制限事項

ソースのオープン時などにおけるエラーは、本プロパティを True に設定しても出力される場合があります。

例)「スキャナのランプが暖まるまでしばらくお待ちください。」

「MSG\_OPENDS の応答についての一般違反です。他のアプリケーションで、スキャナを使用中である可能性があります。他アプリケーションで、使用していないことを確認してから、再度実行ください。(Code: DS50171)」

「通信ができませんでした。電源が入っているか、ケーブルが外れていないか、もしくは他のアプリケーションで使用していないかを確認してください。詳細については、取扱説明書をご参照ください。(Code: DS42019)」

### 3.1.68 SkipBlackPage.... 黒原稿のスキップ

#### 機能

ADF連続読み取り時にブランクページ(真っ黒な紙)をとばして読み取りを行います。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**SkipBlackPage** [= Short]

#### 設定値

- 0 - スキップしない
- 1 ~15 - 黒原稿中の白のドットの割合を 0.2%刻みで指定する。最大 3.0%となる。

#### 初期値

- 0 - スキップしない

#### 解説

ADF 連続読み取り時にブランクページ(真っ黒な紙)をとばして読み取りを行います。

読み取った画像中の白のドットの割合が、設定値で指定した値以下の場合にブランクページとして認識されます。

読み飛ばされたページに対して、FileCounter プロパティおよび、PageCounter プロパティ値は更新されません。

PixelType プロパティで白黒二値を設定したときだけ有効です。

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PaperSupply](#)

[PixelType](#)

[ScanTo](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

装置により、本プロパティがサポートされていない場合は、読み取り実行時に無視されます。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

本機能を有効にすると、ソースのUIで、キャッシング設定が「ホストPC内メモリ使用」、「両メモリ使用」以外の設定の場合、装置により「ホストPC内メモリ使用」または「両メモリ使用」に切り替わります。

### 3.1.69 SkipWhitePage.... 白原稿のスキップ

#### 機能

ADF連続読み取り時にブランクページ(白紙)をとばして読み取りを行います。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**SkipWhitePage** [= Short]

#### 設定値

- |       |   |
|-------|---|
| 0     | - スキップしない   |
| 1 ~15 | - PixelType プロパティの設定が白黒二値の時、白原稿中の黒のドットの割合を 0.2%刻みで指定する。最大 3.0%となる。<br>PixelType プロパティの設定がグレースケールまたは RGB カラーの時、指定された 1 ~15 の値を 5 レベルで評価する。値が大きいほどスキップしやすくなる。 |

#### 初期値

- |   |           |
|---|-----------|
| 0 | - スキップしない |
|---|-----------|

#### 解説

ADF 連続読み取り時にブランクページ(白紙)をとばして読み取りを行います。

読み取った画像中の黒のドットの割合が、設定値で指定した値以下の場合にブランクページとして認識されます。

読み飛ばされたページに対して、FileCounter プロパティおよび、PageCounter プロパティ値は更新されません。

注) 他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PaperSupply](#)

[PixelType](#)

[ScanTo](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

装置により、本プロパティがサポートされていない場合は、読み取り実行時に無視されます。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

本機能を有効にすると、ソースのUIで、キャッシュ設定が「ホストPC内メモリ使用」、「両メモリ使用」以外の設定の場合、装置により「ホストPC内メモリ使用」または「両メモリ使用」に切り替わります。

### 3.1.70 Smoothing .... OCRスムージングモード／背景除去

#### 機能

線画のギザギザ部分を滑らかにし、背景のムラを取り除く機能です。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Smoothing [= Boolean]

#### 設定値

True スムージングモード有効にする

False スムージングモード無効にする

#### 初期値

False スムージングモード無効にする

#### 解説

線画のギザギザ部分を滑らかにし、背景のムラを取り除く機能です。

このプロパティは、PixelType プロパティが「0 - Black & White」でかつ、Threshold プロパティが「0」に指定された時のみ有効となります。それ以外は無視されます。

画像処理ボード (fi-4860C2 は装置に内蔵) を持たない装置では、本プロパティはサポートされていないため、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※ 「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

(注) 他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PixelType](#)

[Threshold](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

なし

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.71 SourceCurrentScan .... ソースのカレント値で読み取り

#### 機能

ソースのカレント値で読み取りを行うかどうかを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**SourceCurrentScan** [ = Boolean ]

#### 設定値

True ソースのカレント値で読み取る

False OCX のプロパティに設定した値で読み取る

#### 初期値

False OCX のプロパティに設定した値で読み取る

#### 解説

ソースが現在設定されている値(カレント値)で読み取りを行うかどうかの設定を行います。

本プロパティを True に設定した場合は、ソースが現在設定されている値で読み取り処理を行います。

以下に、本プロパティを True に設定したときに有効となるプロパティを記述します。(下記以外のプロパティは、すべて無効となります。)

ScanTo  
FileType  
FileName  
CompressionType  
ScanCount  
ShowSourceUI  
SilentMode  
FileCounter  
JpegQuality  
Indicator

本プロパティを False に設定した場合は、本コントロールが以下のソースの設定値を変更し、読み取り処理を行います。

・マルチイメージ設定 → 一時的に設定をオフに変更します。ソースの設定は変更しません。

※マルチイメージ設定については、スキナドライバの取扱説明書をご覧ください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[CompressionType](#)

[FileCounter](#)

[FileName](#)

[FileType](#)

[Indicator](#)

[ScanCount](#)

[ScanTo](#)

[ShowSourceUI](#)

SilentMode

JpegQuality

**値の設定**

デザイン時、実行時

**値の参照**

実行時

**エラーリカバリ**

なし

**互換性、制限事項**

なし

### 3.1.72 Threshold .... スレッシュホールド

#### 機能

スレッシュホールドを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Threshold [= Short ]

#### 設定値

0 ~ 255 の範囲内の値

0 を設定した場合は、自動二値モードになります。

※自動二値モードとは、画像を二値化するため本プロパティを自動的に調整することを意味します。

#### 初期値

128

#### 解説

二値化処理を行う際の、スレッシュホールド値(しきい値)を設定します。

このプロパティは、PixelType プロパティが「0 – Black & White」で、かつ、Halftone プロパティが「0 – None」が設定されているときのみ有効になります。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[Halftone](#)

[PixelType](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値(0 ~ 255 以外)を設定した場合には、値の更新は行いません。

PixelType プロパティが「0 – Black & White」で、かつ、Halftone プロパティが「0 – None」が設定されているとき以外は、本プロパティは無視され、読み取り処理を行います。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.73 ThresholdCurve.... 自動 2 値時の濃度カーブ

#### 機能

自動 2 値時の濃度カーブを設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.ThresholdCurve [= Short ]

#### 設定値

0 – Curve1	淡い(OCR 用)
1 – Curve2	やや淡い(OCR 用)
2 – Curve3	普通1(OCR 用)
3 – Curve4	普通2(OCR 用)
4 – Curve5	やや濃い(OCR 用)
5 – Curve6	濃い(OCR 用)
6 – Curve7	普通(画像用)
7 – Curve8	最も濃い(画像用)

#### 初期値

0 – Curve1 淡い(OCR 用)

#### 解説

自動 2 値読み取り時の濃度カーブを指定します。

このプロパティは、PixelType プロパティが「0 – Black & White」のときかつ Threshold プロパティが「0」が指定された時のみ有効となります。それ以外は無視されます。

画像処理ボード(fi-4860C2 は装置に内蔵)を持たない装置では、本プロパティはサポートされていないため、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

注)他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[PixelType](#)

[Threshold](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.74 TwainDS .... データソースの設定

#### 機能

使用する TWAIN データソースの設定を行います。

#### 書式

[form.] scancontrolname.TwainDS [= String ]

#### 設定値

TWAIN データソースのプロダクト名。

(TWAIN データソースの選択画面に出てくるソース名)

""(空の文字列) の場合は、デフォルトの TWAIN データソースを使用し、読み取り処理を行います。

#### 初期値

""(空の文字列)

#### 解説

読み取りに使用する TWAIN データソースを指定します。

データソースを限定したい場合などに有効です。

本プロパティで、TWAIN データソースを設定しても、TWAIN のデフォルトソースには影響ありません。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

なし

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

存在しないデータソースを設定された場合は、エラーとなります。

また、スキヤナを USB 接続でご利用の場合、接続された USB ポートを変更すると、TWAIN データソースの名前が以下の例のように変更されます。

(例)

接続 USB ポート変更前 : Fujitsu fi-5015C

接続 USB ポート変更後 : Fujitsu fi-5015C #2

従って、本プロパティにデータソースを設定し、接続 USB ポートが変更された場合にも、エラーとなります。

これを回避するためには、Windows ディレクトリ(デフォルトは C:\Windows)配下の fiscn.ini ファイルの記述を以下のように変更します。

(インストール後のデフォルト)

[Mode]

AnyPort=0

(修正後)

[Mode]

AnyPort=1

上記の設定により、#2,#3...の番号が付加されていないTWAIN データソースを設定しても、番号が付

加された TWAIN データソースを自動的に検索して読み取り処理を行います。

設定されている文字列は大文字/小文字の区別が行われます。

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.75 UndefinedScanning .... 不定長読み取り（後端検出）の設定

#### 機能

不定長読み取り(後端検出)をするかどうか設定を行います。

#### 書式

[form.] scancontrolname.**UndefinedScanning** [= Boolean ]

#### 設定値

True 不定長読み取りを行う  
False 不定長読み取りは行わない

#### 初期値

False 不定長読み取りは行わない

#### 解説

不定長読み取り(後端検出)の設定を行います。

ADF 読み取り時に、原稿の後端を検出して、原稿長さ分の読み取りを行います。

長さの異なる複数の原稿を ADF で連続読み取りした場合、それぞれ原稿の長さに応じた出力結果がえられます。

不定長の原稿を読み取るときに有効です。

PaperSize プロパティで指定された長さ以上の読み取りは行えません。

注) 他プロパティの設定値によって、本プロパティの指定が有効となる。または、有効とならない(無視される)場合があります。「[5.3 プロパティにおける相関関係](#)」を参照してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[AutoBorderDetection](#)

[BackgroundColor](#)

[OverScan](#)

[PaperSupply](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

装置によって、本プロパティが有効とならない場合には、読み取り実行時に本プロパティを無視して読み取り処理を行います。(※ 「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

#### 互換性、制限事項

なし

### 3.1.76 Unit .... 寸法単位(インチ/センチ/ピクセル)

#### 機能

寸法単位(インチ/センチ/ピクセル)を設定します。

#### 書式

[form.] scancontrolname.Unit [= Short ]

#### 設定値

0 - Inches	インチ(inch)
1 - Centimeters	センチ(cm)
2 - Pixels	ピクセル(Pixel)

#### 初期値

0 - Inches インチ(inch)

#### 解説

寸法単位(インチ/センチ/ピクセル)を設定します。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[CustomPaperLength](#)

[CustomPaperWidth](#)

[EndorserOffset](#)

[RegionLeft](#)

[RegionLength](#)

[RegionTop](#)

[RegionWidth](#)

#### 値の設定

デザイン時、実行時

#### 値の参照

実行時

#### エラーリカバリ

範囲外の値を設定した場合には、値の更新は行いません。

本プロパティの値を「1 - Centimeters」に設定したときに、関連するプロパティ(CustomPaperLength, CustomPaperWidth, EndorserOffset, RegionLeft, RegionTop, RegionWidth, RegionLength)の値に小数点が含まれる場合、小数点第1位が四捨五入されます。

#### 互換性、制限事項

なし

## 3.2 メソッド

### 3.2.1 メソッド一覧

Fujitsu Scanner Control SDK がサポートするメソッドをまとめたものを以降に記述します。

メソッド名	説明	項番
<a href="#">AboutBox</a>	本コントロールのバージョン情報ダイアログを表示します。	3.2.3
<a href="#">CancelScan</a>	イメージの読み取りを中止します。	3.2.4
<a href="#">ClearPage</a>	ADF 上にある原稿を排出します。	3.2.5
<a href="#">CloseScanner</a>	読み取り終了後の後処理を行います。	3.2.6
<a href="#">FeederLoaded</a>	ADF に原稿が設定されているかどうかを通知します。	3.2.7
<a href="#">GetCapability</a>	アプリケーションから TWAIN データソースに対して、キャパビリティの取得を行います。	3.2.8
<a href="#">GetSlpcTemplateCount</a>	「画像処理ソフトウェアオプション」で作成されたテンプレートの総数を取得します。	3.2.9
<a href="#">GetSlpcTemplateName</a>	「画像処理ソフトウェアオプション」で指定したテンプレート番号に相当するテンプレート名を取得します。	3.2.10
<a href="#">GetSlpcTemplateSelect</a>	「画像処理ソフトウェアオプション」で現在選択されているテンプレート番号を取得します。	3.2.11
<a href="#">GetTWAINTemplateCount</a>	「TWAIN ドライバ」で作成された設定ファイルの総数を取得します。	3.2.12
<a href="#">GetTWAINTemplateName</a>	「TWAIN ドライバ」で指定した設定ファイル番号に相当するテンプレート名を取得します。	3.2.13
<a href="#">GetTWAINTemplateSelect</a>	「TWAIN ドライバ」で現在選択されている設定ファイル番号を取得します。	3.2.14
<a href="#">OpenScanner</a>	読み取りを行う前の初期化処理を行います。	3.2.15
<a href="#">ScannerAvailable</a>	スキャナが利用可能な状態にあるかどうかを調べます。	3.2.16
<a href="#">SelectSource</a>	データソースの選択処理を行います。	3.2.17
<a href="#">SetCapability</a>	アプリケーションから TWAIN データソースに対して、キャパビリティの設定を行います。	3.2.18
<a href="#">SetSlpcTemplateSelect</a>	「画像処理ソフトウェアオプション」で選択するテンプレート番号を設定します。	3.2.19
<a href="#">SetTWAINTemplateSelect</a>	「TWAIN ドライバ」で選択する設定ファイル番号を設定します。	3.2.20
<a href="#">SetupDataSourceProperties</a>	設定のみ可能なソースのユーザーインターフェースを表示します。	3.2.21
<a href="#">StartScan</a>	イメージの読み取りを開始します。	3.2.22

### 3.2.2 本章の用例および表記規則

#### 機能

メソッドの概要を説明します。

#### 書式

プログラムを記載する場合のメソッドの使用方法および書式を示します。

Visual Basic®.NET の表記規則にそって記載いたします。

例 )[form.] scancontrolname.AboutBox

構文中の角かっこ ([ ]) で囲まれた項目は、省略可能であることを示します。

#### パラメータ

メソッドに渡す引数を記載します。

#### 解説

使用目的やその機能について記載します。加えて、注意事項や相関するプロパティについての制限なども必要に応じて併記します。

#### 対象メソッド

このメソッドを処理する事でこのプロパティの状態が変化するものの一覧を示します。

#### 関連プロパティ

プロパティ同士で影響を受け合うもの全てを記述します。

#### 戻り値

メソッドからの戻り値を示します。

#### サンプル

必要に応じて、簡単なプログラム例を記載します。

### 3.2.3 AboutBox .... バージョン情報ダイアログの表示

#### 機能

本コントロールのバージョン情報ダイアログを表示します。



#### 書式

[form.] scancontrolname.**AboutBox**

#### パラメータ

なし

#### 対象メソッド

なし

#### 関連プロパティ

なし

#### 戻り値

なし。

#### サンプル

本コントロールのバージョン情報ダイアログを表示します。

##### [Visual Basic.NET]

```
Private Sub Command5_Click()
    'バージョン情報ダイアログの表示
    AxFiScn1.AboutBox()
End Sub
```

##### [Java]

```
try {
    FiscnSampleApI obj = new FiscnSampleApI();
    //内部初期化処理
    initialize(obj);
    //バージョン情報ダイアログの表示
    aboutBox();
} catch (FiScnException e) {
    //TODO:エラー処理を行う
} finally {
    //内部終了処理
    unInitialize();
}
```

### 3.2.4 CancelScan .... イメージの読み取り中止

#### 機能

イメージの読み取りを中止します。

#### 書式

[ Integer = ] [form.] scancontrolname.**CancelScan()**

#### パラメータ

なし

#### 戻り値

0 : RC\_SUCCESS 正常終了  
-3 : RC\_SEQUENCE\_ERROR シーケンスエラー

#### 解説

StartScan メソッドによるイメージの読み取りを中止します。

本メソッドは[ScanToDib](#)、[ScanToRaw](#)、[ScanToFile](#) のいずれかのイベントハンドラ内から呼び出す必要があります。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

なし。

#### エラーリカバリ

エラーの対処方法については、「5.2 エラー番号とエラー時の対処方法」を参照してください。

#### 互換性、制限事項

なし。

### 3.2.5 ClearPage.... 原稿の排出処理

#### 機能

原稿の排出を行う。

#### 書式

[ Integer = ] [form.] scancontrolname. **ClearPage**(hWnd As Integer)

#### パラメータ

hWnd 本コントロール(Fujitsu Scanner Control)が配置されているウィンドウのハンドルを設定する。

#### 戻り値

0:RC_SUCCESS	正常終了
-1:RC_FAILURE	エラー
-3:RC_SEQUENCE_ERROR	シーケンスエラー(メソッド実行中)

#### 解説

ADF 上にある原稿を1枚排出します。既にイメージスキャナ装置内に給紙されている原稿があれば、それを排出した後に ADF 上の原稿を排出します。

なお、既に給紙されている原稿は、手で取り除いても装置がその状態を記憶しています。よってその場合は ADF 上の原稿を二枚排出する動作となります。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ErrorCode](#)

#### エラーリカバリ

エラー時(「-1:RC\_FAILURE」)には、ErrorCode プロパティから値を取得することができます。

エラーの対処方法については、「[5.2 エラー番号とエラー時の対処方法](#)」を参照してください。

#### 互換性、制限事項

RC\_SEQUENCE\_ERROR が報告された場合は、他のフォームでメソッドが実行中であることを示し、実行中のメソッドが完了すれば再試行できます。ただしとえばあるフォームから StartScan メソッドを実行中に別のフォームから CloseScanner メソッドを実行するようなアプリケーション設計はお勧めできません。同一のフォームから発行することを強く推奨します。

ClearPage メソッドは、装置でサポートされない場合は動作しません。(例 fi-5015C)

## サンプル

ADF 上にある原稿を排出します。

[Visual Basic.NET]

```
Private Sub Command6_Click()
    '原稿の排出処理
    AxFiScn1.ClearPage(Me.Handle.ToInt32)
End Sub
```

[Java]

```
try {
    FiscnSampleApl obj = new FiscnSampleApl();
    //内部初期化処理
    initialize(obj);
    //原稿の排出処理
    clearPage();
} catch (FiScnException e) {
    //TODO:エラー処理を行う
} finally {
    //内部終了処理
    unInitialize();
}
```

### 3.2.6 CloseScanner .... スキャナのクローズを行う

#### 機能

終了処理を行います。

#### 書式

[ Integer = ] [form.] scancontrolname.CloseScanner(hWnd As Integer)

#### パラメータ

hWnd 本コントロール(Fujitsu Scanner Control)が配置されているウィンドウのハンドルを設定する。

#### 戻り値

0:RC_SUCCESS	正常終了
-1:RC_FAILURE	エラー
-3:RC_SEQUENCE_ERROR	シーケンスエラー(メソッド実行中)

#### 解説

読み取り終了後の後処理を行います。

#### 対象メソッド

[OpenScanner](#)

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ErrorCode](#)

#### エラーリカバリ

エラー時(「-1:RC\_FAILURE」)には、ErrorCode プロパティから値を取得することができます。

エラーの対処方法については、「[5.2 エラー番号とエラー時の対処方法](#)」を参照してください。

#### 互換性、制限事項

OpenScanner メソッドをコールしたら、アプリケーション終了時などに、必ず、本メソッドを呼び出してください。(OpenScanner メソッドと本メソッドは対にならなければなりません。)

また、本メソッドを呼び出た後に、StartScan メソッドを呼び出す場合には、OpenScanner メソッドを再度呼び出すようにしてください。

RC\_SEQUENCE\_ERROR が報告された場合は、他のフォームでメソッドが実行中であることを示し、実行中のメソッドが完了すれば再試行できます。 ただししたとえばあるフォームから StartScan メソッドを実行中に別のフォームから CloseScanner メソッドを実行するようなアプリケーション設計はお勧めできません。同一のフォームから発行することを強く推奨します。

#### サンプル

StartScan メソッドのサンプルを参照してください。

### 3.2.7 FeederLoaded ....ADFの原稿の有無の通知

#### 機能

ADF に原稿が設定されているかどうかを通知します。

#### 書式

[ Boolean = ] [form.] scancontrolname.**FeederLoaded**(hWnd As Integer)

#### パラメータ

hWnd 本コントロール(Fujitsu Scanner Control)が配置されているウィンドウのハンドルを設定する。

#### 戻り値

True 用紙がセットされている。

False 用紙がセットされていません。

#### 対象メソッド

なし

#### 関連プロパティ

[ErrorCode](#)

#### エラーリカバリ

ADF に用紙がセットしていても、直ちに読み取りができるとは限りません。例えばカバーオープンなどが原因で読み取りが行なえない場合があります。

False で戻ったときは、エラーも含まれる場合がありますので、ErrorCode プロパティを参照するようになります。

#### 互換性、制限事項

他のメソッド実行中は、False が戻り値となります。

### 3.2.8 GetCapability.... キャパビリティの取得

#### 機能

キャパビリティの取得を行う。

#### 書式

```
[ Integer = ] [form.] scancontrolname. GetCapability(nCap As Short, nMsg As Short, nItemType As Short, ByRef lpItemValue As Integer)
```

#### パラメータ

nCap	キャパビリティ種別	ex)ICAP_PIXELTYPE
nMsg	メッセージ型	ex)MSG_GETCURRENT
nItemType	キャパビリティデータ型	ex)TWTY_UINT16
lpItemValue	キャパビリティ値格納先アドレス	

#### 戻り値

0:RC_SUCCESS	正常終了
-1:RC_FAILURE	エラー

#### 解説

当メソッドの呼び出しに関しては、TWAIN規約の知識が必要となります。TWAIN規約については、<http://www.twain.org/> を参照してください。

アプリケーションから直接 TWAIN データソースに対して、キャパビリティの取得を行います。

[NegotiateCapabilities](#) イベント受け取り時に呼び出してください。

nMsg で指定できるメッセージ型は、MSG\_GET/MSG\_GETCURRENT/MSG\_GETDEFAULT のみサポートされています。lpItemValue は必ず指定してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ErrorCode](#)

#### エラーリカバリ

エラー時(「-1:RC\_FAILURE」)には、ErrorCode プロパティから値を取得することができます。

エラーの対処方法については、「[5.2 エラー番号とエラー時の対処方法](#)」を参照してください。

#### 互換性、制限事項

画像処理ソフトウェアオプションをご利用の場合、TWAIN データの取得はすべて無効です。

### 3.2.9 GetSlpcTemplateCount .... テンプレート総数の取得

#### 機能

「画像処理ソフトウェアオプション」のテンプレート総数の取得を行う。

#### 書式

[ Integer = ] [form.] scancontrolname. **GetSlpcTemplateCount()**

#### パラメータ

なし

#### 戻り値

0～：画像処理ソフトウェアオプション テンプレート数  
-1： RC\_FAILURE 取得失敗  
-2： RC\_SIIPC\_NOTINSTALL 画像処理ソフトウェアオプションがインストールされていない

#### 解説

「画像処理ソフトウェアオプション」で作成された(予め用意されている)テンプレートの総数を取得します。

#### 対象メソッド

[GetSlpcTemplateName](#)  
[GetSlpcTemplateSelect](#)  
[SetSlpcTemplateSelect](#)

#### 関連プロパティ

なし

#### エラーリカバリ

なし。(エラー時に、ErrorCode プロパティから値を取得できません)

#### 互換性、制限事項

なし。

## サンプル

画像処理ソフトウェアオプションのテンプレート一覧ダイアログを表示し、テンプレートを選択します。

### [Visual Basic.NET]

```
Private Sub FormSoftIPC_Load(ByVal sender As System.Object, ByVal e As System.EventArgs) Handles MyBase.Load
    Dim count As Short
    Dim Index As Short
    Dim strName As String
    'SoftIPC のテンプレート数を通知する
    count = FormScan.CurrentInstance.AxFiScn1.GetSlpcTemplateCount
    'テンプレートがない場合、テンプレートリストを作成しない
    If count < 1 Then
        ButtonOK.Enabled = False
        lstTemplate.Enabled = False
        Exit Sub
    End If

    'SoftIPC のテンプレートリストを作成する
    For Index = 0 To count - 1
        strName = FormScan.CurrentInstance.AxFiScn1.GetSlpcTemplateName(Index)
        lstTemplate.Items.Add((strName))
    Next Index
    '現在選択中のテンプレートのインデックス値を通知する
    Index = FormScan.CurrentInstance.AxFiScn1.GetSlpcTemplateSelect
    '現在選択中のテンプレートを選択状態にする
    lstTemplate.SelectedIndex = Index

End Sub

Private Sub cmdOK_Click()
    '現在選択中のテンプレートを設定する
    FormScan.CurrentInstance.AxFiScn1.SetSlpcTemplateSelect(lstTemplate.SelectedIndex)
    Me.Close()
End Sub
```

### [Java]

```
long lSlpcTemplateCount = 0;

try {
    FiscnSampleApI obj = new FiscnSampleApI();
    //内部初期化処理
    initialize(obj);
    //SoftIPCのテンプレート数を取得する
    lSlpcTemplateCount = getSlpcTemplateCount();
} catch (FiScnException e) {
    //TODO:エラー処理を行う
} finally {
    //内部終了処理
    unInitialize();
}
```

### 3.2.10 GetSlpcTemplateName ....テンプレート名の取得

#### 機能

「画像処理ソフトウェアオプション」で指定したテンプレート番号のテンプレート名を取得する。

#### 書式

[ BSTR = ] [form.] scancontrolname. **GetSlpcTemplateName**(nTemplateIndex As Short)

#### パラメータ

nTemplateIndex 取得テンプレート番号(0~)

#### 戻り値

文字列：“”以外 テンプレート名

文字列：“” 取得失敗

#### 解説

「画像処理ソフトウェアオプション」で指定したテンプレート番号に相当するテンプレート名を取得します。

#### 対象メソッド

[GetSlpcTemplateCount](#)

[GetSlpcTemplateSelect](#)

[SetSlpcTemplateSelect](#)

#### 関連プロパティ

なし

#### エラーリカバリ

なし。(エラー時に、ErrorCode プロパティから値を取得できません)

#### 互換性、制限事項

なし。

## サンプル

[Visual Basic.NET]

GetSlpcTemplateCount メソッドのサンプルを参照してください。

[Java]

```
String strSlpcTemplateName = "";
try {
    FiscnSampleApl obj = new FiscnSampleApl();
    //内部初期化処理
    initialize(obj);
    //指定したテンプレート番号のテンプレート名を取得する
    long nIndex = 0;
    strSlpcTemplateName = getSlpcTemplateName(nIndex);
} catch (FiScnException e) {
    //TODO:エラー処理を行う
} finally {
    //内部終了処理
    unInitialize();
}
```

### 3.2.11 GetSIpcTemplateSelect .... 選択されているテンプレート番号の取得

#### 機能

「画像処理ソフトウェアオプション」で選択されているテンプレート番号(0～)の取得を行う。

#### 書式

[ Integer = ] [form.] scancontrolname. **GetSIpcTemplateSelect()**

#### パラメータ

なし

#### 戻り値

0～ : 選択されているテンプレート番号(0～)

-1 : RC\_FAILURE 取得失敗

-2 : RC\_SIIPC\_NOTINSTALL 画像処理ソフトウェアオプションがインストールされていない

#### 解説

「画像処理ソフトウェアオプション」で現在選択されているテンプレート番号(0～)を取得します。

#### 対象メソッド

[GetSIpcTemplateCount](#)

[GetSIpcTemplateName](#)

[SetSIpcTemplateSelect](#)

#### 関連プロパティ

なし

#### エラーリカバリ

なし。(エラー時に、ErrorCode プロパティから値を取得できません)

#### 互換性、制限事項

なし。

#### サンプル

##### [Visual Basic.NET]

GetSIpcTemplateCount メソッドのサンプルを参照してください。

##### [Java]

```
long lSIpcTemplateSelect ;
try {
    FiscnSampleApi obj = new FiscnSampleApi();
    //内部初期化処理
    initialize(obj);
    //選択されているテンプレート番号(0～)の取得を行う
    lSIpcTemplateSelect = getSIpcTemplateSelect();
} catch (FiScnException e) {
    //TODO:エラー処理を行う
} finally {
    //内部終了処理
    unInitialize();
}
```

### 3.2.12 GetTWAINTemplateCount .... 設定ファイル総数の取得

#### 機能

「TWAIN ドライバ」の設定ファイル総数の取得を行う。

#### 書式

[ Integer = ] [form.] scancontrolname. **GetTWAINTemplateCount()**

#### パラメータ

なし

#### 戻り値

0～ : TWAIN ドライバ 設定ファイル数

-1 : RC\_FAILURE 取得失敗

-2 : RC\_TWAIN\_NOTINSTALL TWAIN ドライバがインストールされていない

#### 解説

「TWAIN ドライバ」で作成された(予め用意されている)設定ファイルの総数を取得します。

#### 対象メソッド

[GetTWAINTemplateName](#)

[GetTWAINTemplateSelect](#)

[SetTWAINTemplateSelect](#)

#### 関連プロパティ

なし

#### エラーリカバリ

なし。(エラー時に、ErrorCode プロパティから値を取得できません)

#### 互換性、制限事項

なし。

## サンプル

TWAIN ドライバの設定ファイル一覧ダイアログを表示し、設定ファイルを選択します。

[Visual Basic.NET]

```
Private Sub FormTWAIN_Load (ByVal sender As System.Object, ByVal e As System.EventArgs) Handles MyBase.Load
    Dim count As Short
    Dim Index As Short
    Dim strName As String
    'TWAIN のテンプレート数を通知する
    count = FormScan.CurrentInstance.AxFiScn1.GetTWAINTemplateCount
    'テンプレートがない場合、テンプレートリストを作成しない
    If count < 1 Then
        ButtonOK.Enabled = False
        lstTemplate.Enabled = False
        Exit Sub
    End If

    'TWAIN のテンプレートリストを作成する
    For Index = 0 To count - 1
        strName= FormScan.CurrentInstance.AxFiScn1.GetTWAINTemplateName(Index)
        lstTemplate.Items.Add((strName))
    Next Index
    '現在選択中のテンプレートのインデックス値を通知する
    Index = FormScan.CurrentInstance.AxFiScn1.GetTWAINTemplateSelect
    '現在選択中のテンプレートを選択状態にする
    lstTemplate.SelectedIndex = Index
```

End Sub

```
Private Sub ButtonOK_Click(ByVal sender As System.Object, ByVal e As System.EventArgs)
Handles ButtonOK.Click
```

'現在選択中の SourceCurrentScan を設定する

```
FormScan.CurrentInstance.AxFiScn1.SourceCurrentScan=FormScan.CurrentInstance.MenuItems.SourceCurrentScan.Checked
```

'現在選択中のテンプレートを設定する

```
FormScan.CurrentInstance.AxFiScn1.SetTWAINTemplateSelect(lstTemplate.SelectedIndex)
```

Me.Close()

End Sub

[Java]

```
long ITWAINTemplateCount = 0;
```

```
try {
```

```
    FiscnSampleApI obj = new FiscnSampleApI();
```

```
    //内部初期化処理
```

```
    initialize(obj);
```

```
    //TWAINのテンプレート数を取得する
```

```
    ITWAINTemplateCount = getTWAINTemplateCount();
```

```
} catch (FiScnException e) {
```

```
    //TODO:エラー処理を行う
```

```
} finally {
```

```
    //内部終了処理
```

```
    unInitialize();
```

```
}
```

### 3.2.13 GetTWAINTemplateName ....設定ファイル名の取得

#### 機能

「TWAIN ドライバ」で指定した設定ファイル番号の設定ファイル名を取得する。

#### 書式

[ BSTR = ] [form.] scancontrolname. **GetTWAINTemplateName**(nTemplateIndex As Short)

#### パラメータ

nTemplateIndex 設定ファイル番号(0～)

#### 戻り値

文字列：“” 以外 設定ファイル名

文字列：“” 取得失敗

#### 解説

「TWAIN ドライバ」で指定した設定ファイル番号に相当する設定ファイル名を取得します。

#### 対象メソッド

[GetTWAINTemplateNameCount](#)

[GetTWAINTemplateNameSelect](#)

[SetTWAINTemplateNameSelect](#)

#### 関連プロパティ

なし

#### エラーリカバリ

なし。(エラー時に、ErrorCode プロパティから値を取得できません)

#### 互換性、制限事項

なし。

#### サンプル

##### [Visual Basic.NET]

GetTWAINTemplateNameCount メソッドのサンプルを参照してください。

##### [Java]

```
String strTWAINTemplateName = "";
try {
    FiscnSampleApI obj = new FiscnSampleApI();
    //内部初期化処理
    initialize(obj);
    //指定したテンプレート番号のテンプレート名を取得する
    long nIndex = 0;
    strTWAINTemplateName = getTWAINTemplateName(nIndex);
} catch (FiScnException e) {
    //TODO:エラー処理を行う
} finally {
    //内部終了処理
    unInitialize();
}
```

### 3.2.14 GetTWAINTemplateSelect .... 選択されている設定ファイル番号の取得

#### 機能

「設定ファイル」で選択されている設定ファイル番号(0～)の取得を行う。

#### 書式

[ Integer = ] [form.] scancontrolname. **GetTWAINTemplateSelect()**

#### パラメータ

なし

#### 戻り値

0～ : 選択されている設定ファイル番号(0～)

-1 : RC\_FAILURE 取得失敗

-2 : RC\_TWAIN\_NOTINSTALL TWAIN ドライバがインストールされていない

#### 解説

「TWAIN ドライバ」で現在選択されている設定ファイル番号(0～)を取得します。

#### 対象メソッド

[GetTWAINTemplateCount](#)

[GetTWAINTemplateName](#)

[SetTWAINTemplateSelect](#)

#### 関連プロパティ

なし

#### エラーリカバリ

なし。(エラー時に、ErrorCode プロパティから値を取得できません)

#### 互換性、制限事項

なし。

#### サンプル

##### [Visual Basic.NET]

GetTWAINTemplateCount メソッドのサンプルを参照してください。

##### [Java]

```
long ITWAINTemplateSelect ;
try {
    FiscnSampleApI obj = new FiscnSampleApI();
    //内部初期化処理
    initialize(obj);
    //選択されているテンプレート番号(0～)の取得を行う
    ITWAINTemplateSelect = getTWAINTemplateSelect();
} catch (FiScnException e) {
    //TODO:エラー処理を行う
} finally {
    //内部終了処理
    unInitialize();
}
```

### 3.2.15 OpenScanner .... スキャナのオープンを行う

#### 機能

読み取りを行う前の初期化処理を行います。

#### 書式

[ Integer = ] [form.] scancontrolname.**OpenScanner**(hWnd As Integer)

#### パラメータ

hWnd 本コントロール(Fujitsu Scanner Control)が配置されているウィンドウのハンドルを設定する。

#### 戻り値

0 : RC_SUCCESS	正常終了
2 : RC_NOT_DS_FJTWAIN	「FUJITSU TWAIN32」ではありません
-1 : RC_FAILURE	エラー
-3 : RC_SEQUENCE_ERROR	シーケンスエラー(メソッド実行中)

#### 解説

スキャナ情報の取得や、それに関連する初期化を行います。

アプリケーションは、必ず StartScan メソッドを呼び出す前に、本メソッドを呼ぶ必要があります。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

[CloseScanner](#)

#### 関連プロパティ

[ErrorCode](#)

[IsExistFB](#) ... 本メソッドにて設定

[ImageScanner](#) ... 本メソッドにて設定

#### エラーリカバリ

エラー時(「-1:RC\_FAILURE」)には、ErrorCode プロパティから値を取得することができます。

エラーの対処方法については、「[5.2 エラー番号とエラー時の対処方法](#)」を参照してください。

#### 互換性、制限事項

アプリケーションは、StartScan メソッドを呼び出す前に、本メソッドを呼び出すようにしてください。  
(アプリケーション起動時などにおいて)

本メソッドを呼び出さずに、StartScan メソッドを呼び出した場合には、プロパティが正常にソースへ反映することができなかったり、ファイルが正常に作成できない場合等があります。

本メソッドをコールしたら、アプリケーション終了時などに、必ず、CloseScanner メソッドを呼び出してください。(本メソッドと CloseScanner メソッドは対にならなければなりません。)

また、CloseScanner メソッドを呼び出した後に、StartScan メソッドを呼び出す場合には、本メソッドを再度呼び出すようにしてください。

RC\_SEQUENCE\_ERROR が報告された場合は、他のフォームでメソッドが実行中であることを示し、実行中のメソッドが完了すれば再試行できます。 ただしとえばあるフォームから StartScan メソッドを実行中に別のフォームから CloseScanner メソッドを実行するようなアプリケーション設計はお勧めできません。 同一のフォームから発行することを強く推奨します。

#### サンプル

StartScan メソッドのサンプルを参照してください。

### 3.2.16 ScannerAvailable .... イメージスキャナの利用可否

#### 機能

装置(スキャナ)が利用可能な状態にあるかどうか調べます。

#### 書式

[ Boolean = ] [form.] scancontrolname.**ScannerAvailable**(hWnd As Integer)

#### パラメータ

hWnd 本コントロール(Fujitsu Scanner Control)が配置されているウィンドウのハンドルを設定する。

#### 戻り値

True 利用可能。  
False 利用不可、エラー

#### 対象メソッド

なし

#### 関連プロパティ

[ErrorCode](#)

#### エラーリカバリ

利用可能な状態とはデバイスオンラインを意味します。この状態は直ちに読み取りができるとは限りません。例えばカバーオープンなどが原因で読み取りが行なえない場合があります。  
False で戻ったときは、エラーも含まれる場合がありますので、ErrorCode プロパティを参照するようになります。

#### 互換性、制限事項

メソッド実行中は、False が戻り値となります。

## サンプル

装置(スキャナ)が利用可能な状態にあるかどうかメッセージを表示します。

### [Visual Basic.NET]

```
Private Sub Command7_Click()
    Dim status As Boolean
    'イメージスキャナの利用可否
    status = AxFiScn1.ScannerAvailable(Me.Handle.ToInt32)
    If status = FALSE Then
        MsgBox ("装置利用不可またはエラー")
    Else
        MsgBox ("装置利用可能")
    End If
End Sub
```

### [Java]

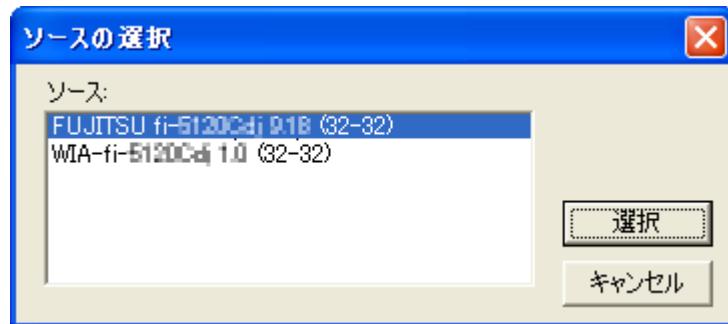
```
try {
    FiscnSampleApl obj = new FiscnSampleApl();
    //内部初期化処理
    initialize(obj);
    //イメージスキャナの利用可否
    scannerAvailable ();
} catch (FiScnException e) {
    //TODO:エラー処理を行う
} finally {
    //内部終了処理
    unInitialize();
}
```

### 3.2.17 SelectSource .... ソースの選択

#### 機能

データソースの選択処理を行います。

※装置のドライバ(データソース)を選択します。



#### 書式

[ Integer = ] [form.] scancontrolname.**SelectSource**(hWnd As Integer)

#### パラメータ

hWnd 本コントロール(Fujitsu Scanner Control)が配置されているウィンドウのハンドルを設定する。

#### 戻り値

0 : RC_SUCCESS	正常終了
1 : RC_CANCEL	ユーザーによるキャンセル
-1 : RC_FAILURE	エラー
-3 : RC_SEQUENCE_ERROR	シーケンスエラー(メソッド実行中)

#### 対象メソッド

なし

#### 関連プロパティ

[ErrorCode](#)

#### エラーリカバリ

システム上にデータソースが一つも存在しない場合は、キャンセルボタンのみ有効な選択ダイアログが表示されます。

エラー時(「-1:RC\_FAILURE」)には、ErrorCode プロパティから値を取得することができます。

エラーの対処方法については、「5.2 エラー番号とエラー時の対処方法」を参照してください。

#### 互換性、制限事項

なし

## サンプル

ソースの選択(スキャナ選択)画面を表示します。

### [Visual Basic.NET]

```
Private Sub Command3_Click()
    'データソースの選択処理を行います。
    AxFiScn1.SelectSource(Me.Handle.ToInt32)
End Sub
```

### [Java]

```
long lSelectSource = 0;
try {
    FiscnSampleApI obj = new FiscnSampleApI();
    //内部初期化処理
    initialize(obj);
    //データソースの選択処理を行います。
    lSelectSource = selectSource();
} catch (FiScnException e) {
    //TODO:エラー処理を行う
} finally {
    //内部終了処理
    unInitialize();
}
```

### 3.2.18 SetCapability .... キャパビリティの設定

#### 機能

キャパビリティの設定を行う。

#### 書式

[ Integer = ] [form.] scancontrolname. **SetCapability**(nCap As Short, nItemType As Short, lItemValue As Integer)

#### パラメータ

nCap	キャパビリティ種別	ex)ICAP_PIXELTYPE
nItemType	キャパビリティデータ型	ex)TWTY_UINT16
lItemValue	キャパビリティ値	ex)TWPT_BW

#### 戻り値

0 :RC_SUCCESS	正常終了
-1:RC_FAILURE	エラー

#### 解説

当メソッドの呼び出しに関しては、TWAIN規約の知識が必要となります。TWAIN規約については、<http://www.twain.org/> を参照してください。

アプリケーションから直接 TWAIN データソースに対して、キャパビリティの設定を行います。

[NegotiateCapabilities](#) イベント受け取り時に呼び出してください。

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ErrorCode](#)

#### エラーリカバリ

エラー時(「-1:RC\_FAILURE」)には、ErrorCode プロパティから値を取得することができます。

エラーの対処方法については、「[5.2 エラー番号とエラー時の対処方法](#)」を参照してください。

#### 互換性、制限事項

画像処理ソフトウェアオプションをご利用の場合、TWAIN データソースへの設定はすべて無効です。

### 3.2.19 SetSIpcTemplateSelect ....テンプレート番号の指定

#### 機能

「画像処理ソフトウェアオプション」で選択する(有効にする)テンプレート番号を設定する。

#### 書式

[ Integer = ] [form.] scancontrolname. **SetSIpcTemplateSelect**(nTemplateIndex As Short)

#### パラメータ

nTemplateIndex 選択するテンプレート番号(0～)

#### 戻り値

0～ : 選択したテンプレート番号(0～)  
-1 : RC\_FAILURE 取得失敗  
-2 : RC\_SIIPC\_NOTINSTALL 画像処理ソフトウェアオプションがインストールされていない

#### 解説

「画像処理ソフトウェアオプション」で選択する(有効にする)テンプレート番号(0～)を設定します。

#### 対象メソッド

[GetSIpcTemplateCount](#)  
[GetSIpcTemplateName](#)  
[GetSIpcTemplateSelect](#)

#### 関連プロパティ

なし

#### エラーリカバリ

なし。(エラー時に、ErrorCode プロパティから値を取得できません)

#### 互換性、制限事項

なし。

#### サンプル

##### [Visual Basic.NET]

GetSIpcTemplateCount メソッドのサンプルを参照してください。

##### [Java]

```
long lSelectSource = 0;
try {
    FiscnSampleApI obj = new FiscnSampleApI();
    //内部初期化処理
    initialize(obj);
    //テンプレート番号を設定する
    setSIpcTemplateSelect(lSelectSource);
} catch (FiScnException e) {
    //TODO:エラー処理を行う
} finally {
    //内部終了処理
    unInitialize();
}
```

### 3.2.20 SetTWAINTemplateSelect ....設定ファイル番号の指定

#### 機能

「TWAIN ドライバ」で選択する(有効にする)設定ファイル番号を設定する。

#### 書式

[ Integer = ] [form.] scancontrolname. **SetTWAINTemplateSelect**(nTemplateIndex As Short)

#### パラメータ

nTemplateIndex 選択する設定ファイル番号(0～)

#### 戻り値

0～ : 選択した設定ファイル番号(0～)

-1 : RC\_FAILURE 取得失敗

-2 : RC\_TWAIN\_NOTINSTALL TWAIN ドライバがインストールされていない

#### 解説

「TWAIN ドライバ」で選択する(有効にする)設定ファイル番号(0～)を設定します。

#### 対象メソッド

[GetTWAINTemplateCount](#)

[GetTWAINTemplateName](#)

[GetTWAINTemplateSelect](#)

#### 関連プロパティ

[SourceCurrentScan](#)

#### エラーリカバリ

なし。(エラー時に、ErrorCode プロパティから値を取得できません)

#### 互換性、制限事項

本メソッドを使用する場合は、SourceCurrentScan プロパティを True に設定してください。SourceCurrentScan プロパティが FALSE の場合は、本メソッドの設定ファイル番号は 0 が設定されます。

#### サンプル

##### **[Visual Basic.NET]**

GetTWAINTemplateCount メソッドのサンプルを参照してください。

##### **[Java]**

```
long ITTemplateSelect = 0;
try {
    FiscnSampleApI obj = new FiscnSampleApI();
    //内部初期化処理
    initialize(obj);
    //テンプレート番号を設定する
    setTWAINTemplateSelect(ITTemplateSelect);
} catch (FiScnException e) {
    //TODO:エラー処理を行う
} finally {
    //内部終了処理
    unInitialize();
}
```

### 3.2.21 SetupDataSourceProperties.... 設定のみ可能なUIを表示する

#### 機能

ソースの設定ダイアログの表示。

#### 書式

```
[ Integer = ] [form.] scancontrolname.SetupDataSourceProperties(hWnd As Integer)
```

#### パラメータ

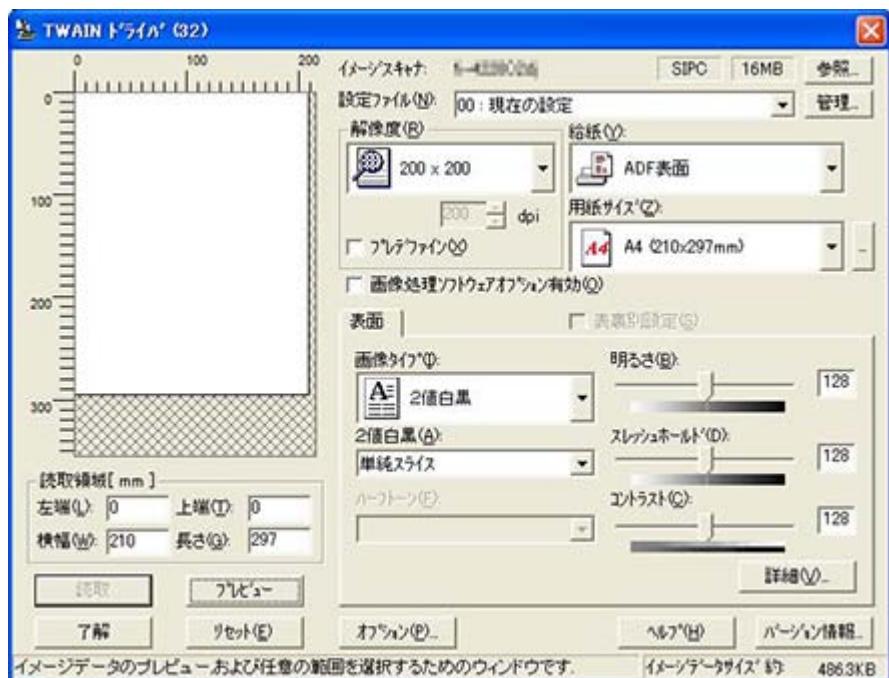
hWnd 本コントロール(Fujitsu Scanner Control)が配置されているウィンドウのハンドルを設定する。

#### 戻り値

0 :RC_SUCCESS	正常終了
-1:RC_FAILURE	エラー
-3:RC_SEQUENCE_ERROR	シーケンスエラー(メソッド実行中)

#### 解説

値の設定のみ可能なソースのユーザーインターフェース(FUJITSU TWAIN32 ドライバと同等)を表示します。(このユーザーインターフェースからは読み取り起動はできません。)  
Java の場合、モードレスで動作します。



ユーザーインターフェース表示例

ScanTo プロパティ及び、FileType プロパティより、圧縮指定が無効な場合は、CompressionType プロパティに「0 - No Compress」を設定しています。

#### 参考

ユーザー・システムにおいてパラメータの設定画面を準備しない場合、本メソッドを使用することで画面からパラメータ設定が可能となります。

また、本メソッドを呼び出した後に、StartScan メソッドを呼び出すときには、StartScan メソッドを呼び

出す前に、SourceCurrentScan プロパティを True に設定することを必ず行ってください。設定しない場合、本メソッドで設定した機能が、すべて本コントロールに設定されているプロパティの値に置き換わって読み取りが行われてしまいます。

## 対象メソッド

[StartScan](#)

## 関連プロパティ

[ScanTo](#) (参照のみ)  
[FileType](#) (参照のみ)  
[CompressionType](#) (参照、必要あれば更新)  
[PixelType](#) (必要あれば更新)  
参考(本メソッド呼び出し後、StartScan メソッドを呼ぶ前に設定)  
[SourceCurrentScan](#)  
[ShowSourceUI](#)

## エラーリカバリ

エラー時([-1:RC\_FAILURE])には、ErrorCode プロパティから値を取得することができます。  
エラーの対処方法については、「[5.2 エラー番号とエラー時の対処方法](#)」を参照してください。

## 互換性、制限事項

RC\_SEQUENCE\_ERROR が報告された場合は、他のフォームでメソッドが実行中であることを示し、実行中のメソッドが完了すれば再試行できます。ただしとえばあるフォームから StartScan メソッドを実行中に別のフォームから CloseScanner メソッドを実行するようなアプリケーション設計はお勧めできません。同一のフォームから発行することを強く推奨します。

## サンプル

設定のみ可能なソースのユーザーインターフェース(FUJITSU TWAIN32 ドライバと同等)を表示します。

### [Visual Basic.NET]

```
Private Sub Command8_Click()
    '設定のみ可能なユーザーインターフェースを表示
    AxFiScn1.SetupDataSourceProperties (Me.Handle.ToInt32)
End Sub
```

### [Java]

```
long lSelectSource = 0;
try {
    FiscnSampleApI obj = new FiscnSampleApI();
    //内部初期化処理
    initialize(obj);
    //設定のみ可能なユーザーインターフェースを表示
    setupDataSourceProperties ();
} catch (FiScnException e) {
    //TODO:エラー処理を行う
} finally {
    //内部終了処理
    unInitialize();
}
```

### 3.2.22 StartScan .... イメージの読み取り開始

#### 機能

イメージの読み取りを開始します。

#### 書式

[ Integer = ] [form.] scancontrolname.**StartScan**(hWnd As Integer)

#### パラメータ

hWnd 本コントロール(Fujitsu Scanner Control)が配置されているウィンドウのハンドルを設定する。

#### 戻り値

0 : RC_SUCCESS	正常終了
1 : RC_CANCEL	ユーザーによるキャンセル、または装置が読み取りを継続できないエラー(ディスク容量不足、および、イメージ転送エラー等)
-1 : RC_FAILURE	エラー
-3 : RC_SEQUENCE_ERROR	シーケンスエラー(メソッド実行中)

#### 解説

設定されているプロパティを基に、イメージの読み取りを開始します。

本メソッドを呼ぶ前に必ず [OpenScanner](#) メソッドを呼ぶようにして下さい。

#### 対象メソッド

[CloseScanner](#)  
[OpenScanner](#)

#### 関連プロパティ

[IsExistFB](#), [ImageScanner](#)を除くすべてのプロパティ

#### エラーリカバリ

エラー時(「-1:RC\_FAILURE」)には、ErrorCode プロパティから値を取得することができます。  
エラーの対処方法については、「[5.2 エラーレベルとエラー時の対処方法](#)」を参照してください。

ソースのユーザーインターフェース(UI)で、読み取りボタンをクリックせず閉じるボタンをクリックした場合、このメソッドの戻り値は 0(正常終了)が通知されます。したがって実際の読み取りが行なわれたかを判断するためには、この戻り値と併せて、PageCount プロパティの値を参照してください。

本メソッドを呼び出しスキヤン完了時に、一瞬アプリケーションウィンドウのフォーカスが奪われることがあります。

#### 互換性、制限事項

必ず、[OpenScanner](#) と [CloseScanner](#) の間でコールするようにしてください。

上記以外でのコール方法では、正常にプロパティ値を反映できない場合や、ファイルが正常に作成できない場合があります。

例) StartScan メソッドの呼び出し方。

OpenScanner // (アプリケーションの起動時など…)

↓

StartScan

↓

```
CloseScanner
↓
OpenScanner //CloseScanner 後、再度読み取る場合は必ず OpenScanner を呼びます。
↓
```

```
StartScan
```

```
↓
```

```
CloseScanner
```

```
OpenScanner //((アプリケーションの起動時など…))
```

```
↓
```

```
StartScan
```

```
↓
```

```
StartScan //再度、読み込む場合…
```

```
↓
```

```
CloseScanner
```

× 正しくない呼び方

```
OpenScanner // (アプリケーションのウィンドウが生成された後など…)
```

```
↓
```

```
StartScan
```

```
↓
```

```
CloseScanner
```

```
↓
```

```
StartScan
```

× CloseScanner が呼び出されたのに、OpenScanner を呼び出さず、StartScan を呼び出されています。

RC\_SEQUENCE\_ERROR が報告された場合は、他のフォームでメソッドが実行中であることを示し、実行中のメソッドが完了すれば再試行できます。 ただししたとえばあるフォームから StartScan メソッドを実行中に別のフォームから CloseScanner メソッドを実行するようなアプリケーション設計はお勧めできません。同一のフォームから発行することを強く推奨します。

## サンプル

以下のコードは、スキャナのオープン、イメージ読み取り開始、スキャナのクローズまでを示しています。

```
[Visual Basic.NET]
Private Sub Command1_Click()
    Dim status As Integer

    'ユーザーインターフェース(UI)を表示するかどうかを設定します。
    AxFiScn1.ShowSourceUI = False      '表示しない
    'ファイル形式を設定します。
    AxFiScn1.FileType = 0              'bitmap ファイル
    'イメージを保存するファイル名を設定します。
    AxFiScn1.filename = "c:\img#####"
    'ファイルに付ける開始連番を設定します。
    AxFiScn1.FileCounter = 1          '開始連番 1
    'ファイルを上書きするかどうかの設定を行います。
    AxFiScn1.Overwrite = 1            '上書きする
    '給紙方法を設定します。
    AxFiScn1.PaperSupply = 1          'ADF
    '原稿サイズを設定します。
    AxFiScn1.PaperSize = 1            'A4 サイズ
    '画素タイプを設定します。
    AxFiScn1.PixelType = 1            'グレイスケール
    '読み取り解像度を設定します。
    AxFiScn1.Resolution = 0          '200dpi
    'スキャナのオープンを行います。
    status = AxFiScn1.OpenScanner(Me.Handle.ToInt32)
    'スキャナのオープンエラー
    If status = -1 Then
        Exit Sub
    End If

    'イメージの読み取り開始します。
    status = AxFiScn1.StartScan(Me.Handle.ToInt32)
    'イメージの読み取りが正常終了
    If status = 0 Then
        '読み取ったイメージをイメージコントロールに表示する。
        Image1.Picture = LoadPicture("c:\img00001.bmp")
        Image1.Refresh
    End If

    'スキャナのクローズを行います。
    AxFiScn1.CloseScanner (Me.Handle.ToInt32)

End Sub
```

```
[Java]
public void Scan() {
    long lStatus = 0;
    try {
        FiscnSampleApI obj = new FiscnSampleApI();
        //内部初期化処理
        initialize(obj);
        //ユーザーインターフェース(UI)を表示するかどうかを設定します。
        setShowSourceUI(false); //表示しない
        //ファイル形式を設定します。
        setFileType(0); //bitmapファイル
        //イメージを保存するファイル名を設定します。
        setFileName = "c:¥¥img#####"
        //ファイルに付ける開始連番を設定します。
        setFileCounter(1);
        //開始連番1
        //ファイルを上書きするかどうかの設定を行います。
        setOverwrite(1); //上書きする
        //給紙方法を設定します。
        setPaperSupply(1); //ADF
        //原稿サイズを設定します。
        setPaperSize(1); //A4サイズ
        //画素タイプを設定します。
        setPixelType(1); //グレイスケール
        //読み取り解像度を設定します。
        setResolution(0); //200dpi
        //スキャナのオープンを行います。
        openScanner();
        //イメージの読み取り開始します。
        lStatus = startScan();
        //イメージの読み取りが正常終了
        if (lStatus == 0){
            // TODO:正常終了処理を行う
        }
        //スキャナのクローズを行います。
        closeScanner();
    } catch (FiScnException e){
        //TODO:エラー処理を行う
    } finally {
        //内部終了処理
        unInitialize();
    }
}
```

### 3.3 イベント

#### 3.3.1 イベント一覧

Fujitsu Scanner Control SDK がサポートするイベントをまとめたものを以降に記述します。

イベント名	説明	項番
<a href="#"><u>DetectJobSeparator</u></a>	特殊原稿(特定形状の原稿)を検出した際に発行されます。	3.3.3
<a href="#"><u>NegotiateCapabilities</u></a>	本コントロールにて設定できない TWAIN キャパビリティの設定を行います。	3.3.4
<a href="#"><u>ScanToDib</u></a>	ScanTo プロパティが「1 - Dib Handle」設定時に、読み取り処理(StartScan メソッド)を行うと、1 ページ読むごとに本イベントを発行します。 Java の場合、このイベントは未サポートです。	3.3.5
<a href="#"><u>ScanToFile</u></a>	ScanTo プロパティが「0 - File」設定時に、読み取り処理(StartScan メソッド)を行うと、1 ページ読むごとに本イベントを発行します。 Java の場合、このイベントは未サポートです。	3.3.6
<a href="#"><u>ScanToRaw</u></a>	ScanTo プロパティが「2 - Raw Image Handle」設定時に、読み取り処理(StartScan メソッド)を行うと、1 ページ読むごとに本イベントを発行します。 Java の場合、このイベントは未サポートです。	3.3.7

### 3.3.2 本章の用例および表記規則

#### 機能

イベントの概要を説明します。

#### 書式

プログラムを記載する場合のイベントの書式を示します。

Visual Basic®.NET の表記規則にそって記載いたします。

例 )scancontrolname\_ScanToDib( ByVal hDib As Stdole.OLE\_HANDLE )

#### パラメータ

イベントの引数を記載します。

#### 解説

使用目的やその機能について記載します。加えて、注意事項や相関するプロパティについての制限なども必要に応じて併記します。

#### 対象メソッド

このイベントを処理する事でこのプロパティの状態が変化するものの一覧を示します。

#### 関連プロパティ

プロパティで影響を受け合うもの全てを記述します。

#### サンプル

必要に応じて、簡単なプログラム例を記載します。

### 3.3.3 DetectJobSeparator .... 特殊原稿の検出通知

#### 機能

特殊原稿(特定形状の原稿)を検出した際に発行されます。

#### 書式

scancontrolname\_DetectJobSeparator( )

#### パラメータ

なし

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[JobControl](#)

#### 互換性、制限事項

JobControl プロパティにて、「0 – None」以外を設定した場合や、ドライバユーザーインターフェースにて、ジョブコントロールの設定を行った場合に特殊原稿を検出した際発行されます。

装置により、JobControl プロパティがサポートされていない場合は、無効となります。

(※ 「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

※特殊原稿(特定形状の原稿)の詳細については、お使いの装置の説明書をご参照願います。

#### サンプル

[Java]

```
public void eventDetectJobSeparator() {  
    System.out.println("特殊用紙を検出しました。");  
}
```

### 3.3.4 NegotiateCapabilities .... キャパビリティ設定通知

#### 機能

本コントロールにて設定できない TWAIN キャパビリティの設定を行います。

本コントロール側での、TWAIN キャパビリティの設定後に、発行されます。

#### 書式

scancontrolname\_ **NegotiateCapabilities ()**

#### パラメータ

なし

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

[SetCapability](#)

[GetCapability](#)

#### 関連プロパティ

なし

#### 互換性、制限事項

本コントロールで設定できるキャパビリティは、本コントロールのプロパティにて設定するようにしてください。

#### サンプル

[Java]

```
public void eventNegotiateCapabilities() {  
    System.out.println("TWAINキャパビリティの設定を行います。");  
}
```

### 3.3.5 ScanToDib .... DIB ハンドルの受け渡し

#### 機能

ScanTo プロパティが「1 - Dib Handle」設定時に、読み取り処理(StartScan メソッド)を行うと、1ページ読むごとに本イベントを発行します。

#### 書式

```
scancontrolname_ScanToDib( ByVal hDib As Stdole.OLE_HANDLE )
```

#### パラメータ

hDib DIB(デバイスに依存しないビットマップ)のハンドル

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ScanTo](#) 「1 - Dib Handle」

#### 互換性、制限事項

本イベントで得た DIB(デバイスに依存しないビットマップ)のハンドル(グローバルメモリへのハンドル)は、アプリケーション側で責任を持って解放するようにして下さい。

ScanTo プロパティを「1 - Dib Handle」に設定して、読み取り処理を行う場合は、本イベントを受け取り、必要でなくなったら、DIB ハンドル(グローバルメモリ)の解放を行ってください。そうしないと、システムが使用できるグローバルメモリ領域が不足し、システム全体が不安定になることがあります。

本コントロールは、本イベントで発行した DIB ハンドル(グローバルメモリ)については、発行後、通知しません。アプリケーションが責任を持って使用し、必要でなくなったら必ず解放するようにして下さい。

Java の場合、このイベントは未サポートです。

### 3.3.6 ScanToFile .... ファイル渡し

#### 機能

ScanTo プロパティが「0 - File」設定時に、読み取り処理(StartScan メソッド)を行うと、1ページ読むごとに本イベントを発行します。

#### 書式

scancontrolname\_ScanToFile(ByVal ReadCount As Long, ByVal FileName As String)

#### パラメータ

ReadCount	読み込みイメージ数
FileName	読み込みファイル名

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ScanTo 「File」](#)

#### 互換性、制限事項

ブランクページスキップによりファイルが格納されなかった場合、本イベントは発生しません。  
Java の場合、このイベントは未サポートです。

### 3.3.7 ScanToRaw .... メモリ渡し

#### 機能

ScanTo プロパティが「2 – Raw Image Handle」設定時に、読み取り処理(StartScan メソッド)を行うと、1ページ読むごとに本イベントを発行します。

#### 書式

```
scancontrolname_ScanToRaw( ByVal Resolution As Integer,  
                           ByVal ImageWidth As Long,  
                           ByVal ImageLength As Long,  
                           ByVal BitPerPixel As Integer,  
                           ByVal CompressionType As Integer,  
                           ByVal Size As Long,  
                           ByVal hRaw As Stdole.OLE_HANDLE )
```

#### パラメータ

Resolution	解像度(dpi)
ImageWidth	イメージの幅(Pixel)
ImageLength	イメージの長さ(Pixel)
BitPerPixel	1ピクセルあたりのビット数
CompressionType	圧縮タイプ(CompressionType プロパティ参照)
Size	データのサイズ
Hraw	イメージデータのハンドル(ポインタ)

#### 対象メソッド

[StartScan](#)

#### 関連プロパティ

[ScanTo](#) 「Raw Image Handle」

[CompressionType](#)

#### 互換性、制限事項

本イベントで発行したイメージデータのハンドル(グローバルメモリ)は、本コントロールにて解放を行っています。そのため、本イベント終了後に本イベントで得たイメージデータのハンドル(グローバルメモリ)への参照は一切できません。必要であれば、本イベントにてアプリケーション側でグローバルメモリを割り当て、コピーしてから使用するようにして下さい。本イベント終了後のイメージデータハンドルへのアクセスは、アプリケーションが異常終了するほか、システム全体が不安定になる、または最悪ダウンする可能性もあります。

V1.0 では JPEG で RGB カラーを指定できませんでしたが、V2.0L10 から JPEG で RGB カラーの取得が可能となりました。PixelType プロパティを「2-RGB」、CompressionType プロパティを「5-JPEG」、さらに FileType プロパティを「3-JPEG」に指定してください。

Java の場合、このイベントは未サポートです。

### 3.4 プロパティページ

プロパティページは、Fujitsu Scanner Control がもつプロパティ(使用頻度の高い)を編集する画面です。

(以下の画面は、Visual Basic® .NET 2003において、フォームに貼り付けた Fujitsu Scanner Control のプロパティを選択することにより表示されます)

プロパティページでは、以下の項目(プロパティ)を指定することができます。



給紙方法 : PaperSupply プロパティ

0 - Flatbed	フラットベッド
1 - ADF	ADF(表面読み取り)
2 - ADF(Duplex)	ADF(両面読み取り)
3 - ADF(BackSide)	ADF(裏面読み取り)
4 - ADF(CarrierSheet Spread A3)	キャリアシート A3 見開き画像
5 - ADF(CarrierSheet Spread DL)	キャリアシートダブルレター見開き画像
6 - ADF(CarrierSheet Spread B4)	キャリアシート B4 見開き画像
7 - ADF(CarrierSheet Clipping)	キャリアシート表裏別出力
10 - ADF(CarrierSheet Spread A3)	キャリアシート見開き画像 A3
11 - ADF(CarrierSheet Spread DL)	キャリアシート見開き画像 ダブルレター
12 - ADF(CarrierSheet Spread B4)	キャリアシート見開き画像 B4
13 - ADF(CarrierSheet Spread Auto)	キャリアシート見開き画像 サイズ自動選択
14 - ADF(CarrierSheet Clipping All)	キャリアシート切り出し表面 キャリアシート
15 - ADF(CarrierSheet Clipping A4)	キャリアシート切り出し表面 A4
16 - ADF(CarrierSheet Clipping A5)	キャリアシート切り出し表面 A5
17 - ADF(CarrierSheet Clipping A6)	キャリアシート切り出し表面 A6
18 - ADF(CarrierSheet Clipping POST)	キャリアシート切り出し表面 はがき
19 - ADF(CarrierSheet Clipping B5)	キャリアシート切り出し表面 B5
20 - ADF(CarrierSheet Clipping B6)	キャリアシート切り出し表面 B6
21 - ADF(CarrierSheet Clipping LT)	キャリアシート切り出し表面 レター
22 - ADF(CarrierSheet Clipping CARD_T)	キャリアシート切り出し表面 名刺縦
23 - ADF(CarrierSheet Clipping CARD_Y)	キャリアシート切り出し表面 名刺横
24 - ADF(CarrierSheet Clipping PHOTO_ET)	キャリアシート切り出し表面 写真 E 版縦
25 - ADF(CarrierSheet Clipping PHOTO_EY)	キャリアシート切り出し表面 写真 E 版横
26 - ADF(CarrierSheet Clipping PHOTO_LT)	キャリアシート切り出し表面 写真 L 版縦

27 – ADF(CarrierSheet Clipping PHOTO_LY)	キャリアシート切り出し表面 写真 L 版横
28 – ADF(CarrierSheet Clipping PHOTO_LLT)	キャリアシート切り出し表面 写真 LL 版縦
29 – ADF(CarrierSheet Clipping PHOTO_LLY)	キャリアシート切り出し表面 写真 LL 版横
30 – ADF(CarrierSheet Clipping Auto)	キャリアシート切り出し表面 サイズ自動選択
31 – ADF(CarrierSheet Clipping Custom)	キャリアシート切り出し表面 カスタムサイズ
32 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex All)	キャリアシート切り出し両面 キャリアシート
33 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex A4)	キャリアシート切り出し両面 A4
34 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex A5)	キャリアシート切り出し両面 A5
35 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex A6)	キャリアシート切り出し両面 A6
36 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex POST)	キャリアシート切り出し両面 はがき
37 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex B5)	キャリアシート切り出し両面 B5
38 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex B6)	キャリアシート切り出し両面 B6
39 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex LT)	キャリアシート切り出し両面 レター
40 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex CARD_T)	キャリアシート切り出し両面 名刺
41 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex CARD_Y)	キャリアシート切り出し両面 名刺
42 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex PHOTO_ET)	キャリアシート切り出し両面 写真 E 版縦
43 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex PHOTO_EY)	キャリアシート切り出し両面 写真 E 版横
44 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex PHOTO_LT)	キャリアシート切り出し両面 写真 L 版縦
45 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex PHOTO_LY)	キャリアシート切り出し両面 写真 L 版横
46 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex PHOTO_LLT)	キャリアシート切り出し両面 写真 LL 版縦
47 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex PHOTO_LLY)	キャリアシート切り出し両面 写真 LL 版横
48 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Auto)	キャリアシート切り出し両面 サイズ自動選択
49 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)	キャリアシート切り出し両面 カスタムサイズ

#### ファイル形式 :FileType プロパティ

0 – BMP	Windows Bitmap ファイル
1 – TIFF	TIFF ファイル
2 – Multipage TIFF	マルチページ TIFF ファイル
3 – JPEG	JPEG ファイル
4 – PDF	PDF ファイル
5 – Multipage PDF	マルチページ PDF ファイル
6 – Multi Image Output	マルチイメージ出力
7 – Auto Color Detection	カラー/モノクロ自動判別

#### 圧縮形式 :CompressionType プロパティ

0 – No Compress	なし(非圧縮)
1 – CCITT G3(1D)	MH 圧縮
2 – CCITT G3(2D) Kfactor = 2	MR 圧縮 K因子 2
3 – CCITT G3(2D) Kfactor = 4	MR 圧縮 K因子 4
4 – CCITT G4	MMR 圧縮
5 – JPEG	JPEG 圧縮
6 – Old JPEG	Old JPEG 圧縮

JPEG 圧縮レベル : JpegQuality プロパティ

0 - Level1	圧縮レベル 1	(サイズ最優先)
1 - Level2	圧縮レベル 2	
2 - Level3	圧縮レベル 3	
3 - Level4	圧縮レベル 4	
4 - Level5	圧縮レベル 5	
5 - Level6	圧縮レベル 6	
6 - Level7	圧縮レベル 7	(画質最優先)

ファイル名 : FileName プロパティ

イメージを保存するファイル名

## 4. サンプル

本製品には、Visual Basic®.NET 2003、Visual C++®.NET 2003、Visual C#®.NET 2003、Visual Basic® 2010、Visual C++® 2010、Visual C#® 2010 および Java™のサンプルソースコードと実行形式が添付されております。

本バージョンでは、画像データを取り込む Windows®コントロール(ActiveX Control)をご利用になるためのサンプルと、スキャナ共用装置 fi-5000Nをご利用になるためのサンプルの二つが含まれています。本書では前者のサンプルである fiScanTest についてのみ説明します。それ以外のサンプルは、SDK のインストール先フォルダ(デフォルトでは一般に C:\Program Files\FiScnSDK21)に含まれるサンプルフォルダ配下をご覧ください。すべてのサンプルは以下に含まれます。

〈インストール先フォルダ〉\Sample\

これらのサンプルはドキュメントを補うための資料となってます。サンプルによって、またはその一部を改変して動作を確認するなどの目的で、ご利用ください。ただし、サンプルの動作結果については、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

Visual Studio®.Net 2003、Visual Studio® 2005、Visual Studio® 2008 の開発環境を使用する場合は、Visual Basic®.NET 2003、Visual C++®.NET 2003、Visual C#®.NET 2003 のサンプルをお使いください。

Visual Studio® 2010 の開発環境を使用する場合は、Visual Basic® 2010、Visual C++® 2010、Visual C#® 2010 のサンプルをお使いください。

Visual Basic®.NET 2003、Visual C++®.NET 2003、Visual C#®.NET 2003 のサンプルを動作させるには、Microsoft®.NET Framework 2.0 が必要です。Microsoft®.NET Framework 2.0~3.5 のいずれかを事前にインストールしてください。

Visual Basic® 2010、Visual C++® 2010、Visual C#® 2010 のサンプルを動作させるには、Microsoft®.NET Framework 4.0 が必要です。Microsoft®.NET Framework 4.0 を事前にインストールしてください。

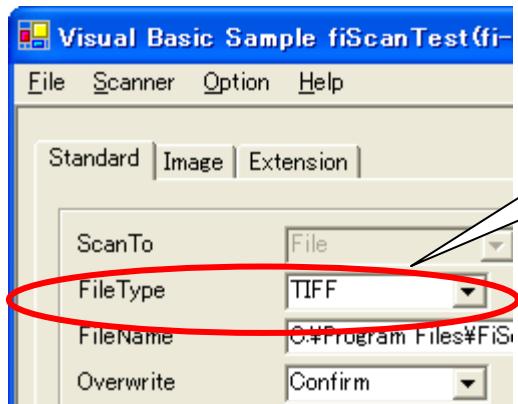
### 4.1 基本操作

- (1) サンプルを起動すると、[OpenScanner](#) メソッドのスキャナのオープン処理を実行します。
- (2) サンプルの[Scanner]メニューの[StartScan]をクリックするか、または[Scan]ボタンをクリックすると、[StartScan](#) メソッドのスキャナによる読み取り開始処理を実行します。
- (3) サンプルの[File]メニューの[Exit]をクリックするか、または[Exit]ボタンをクリックすると、[CloseScanner](#) メソッドのスキャナのクローズ処理を行い、サンプルを終了します。
- (4) サンプルの[Reset]ボタンをクリックすると、初期設定状態に戻ります。

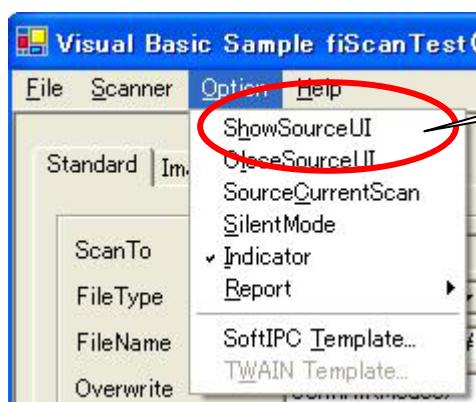
### 4.2 項目名

サンプル内の項目名および[Scanner]、[Option]メニューの項目名は、Fujitsu Scanner Control のプロパティ名またはメソッド名に対応しています。

但し、[Option]メニューの[SoftIPC Template]項目は、プロパティ名およびメソッド名に対応していません。 (「4.3 SoftIPC Template」を参照ください。)



FileType プロパティの設定項目



ShowSourceUI プロパティの設定項目

### 4.3 SoftIPC Template

[Option]メニューの[SoftIPC Template]をクリックすると、「画像処理ソフトウェアオプション」のテンプレート一覧のダイアログボックスを表示し、テンプレートを選択できます。

本ダイアログボックスは、下記のメソッドを使用し実現しています。

本機能を使用するには、別製品の「画像処理ソフトウェアオプション」をインストールする必要があります。

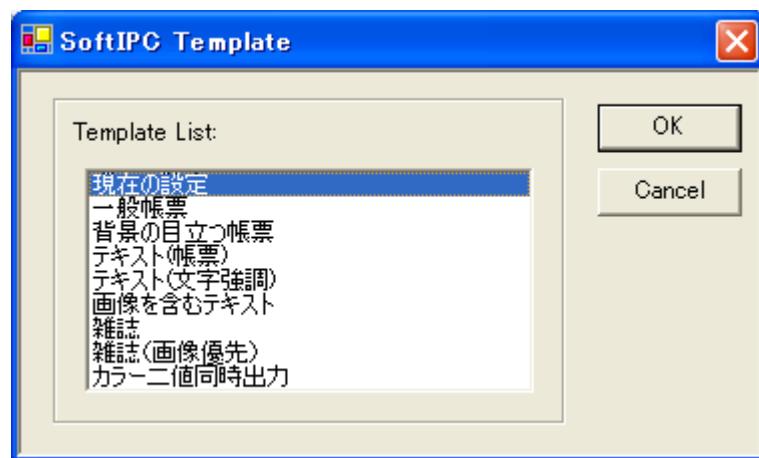
#### 使用メソッド

[GetSlpcTemplateCount](#)

[GetSlpcTemplateName](#)

[GetSlpcTemplateSelect](#)

[SetSlpcTemplateSelect](#)

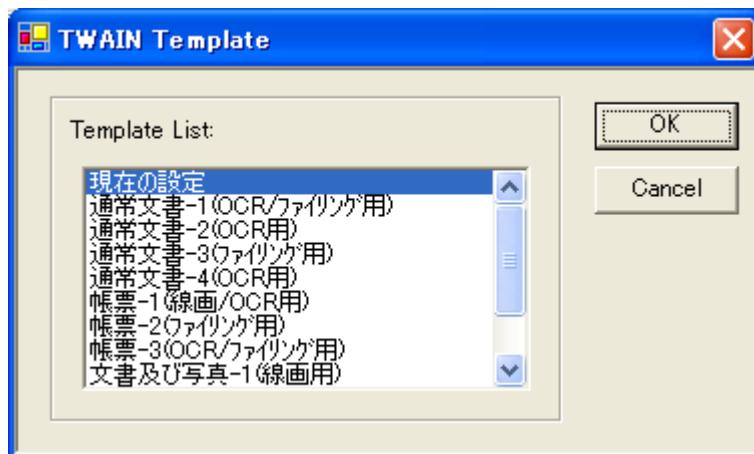


## 4.4 TWAIN Template

[Option]メニューの[TWAIN Template]をクリックすると、「TWAIN」のテンプレート一覧のダイアログボックスを表示し、テンプレートを選択できます。  
本ダイアログボックスは、下記のメソッドを使用し実現しています。

### 使用メソッド

[GetTWAINTemplateCount](#)  
[GetTWAINTemplateName](#)  
[GetTWAINTemplateSelect](#)  
[SetTWAINTemplateSelect](#)

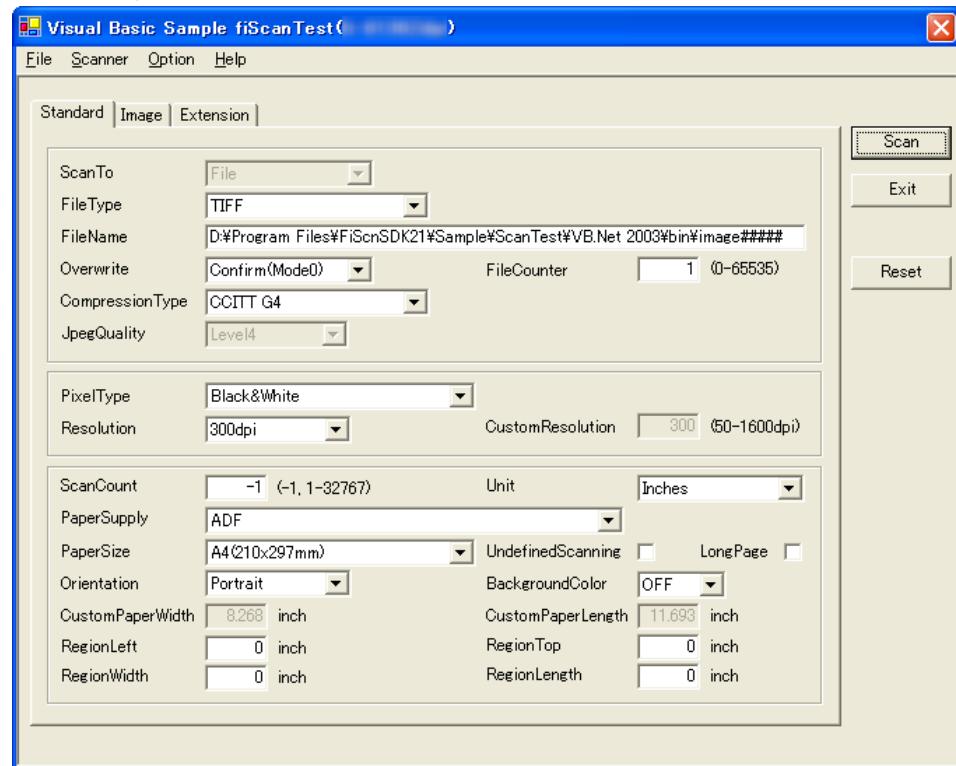


## 4.5 Visual Basic®.NET / Visual C#®.NETサンプル画面

Visual Basic®.NET / Visual C#®.NET サンプルは、Standard、Image、および Extension の3つの画面に分かれています。

各画面に切り替えて項目の設定を行います。

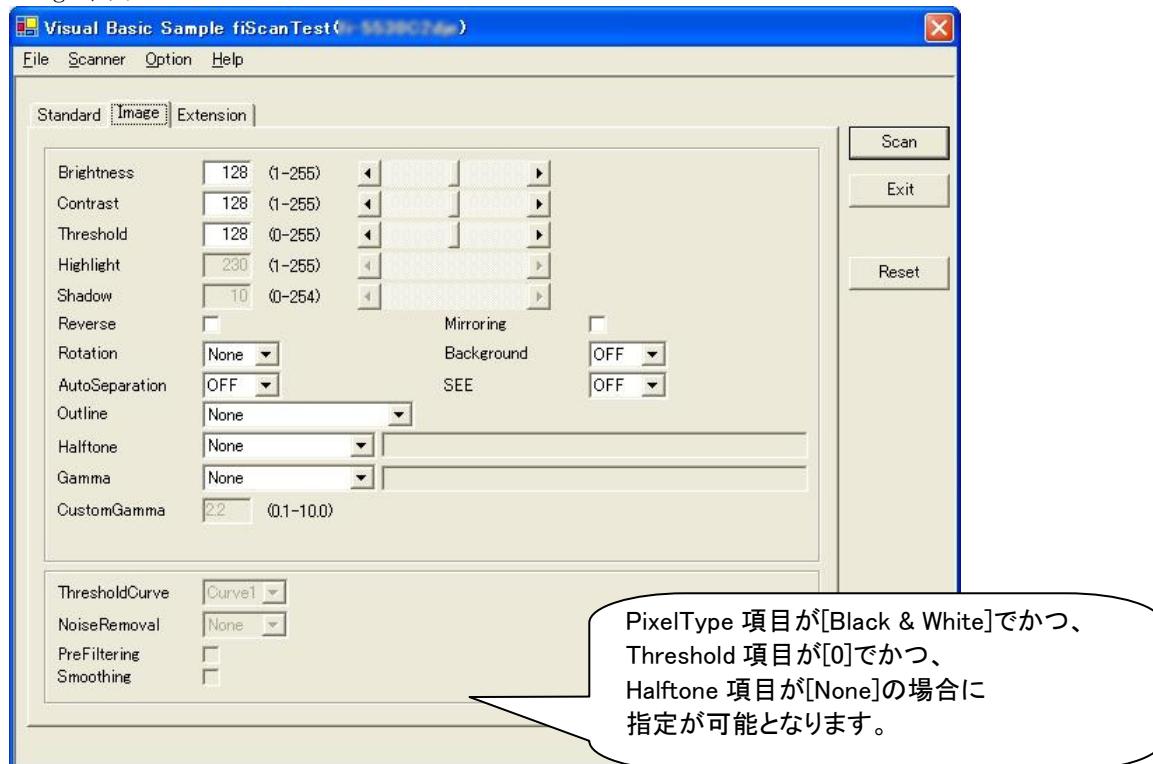
Standard 表示



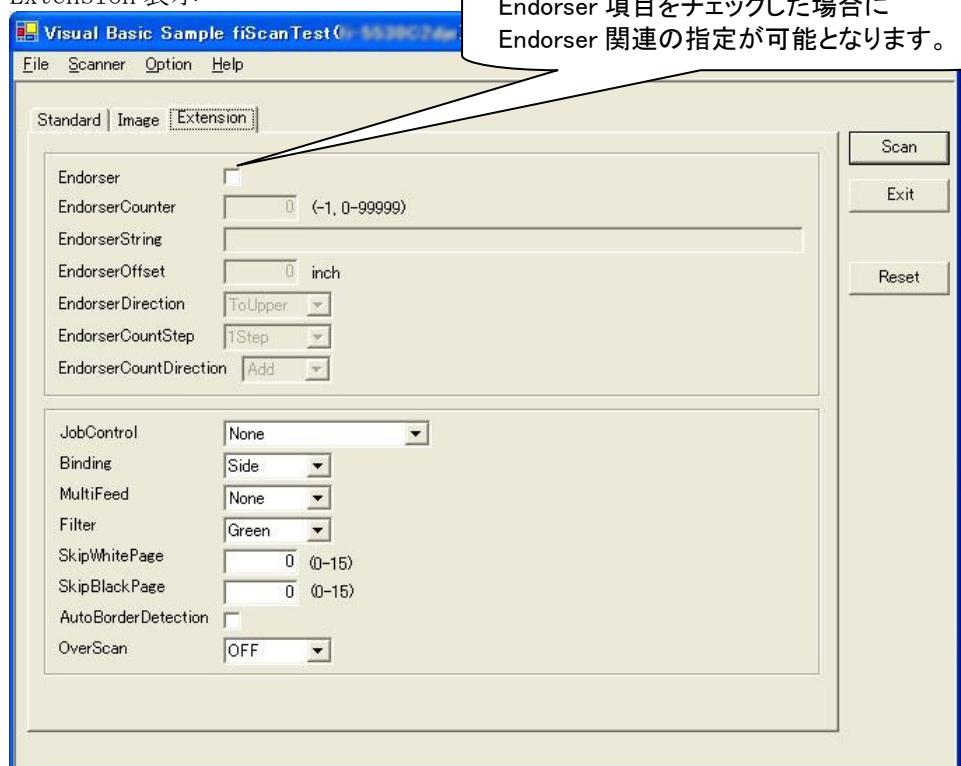
### 注意事項

- 1) ScanTo 項目の[File]以外はサポートしていません。
- 2) [Option]メニューの[Report]のサブメニューで[File]または[Display&File]を指定した場合、ReportFile は、サンプルの格納先にファイル名「Report.txt」で格納します。

## Image 表示

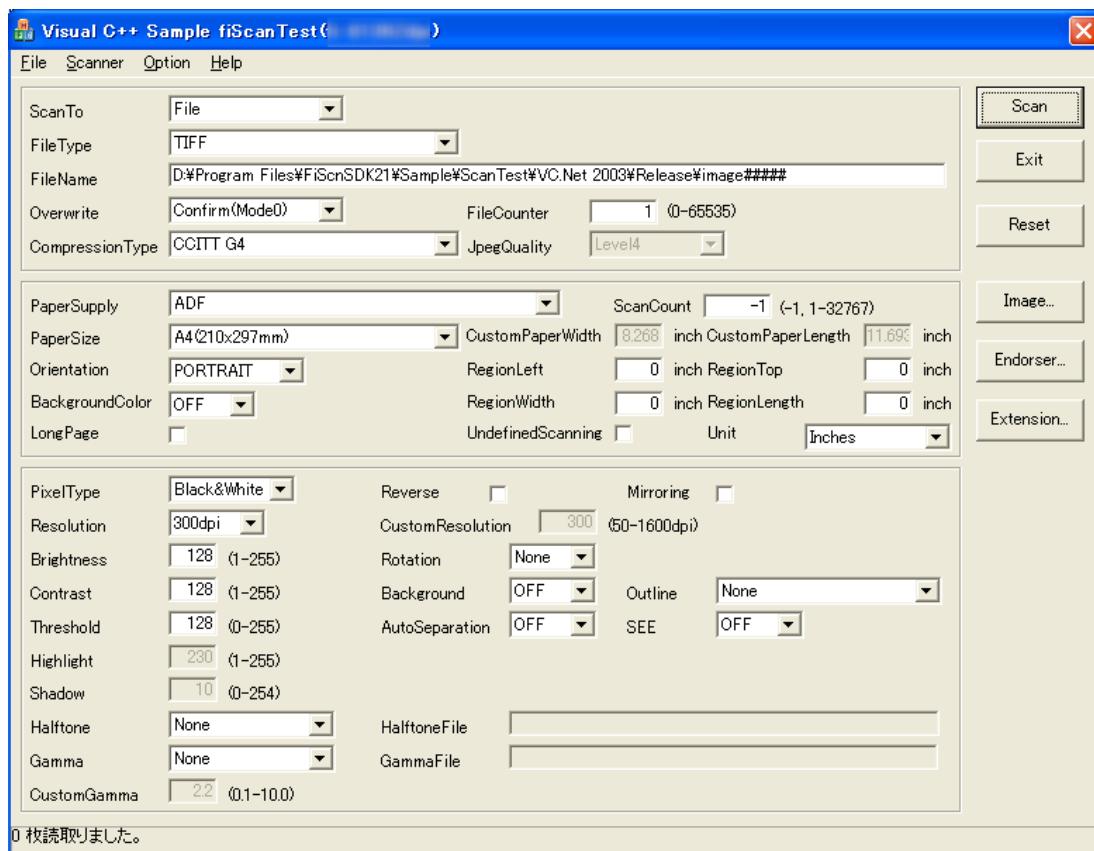


## Extension 表示



## 4.6 Visual C++®.NETサンプル画面

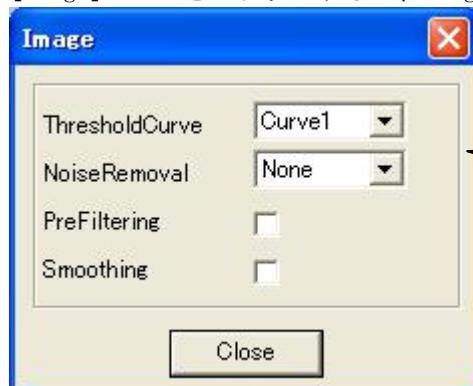
Visual C++®.NET サンプルの Image、Endorser、および Extension の項目設定については、各ダイアログボックスを開き項目を設定します。



### 注意事項

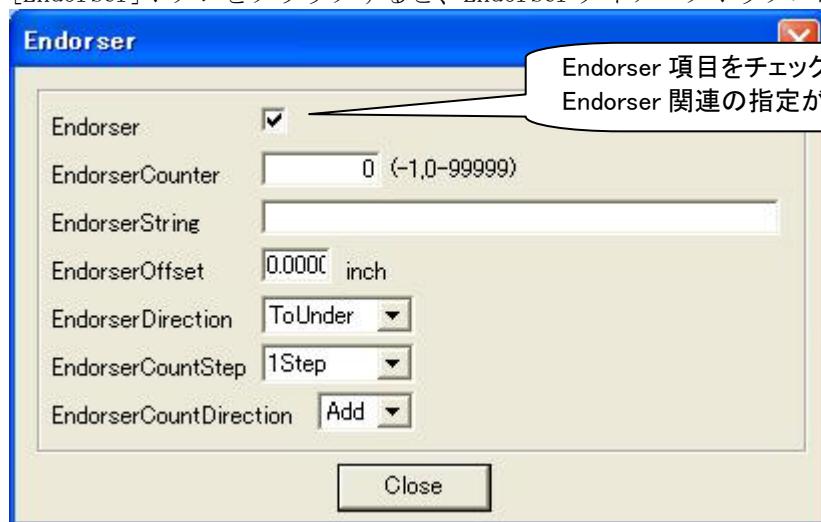
- 1) ScanTo 項目で[Dib Handle]または[Raw Image Handle]の指定で読み取りを行うと、本サンプルでは、Windows Bitmap ファイルで ScanTo 項目の[File]指定と同じ場所及び同じファイル名で格納します。
- 2) [Option]メニューの[Report]のサブメニューで[File]または[Display&File]を指定した場合、ReportFile は、サンプルの格納先にファイル名「Report.txt」で格納します。

[Image]ボタンをクリックすると、Image ダイアログボックスが開きます。



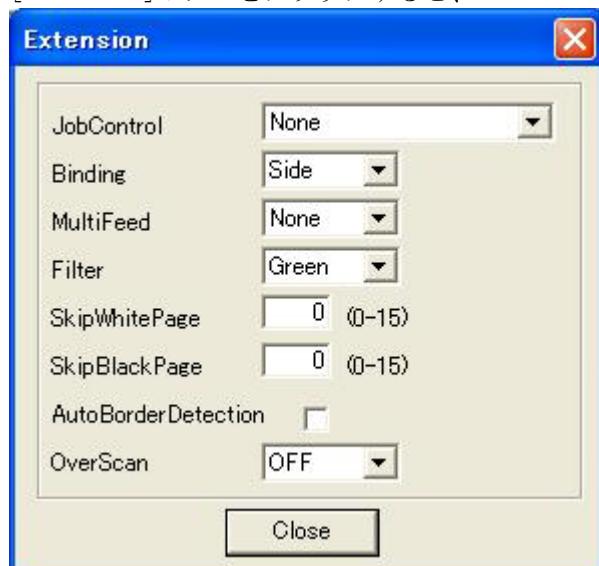
PixelType 項目が[Black & White]でかつ、  
Threshold 項目が[0]でかつ、  
Halftone 項目が[None]の場合に  
指定が可能となります。

[Endorser]ボタンをクリックすると、Endorser ダイアログボックスが開きます。



Endorser 項目をチェックした場合に  
Endorser 関連の指定が可能となります。

[Extension]ボタンをクリックすると、Extension ダイアログボックスが開きます。



## 4.7 Java™ サンプルプログラム

Java™サンプルには設定の画面はありません。

各プロパティの設定は、以下の xml ファイルを使用します。

<インストール先フォルダ>¥ScanTest¥Java¥FiscnProperties.xml

サンプルの実行方法は次のとおりです。

(1) コマンドプロンプトを起動し、以下のコマンドを実行します。

cd /d "<インストール先フォルダ>"

(2) コマンドプロンプトで、以下のコマンドを実行します。

java -classpath "<インストール先フォルダ>¥Sample¥ScanTest¥Java";"<インストール先フォルダ>¥Fiscn.jar" com.fujitsu.pfu.fiscn.sdksample.FiscnSampleApp "<インストール先フォルダ>¥ScanTest¥Java¥FiscnProperties.xml"

-classpath : 実行に必要な jar ファイルや class ディレクトリを指定します。  
複数指定する場合は「;」で区切ります。

2 番目のパラメータ : 実行クラスを指定します。

3 番目のパラメータ : 実行パラメータを指定します。

## 5. 付録

### 5.1 各装置で有効となるプロパティ

●: 機種に依存しないですべての機種で有効なプロパティ

◎: 機種に依存せず使用できるプロパティだが、使用可能な値に制限があるプロパティ(オプションの有無に依存しない)<sup>4</sup>

×: 有効でないプロパティまたは、値(指定された場合は無視され、デフォルトが使用される)

○: 有効な値

ー: オプション搭載／未搭載に依存しないプロパティ

□: オプション搭載時に有効なプロパティまたは、値

※1 E: エンドーサまたは、インプリンタオプション搭載時

※2 I: 画像処理ボード搭載時(装置内蔵 fi-4860C2 を除く)

※3 S: 画像処理ソフトウェアオプションインストール時

[A3 機]

プロパティ			fi-6800			fi-6770/fi-6770A			fi-6750S			fi-6670/fi-6670A			fi-5950/fi-5900C			fi-5750C			fi-5650C			fi-5530C/C2			fi-4860C2			
				E ※1	S ※3		S ※3		S ※3			E ※1	S ※3		E ※1	S ※3		I ※2	S ※3		E ※1	I ※2	S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	E ※1	
AutoBorderDetection		True/False	○	ー	×	○	×	○	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	ー	×	○	ー	×	○	ー			
AutoSeparation	0	OFF	×	ー	×	×	×	×	×	×	ー	×	×	ー	×	×	×	ー	×	×	ー	ー	×	×	ー	×	○	ー		
	1	ON	×	ー	×	×	×	×	×	×	ー	×	×	ー	×	×	×	□	×	×	ー	□	×	×	ー	×	○	ー		
Background	0	OFF	○	ー	×	○	×	○	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	ー	×	○	ー	ー	×	ー	×	○	ー
	1	ON	○	ー	×	○	×	○	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	ー	×	○	ー	ー	×	ー	○	ー	
	2	AUTO	○	ー	×	○	×	○	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	ー	×	○	ー	ー	×	ー	×	○	ー
BackgroundColor	0	OFF	○	ー	×	○	×	○	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	ー	×	○	ー	ー	×	ー	×	○	ー
	1	ON	○	ー	×	○	×	○	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	ー	×	○	ー	ー	×	ー	×	○	ー
Binding	0	Side	○	ー	×	○	×	○	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	ー	×	○	ー	ー	×	ー	○	ー	
	1	Height	○	ー	×	○	×	○	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	ー	×	○	ー	ー	×	ー	○	ー	
Brightness	1～255	白黒二値	×	ー	×	×	×	×	×	×	ー	×	×	ー	×	×	ー	×	×	ー	ー	×	○	ー	ー	×	×	ー	ー	
		中間調白黒(Halftone=1～6)	○	ー	×	○	×	○	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	ー	×	○	ー	ー	×	○	ー	ー	
		自動像域分離(AutoSeparation=1)	×	ー	×	×	×	×	×	×	ー	×	×	ー	×	×	ー	×	×	□	×	×	ー	□	×	×	ー	×	○	ー
		選択的強調(SEE=1)	○	ー	×	○	×	○	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	ー	×	○	ー	ー	×	ー	×	×	ー
		グレースケール	○	ー	×	○	×	○	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	ー	×	○	ー	ー	×	ー	○	ー	ー
		カラー	○	ー	×	○	×	○	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	×	○	ー	ー	×	○	ー	ー	×	○	ー	ー	○
CloseSourceUI		True/False	●	ー	○	●	○	●	○	●	ー	○	●	ー	○	●	ー	○	●	ー	○	●	ー	○	●	ー	○	●	ー	

<sup>4</sup> ただし、他のプロパティの組み合せで指定できない条件はあります。詳しくは各プロパティの説明を参照ください。

プロパティ			fi-6800			fi-6770/fi-6770A			fi-6750S			fi-6670/fi-6670A			fi-5950/fi-5900C			fi-5750C			fi-5650C			fi-5530C/C2			fi-4860C2	
				E ※1	S ※3		S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	S ※3		I ※2	S ※3		E ※1	I ※2	S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	E ※1
CompressionType	0	No Compress	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	1	CCITT G3(1D)	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	2	CCITT G3(2D) Kfactor=2	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	3	CCITT G3(2D) Kfactor=4	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	4	CCITT G4	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	5	JPEG	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	6	Old JPEG	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
Contrast	1 ~ 255		○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	
CustomGamma	0.1 ~ 10.0		○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	※カラーのみ	
CustomPaperLength			◎	-	×	◎	×	◎	×	◎	-	×	◎	-	×	◎	-	×	◎	-	-	×	◎	-	×	◎	-	
CustomPaperWidth			◎	-	×	◎	×	◎	×	◎	-	×	◎	-	×	◎	-	×	◎	-	-	×	◎	-	×	◎	-	
CustomResolution	最大 白黒二値	○600	-	×	○600	×	○600	×	○600	-	×	○600	-	×	○600	-	×	○600	-	-	×	○600/ ○1200	-	×	○400	-		
	最大 グレースケール	○600	-	×	○600	×	○600	×	○600	-	×	○600	-	×	○600	-	×	○600	-	-	×	○600/ ○1200	-	×	○400	-		
	最大 カラー	○600	-	×	○600	×	○600	×	○600	-	×	○600	-	×	○600	-	×	○600	-	-	×	○600/ ○1200	-	×	○400	-		
	最小	○50	-	×	○50	×	○50	×	○50	-	×	○50	-	×	○50	-	×	○50	-	-	×	○50	-	×	○100	-		
	単位	○1	-	×	○1	×	○1	×	○1	-	×	○1	-	×	○1	-	×	○1	-	-	×	○1	-	×	-	-		
DoubleFeed (MultiFeedを参照してください)				×		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×		×		
Endorser		True/False	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	□	×	×	□	-	×	□	○	×	○	○		
EndorserCountDirection	0	Add	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	□	×	×	□	-	×	□	○	×	○	○		
	1	Del	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	□	×	×	□	-	×	□	○	×	○	○		
EndorserCounter	-1~		×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	□	×	×	□	-	×	□	○	×	○	○		
EndorserCountStep	0	None	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	□	×	×	□	-	×	□	○	×	○	○		
	1	1 Step	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	□	×	×	□	-	×	□	○	×	○	○		
	2	2 Step	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	□	×	×	□	-	×	□	○	×	○	○		
EndorserDirection	1	ToUnder	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	□	×	×	□	-	×	□	○	×	○	○		
	3	ToUpper	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	□	×	×	□	-	×	□	○	×	○	○		
EndorserOffset	0~		×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	□	×	×	□	-	×	□	○	×	○	○		
EndorserString			×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	□	×	×	□	-	×	□	○	×	○	○		
	最大半角文字数	×	43	×	×	×	×	×	×	43	×	×	43/ 40	×	×	40	-	×	40/	43	×	40	○	×	○	○		
ErrorCode			●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
FileCounter			●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
FileName			●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
FileType	0	BMP	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	1	TIFF	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	2	MultipageTIFF	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	3	JFIF(JPEG)	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	4	PDF	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	5	MultipagePDF	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	6	Multi Image Output	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	7	Auto Color Detection	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○													

プロパティ			fi-6800			fi-6770/ fi-6770A			fi-6750S			fi-6670/ fi-6670A			fi-5950/ fi-5900C			fi-5750C			fi-5650C			fi-5530C/C2			fi-4860C2					
				E ※1	S ※3		S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	S ※3		I ※2	S ※3		E ※1	I ※2	S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	E ※1				
Filter	0	Green	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	-				
	1	Red	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	-				
	2	Blue	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	-				
	3	None	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	×	-	×	○	-	-				
	4	White	×	-	×	○	×	○	×	○	-	×	×	-	×	○	-	-	×	○	-	-	×	○	-	×	×	-				
	99	Custom1	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	×	-	×	×	-	-	×	×	-	×	×	×	-				
	100	Custom2	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	×	-	×	×	-	-	×	×	-	×	×	×	-				
	101	Custom3	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	×	-	×	×	-	-	×	×	-	×	×	×	-				
	0	None	○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/ グレー	×	○	※白黒/ グレー	×	○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/グ レー	-	×	○	※白黒/グ レー	-	-	×	○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/ グレー	-
	1	Soft	○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/ グレー	×	○	※白黒/ グレー	×	○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/グ レー	-	×	○	※白黒/グ レー	-	-	×	×	-	×	○	※白黒/ グレー	-	
Gamma	2	Sharp	○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/ グレー	×	○	※白黒/ グレー	×	○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/グ レー	-	×	○	※白黒/グ レー	-	-	×	×	-	×	○	※白黒/ グレー	-	
	3	Gamma Pattern File	○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/ グレー	×	○	※白黒/ グレー	×	○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/グ レー	-	×	○	※白黒/グ レー	-	-	×	×	-	×	×	-		
	4	Custom	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	※カラーのみ	-				
			○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/ グレー	×	○	※白黒/ グレー	×	○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/グ レー	-	×	○	※白黒/グ レー	-	-	×	×	-	×	×	-		
			○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/ グレー	×	○	※白黒/ グレー	×	○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/グ レー	-	×	○	※白黒/グ レー	-	-	×	×	-	×	×	-		
GammaFile			○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/ グレー	×	○	※白黒/ グレー	×	○	※白黒/ グレー	-	×	○	※白黒/グ レー	-	×	○	※白黒/グ レー	-	-	×	×	-	×	×	-		
Halftone	0	None	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	-				
	1	Dither Pattern0	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	-				
	2	Dither Pattern1	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	-				
	3	Dither Pattern2	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	-				
	4	Dither Pattern3	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	-				
	5	Dither Pattern File	○	-	×	×	×	×	×	○	-	×	×	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	×	-					
	6	Error Diffusion	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	-				
HalftoneFile			○	-	×	×	×	×	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	-				
Highlight	1～255		○	※グレー/ カラー	-	×	○	※グレー/ カラー	×	○	※グレー/ カラー	×	○	※グレー/ カラー	-	×	○	※グレー/ カラー	-	×	○	※グレー/ カラー	-	-	×	○	※グレー/ カラー	-	×	○	※グレー/ カラー	-
ImageScanner			●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-			
Indicator		True/False	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-			
IsExistsFB	True		×	-	×	○	○	○	○	○	-	×	×	-	×	○	-	○	×	-	-	×	×	-	×	×	-					
	False		○	-	○	×	×	×	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	×	-	×	○	-	-	○	○	-					
JobControl	0	None	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	×	-	×	○	-	-				
	1	Include and Continue	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	-				
	2	Include and Stop	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	-				
	3	Exclude and Continue	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	-				
	4	Exclude and Stop	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	-				
JpegQuality	0	Level1(高圧縮)	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-			
	1	Level2	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-			
	2	Level3	●</																													

プロパティ			fi-6800			fi-6770/ fi-6770A			fi-6750S			fi-6670/ fi-6670A			fi-5950/ fi-5900C			fi-5750C			fi-5650C			fi-5530C/C2			fi-4860C2	
				E ※1	S ※3		S ※3		S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	I ※2	S ※3		E ※1	I ※2	S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	
LongPage		True/False	○ 白黒2値, グレー,カラー 125inch (3175mm)	-	x	○ 白黒2値, グレー,カラー 125inch (3175mm)	x	○ 白黒2値, グレー,カラー 125inch (3175mm)	x	○ 白黒2値, グレー,カラー 125inch (3175mm)	-	x	○ 白黒2値, グレー,カラー 125inch (3175mm)	-	x	○ 白黒2値, グレー,カラー 34.0inch (863.6mm)	-	x	○ 白黒2値, グレー,カラー 34.0inch (863.6mm)	-	-	x	○ 白黒2値, グレー,カラー 34.0inch (863.6mm)	-	x	○ 白黒2値 34.560inch (878mm)	-	
Mirroring		True/False	x	-	x	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	○ ※白黒二 値	-			
MultiFeed	0	None	○	-	x	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	-	x	○	-	-	x	○	-	x	○	-	
	1	Mode0	○	-	x	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	-	x	○	-	-	x	○	-	x	○	-	
	2	Mode1	○	-	x	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	-	x	○	-	-	x	○	-	x	○	-	
	3	Mode2	○	-	x	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	-	x	○	-	-	x	○	-	x	○	-	
	4	Mode3	○	-	x	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	-	x	○	-	-	x	○	-	x	○	-	
NoiseRemoval	0	None	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	□	x	x	-	□	x	x	-	x	x	-	
	1	Matrix2	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	□	x	x	-	□	x	x	-	x	x	-	
	2	Matrix3	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	□	x	x	-	□	x	x	-	x	x	-	
	3	Matrix4	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	□	x	x	-	□	x	x	-	x	x	-	
	4	Matrix5	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	□	x	x	-	□	x	x	-	x	x	-	
Orientation	0	Portrait 縦	●	-	x	●	x	●	x	●	-	x	●	-	x	●	-	x	●	-	-	x	●	-	x	●	-	
	1	Landscape 横	●	-	x	●	x	●	x	●	-	x	●	-	x	●	-	x	●	-	-	x	●	-	x	●	-	
白黒またはカラーのみ			白黒/ カラー	-	x	白黒/ カラー	x	白黒/ カラー	x	白黒/ カラー	-	x	白黒/ カラー	-	x	白黒/ カラー	-	x	白黒/ カラー	-	-	x	白黒/ カラー	-	x	白黒/ カラー	-	
	0	None	○/○	-	x	○/○	x	○/○	x	○/○	-	x	○/○	-	x	○/○	-	x	○/○	-	-	x	○/○	-	x	○/○	-	
	1	Outline Emphasis Low	○/○	-	x	○/○	x	○/○	x	○/○	-	x	○/○	-	x	○/○	-	x	○/○	-	-	x	○/○	-	x	○/○	-	
	2	Outline Emphasis Mid	○/○	-	x	○/○	x	○/○	x	○/○	-	x	○/○	-	x	○/○	-	x	○/○	-	-	x	○/○	-	x	○/○	-	
	3	Outline Emphasis High	○/○	-	x	○/○	x	○/○	x	○/○	-	x	○/○	-	x	○/○	-	x	○/○	-	-	x	○/○	-	x	○/○	-	
	4	Outline Smooth	○/x	-	x	○/x	x	○/x	x	○/x	-	x	○/x	-	x	○/x	-	x	○/x	-	-	x	○/x	-	x	○/x	-	
	5	Edge Extract(白黒2値)/ De-Screen Level-1(カラー)	○/○	-	x	○/○	x	○/○	x	○/○	-	x	○/○	-	x	○/○	-	x	○/○	-	-	x	○/○	-	x	○/○	-	
	6	De-Screen Level-2	x/○	-	x	x/○	x	x/○	x	x/○	-	x	x/○	-	x	x/○	-	x	x/○	-	-	x	x/○	-	x	x/○	-	
	7	De-Screen Level-3	x/○	-	x	x/○	x	x/○	x	x/○	-	x	x/○	-	x	x/○	-	x	x/○	-	-	x	x/○	-	x	x/○	-	
	8	De-Screen Level-4	x/○	-	x	x/○	x	x/○	x	x/○	-	x	x/○	-	x	x/○	-	x	x/○	-	-	x	x/○	-	x	x/○	-	
OverScan		True/False	○	-	x	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	-	x	○	-	-	x	○	-	x	○	-	
Overwrite	0	OFF(Mode0)	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	1	ON	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	2	Confirm(Mode0)	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	3	OFF(Mode1)	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	4	Confirm(Mode1)	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	

プロパティ			fi-6800			fi-6770/fi-6770A			fi-6750S			fi-6670/fi-6670A			fi-5950/fi-5900C			fi-5750C			fi-5650C			fi-5530C/C2					
				E ※1	S ※3		S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	S ※3		I ※2	S ※3		E ※1	I ※2	S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	E ※1	
PageCount			●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-		
PaperSize			縦/横			縦/横		縦/横		縦/横		縦/横		縦/横		縦/横		縦/横		縦/横		縦/横		縦/横		縦/横		縦/横	
	0	A3	○/×	-	×	○/×	×	○/×	×	○/×	-	×	○/×	-	×	○/×	-	×	○/×	-	-	×	○/×	-	×	○/×	O/×	○/×	
	1	A4	○/○	-	×	○/○	×	○/○	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	-	×	○/○	-	×	○/○
	2	A5	○/○	-	×	○/○	×	○/○	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	-	×	○/○	-	×	○/○
	3	A6	○/○	-	×	○/○	×	○/○	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	-	×	○/○	-	×	○/○
	4	B4	○/×	-	×	○/×	×	○/×	×	○/×	-	×	○/×	-	×	○/×	-	×	○/×	-	×	○/×	-	-	×	○/×	-	×	○/×
	5	B5	○/○	-	×	○/○	×	○/○	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	-	×	○/○	-	×	○/○
	6	B6	○/○	-	×	○/○	×	○/○	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	-	×	○/○	-	×	○/○
	7	Letter	○/○	-	×	○/○	×	○/○	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	-	×	○/○	-	×	○/○
	8	Legal	○/×	-	×	○/×	×	○/×	×	○/×	-	×	○/×	-	×	○/×	-	×	○/×	-	×	○/×	-	-	×	○/×	-	×	○/×
	9	Executive	○/○	-	×	○/○	×	○/○	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	-	×	○/○	-	×	○/○
	10	Double Letter	○/×	-	×	○/×	×	○/×	×	○/×	-	×	○/×	-	×	○/×	-	×	○/×	-	×	○/×	-	-	×	○/×	-	×	○/×
	11	PostCard	○/○	-	×	○/○	×	○/○	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	-	×	○/○	-	×	○/○
	12	Photo	○/○	-	×	○/○	×	○/○	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	-	×	○/○	-	×	○/○
	13	Card	○/○	-	×	○/○	×	○/○	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	×	○/○	-	-	×	○/○	-	×	○/○
	99	Custom	○/×	-	×	○/×	×	○/×	×	○/×	-	×	○/×	-	×	○/×	-	×	○/×	-	×	○/×	-	-	×	○/×	-	×	○/×

プロパティ			fi-6800			fi-6770/fi-6770A			fi-6750S			fi-6670/fi-6670A			fi-5950/fi-5900C			fi-5750C			fi-5650C			fi-5530C/C2			fi-4860C2	
				E ※1	S ※3		S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	S ※3		I ※2	S ※3		E ※1	I ※2	S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	
PaperSupply	0	Flatbed	x	-	x	○	x	○	x	x	-	x	x	-	x	○	-	x	x	-	-	x	x	-	x	x	-	
	1	ADF	○	-	x	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	-	x	○	-	-	x	○	-	x	○	-	
	2	ADF(Duplex)	○	-	x	○	x	x	x	○	-	x	○	-	x	○	-	x	○	-	-	x	○	-	x	○	-	
	3	ADF(BackSide)	○	-	x	○	x	x	x	○	-	x	○	-	x	○	-	x	○	-	-	x	○	-	x	○	-	
	4	ADF(CarrierSheet Spread A3)	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	x	-	
	5	ADF(CarrierSheet Spread DL)	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	x	-	
	6	ADF(CarrierSheet Spread B4)	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	x	-	
	7	ADF(CarrierSheet Clipping)	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	x	-	
	10	ADF(CarrierSheet Spread A3)	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	x	-	
	11	ADF(CarrierSheet Spread DL)	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	x	-	
	12	ADF(CarrierSheet Spread B4)	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	x	-	
	13	ADF(CarrierSheet Spread Auto)	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	x	-	
	14 ~ 49	ADF(CarrierSheet Clipping All) ~ ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	x	-	
PixelType	0	Black & White 白黒二値	○	-	x	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	-	x	○	-	-	x	○	-	x	○	-	
	1	Grayscale グレースケール	○	-	x	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	-	x	○	-	-	x	○	-	x	○	-	
	2	RGB カラー	○	-	x	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	-	x	○	-	-	x	○	-	x	○	-	
PreFiltering		True/False	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	□	x	x	-	□	x	x	-	x	x	-	
RegionLength			◎	-	x	◎	x	◎	x	◎	-	x	◎	-	x	◎	-	x	◎	-	-	x	◎	-	x	◎	-	
RegionLeft			◎	-	x	◎	x	◎	x	◎	-	x	◎	-	x	◎	-	x	◎	-	-	x	◎	-	x	◎	-	
RegionTop			◎	-	x	◎	x	◎	x	◎	-	x	◎	-	x	◎	-	x	◎	-	-	x	◎	-	x	◎	-	
RegionWidth			◎	-	x	◎	x	◎	x	◎	-	x	◎	-	x	◎	-	x	◎	-	-	x	◎	-	x	◎	-	
Report	0	OFF	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	1	Display	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	2	File	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
	3	Display+File	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	
ReportFile			●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-	

プロパティ			fi-6800			fi-6770/ fi-6770A			fi-6750S			fi-6670/ fi-6670A			fi-5950/ fi-5900C			fi-5750C			fi-5650C			fi-5530C/C2			fi-4860C2	
				E ※1	S ※3		S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	S ※3		I ※2	S ※3		E ※1	I ※2	S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	
Resolution	0	200x200	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	
	1	240x240	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	
	2	300x300	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	
	3	400x400	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	
	4	500x500	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	
	5	600x600	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	
	6	700x700	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	-	×	×	-	×	×	×	-	×	×	○	-
	7	800x800	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	-	×	×	-	-	×	×	-	×	×	○	-
	99	Custom	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	
Reverse		True/False	○ ※白黒二値 /グレー	-	×	○ ※白黒二 値/グレー	×	○ ※白黒二 値/グレー	×	○ ※白黒二 値/グレー	-	×	○ ※白黒二 値/グレー	-	×	○ ※白黒二 値/グレー	-	×	○ ※白黒二 値/グレー	-	-	×	○	-	×	○	-	
Rotation	0	None	●	-	×	●	×	●	×	●	-	×	●	-	×	●	-	×	●	-	-	×	●	-	×	●	-	
	1	R90	●	-	×	●	×	●	×	●	-	×	●	-	×	●	-	×	●	-	-	×	●	-	×	●	-	
	2	R180	●	-	×	●	×	●	×	●	-	×	●	-	×	●	-	×	●	-	-	×	●	-	×	●	-	
	3	R270	●	-	×	●	×	●	×	●	-	×	●	-	×	●	-	×	●	-	-	×	●	-	×	●	-	
ScanCount			○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	-	○	○	-	-	○	○	-	○	○		
ScanTo	0	File	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●		
	1	Dib Handle	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●		
	2	Raw Image Handle	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●		
SEE	0	OFF	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	×	-	×	×		
	1	ON	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	×	-	×	×		
Shadow	0~254		○ ※グレー/ カラー	-	×	○ ※グレー/ カラー	×	○ ※グレー/ カラー	×	○ ※グレー/ カラー	-	×	○ ※グレー/ カラー	-	×	○ ※グレー/ カラー	-	×	○ ※グレー/ カラー	-	-	×	○ ※グレー/ カラー	-	×	○ ※グレー/ カラー	-	
ShowSourceUI		True/False	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●		
SilentMode		True/False	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●		
SkipBlackPage	0~15		○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	
SkipWhitePage	0~15		○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	
Smoothing		True/False	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	-	×	×	□	×	×	-	□	×	×	-	
SourceCurrentScan		True/False	●	-	×	●	×	●	×	●	-	×	●	-	×	●	-	×	●	-	-	×	●	-	×	●	-	
Threshold	1~255	白黒二値	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	
		中間調白黒(Halftone=1~6)	○	-	×	×	×	×	×	○	-	×	×	-	×	○	-	×	×	-	-	×	×	-	×	×		
		自動像域分離(AutoSeparation=1)	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	○	-	×	×	□	×	×	-	□	×	×	○	-
		選択の強調(SEE=1)	○	-	×	×	×	×	×	○	-	×	○	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	
		グレースケール	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	
		カラー	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	○	-	×	○	-	-	×	○	-	×	○	-	
0	自動二値(簡易 or 完全)	○簡易	-	×	○簡易	×	○簡易	×	○簡易	-	×	○簡易	-	×	○簡易	-	×	○簡易	□ 完全	×	○簡易	-	□ 完全	×	○簡易	-	○完全	-

プロパティ			fi-6800			fi-6770/fi-6770A			fi-6750S			fi-6670/fi-6670A			fi-5950/fi-5900C			fi-5750C			fi-5650C			fi-5530C/C2			fi-4860C2		
				E ※1	S ※3		S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	S ※3		I ※2	S ※3		E ※1	I ※2	S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	E ※1	
ThresholdCurve	0	Curve1	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	□	x	x	-	□	x	x	x	-	x	○	-	
	1	Curve2	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	□	x	x	-	□	x	x	-	x	○	-		
	2	Curve3	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	□	x	x	-	□	x	x	-	x	○	-		
	3	Curve4	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	○	-		
	4	Curve5	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	○	-		
	5	Curve6	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	○	-		
	6	Curve7	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	○	-		
	7	Curve8	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	-	x	x	-	-	x	x	-	x	○	-		
TwainDS			●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	-	○	●	-	-	○	●	-	○	●	-		
UndefinedScanning		True/False	○	-	x	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	-	x	○	-	-	x	○	-	x	○	-		
Unit	0	Inches	●	-	x	●	x	●	x	●	-	x	●	-	x	●	-	x	●	-	-	x	●	-	x	●	-		
	1	Centimeters	●	-	x	●	x	●	x	●	-	x	●	-	x	●	-	x	●	-	-	x	●	-	x	●	-		
	2	Pixels	●	-	x	●	x	●	x	●	-	x	●	-	x	●	-	x	●	-	-	x	●	-	x	●	-		

[A4機／A6機]

プロパティ			fi-6240Z/fi-6230Z		fi-6240/fi-6230		fi-6140Z/fi-6130Z			fi-6140/fi-6130			fi-6110		fi-5220C		fi-5120C			fi-5110C		fi-5015C	
				S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	S ※3		S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		S ※3		S ※3
AutoBorderDetection		True/False	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	×	×	×	×
AutoSeparation	0	OFF	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	1	ON	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
Background	0	OFF	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	1	ON	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	2	AUTO	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
BackgroundColor	0	OFF	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
	1	ON	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
Binding	0	Side	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	×	×
	1	Height	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	×	×
Brightness	1~255	白黒二値	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
		中間調白黒(Halftone=1~6)	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
		自動像域分離(AutoSeparation=1)	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
		選択的強調(SEE=1)	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
		グレースケール	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
		カラー	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
CloseSourceUI		True/False	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
CompressionType	0	No Compress	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	1	CCITT G3(1D)	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	2	CCITT G3(2D) Kfactor=2	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	3	CCITT G3(2D) Kfactor=4	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	4	CCITT G4	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	5	JPEG	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	6	Old JPEG	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
Contrast	1~255		○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
CustomGamma		0.1~10.0	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
CustomPaperLength			◎	×	◎	×	◎	-	×	◎	-	×	◎	×	◎	×	◎	-	×	◎	×	◎	×
CustomPaperWidth			◎	×	◎	×	◎	-	×	◎	-	×	◎	×	◎	×	◎	-	×	◎	×	◎	×
CustomResolution	最大	白黒二値	○1200	×	○1200	×	○1200	-	×	○1200	-	×	○1200	×	○600	×	○600	-	×	○600	×	○600	×
	最大	グレースケール	○1200	×	○1200	×	○1200	-	×	○1200	-	×	○1200	×	○600	×	○600	-	×	○600	×	○600	×
	最大	カラー	○1200	×	○1200	×	○1200	-	×	○1200	-	×	○1200	×	○600	×	○600	-	×	○600	×	○600	×
	最小		○50	×	○50	×	○50	-	×	○50	-	×	○50	×	○50	×	○50	-	×	○50	×	○50	×
	単位		○1	×	○1	×	○1	-	×	○1	-	×	○1	×	○1	×	○1	-	×	○1	×	○1	×
DoubleFeed (MultiFeedを参照してください)																							
Endorser		True/False	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	×	×	×	×
EndorserCountDirection	0	Add	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	×	×	×	×
	1	Del	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	×	×	×	×
EndorserCounter	-1~		×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	×	×	×	×
EndorserCountStep	0	None	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	×	×	×	×
	1	1 Step	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	×	×	×	×
	2	2 Step	×	×	×	×	×	□	×	×	□	×	×	×	×	×	□	×	×	×	×	×	×

プロパティ			fi-6240Z/fi-6230Z		fi-6240/fi-6230		fi-6140Z/fi-6130Z			fi-6140/fi-6130			fi-6110		fi-5220C		fi-5120C			fi-5110C		fi-5015C	
			S	※3	S	※3	E	※1	S	※3	E	※1	S	※3	S	※3	E	※1	S	※3	S	※3	
EndorserDirection	1	ToUnder	x	x	x	x	x		□	x	x		□	x	x	x	□	x	x	x	x	x	
	3	ToUpper	x	x	x	x	x		□	x	x		□	x	x	x	□	x	x	x	x	x	
EndorserOffset	0~		x	x	x	x	x		□	x	x		□	x	x	x	□	x	x	x	x	x	
EndorserString			x	x	x	x	x		□	x	x		□	x	x	x	□	x	x	x	x	x	
		最大半角文字数	x	x	x	x	x		43	x	x		43	x	x	x	x	x	40	x	x	x	x
ErrorCode			●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○		
FileCounter			●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○		
FileName			●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○		
FileType	0	BMP	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○		
	1	TIFF	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○		
	2	MultipageTIFF	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○		
	3	JFIF(JPEG)	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○		
	4	PDF	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○		
	5	MultipagePDF	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○		
	6	Multi Image Output	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○		
	7	Auto Color Detection	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○		
Filter	0	Green	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x		
	1	Red	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x		
	2	Blue	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x		
	3	None	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x		
	4	White	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x		
	99	Custom1	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	x	x	x	x		
	100	Custom2	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	x	x	x	x		
	101	Custom3	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	x	x	x	x		
Gamma	0	None	○	※白黒/ グレー	x	○	※白黒/ グレー	x	○	※白黒/ グレー	-	x	○	※白黒/ グレー	-	x	○	※白黒	x	○	※白黒	x	
	1	Soft	○	※白黒/ グレー	x	○	※白黒/ グレー	x	○	※白黒/ グレー	-	x	○	※白黒/ グレー	-	x	○	※白黒	x	○	※白黒	x	
	2	Sharp	○	※白黒/ グレー	x	○	※白黒/ グレー	x	○	※白黒/ グレー	-	x	○	※白黒/ グレー	-	x	○	※白黒	x	○	※白黒	x	
	3	Gamma Pattern File	○	※白黒/ グレー	x	○	※白黒/ グレー	x	○	※白黒/ グレー	-	x	○	※白黒/ グレー	-	x	○	※白黒	x	○	※白黒	x	
	4	Custom	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x		
GammaFile			○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	x	x	x	x		
Halftone	0	None	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x		
	1	Dither Pattern0	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x		
	2	Dither Pattern1	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x		
	3	Dither Pattern2	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x		
	4	Dither Pattern3	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x		
	5	Dither Pattern File	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x		
	6	Error Diffusion	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x		

プロパティ			fi-6240Z/fi-6230Z		fi-6240/fi-6230		fi-6140Z/fi-6130Z			fi-6140/fi-6130			fi-6110		fi-5220C		fi-5120C			fi-5110C		fi-5015C		
				S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	S ※3		S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		S ※3		S ※3	
HalftoneFile			○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	×	×	
Highlight	1~255		○ ※グレー/ カラー	×	○ ※グレー/ カラー	×	○ ※グレー/ カラー	-	×	○ ※グレー/ カラー	-	×	○ ※グレー/ カラー	×	○ ※グレー/ カラー	×	○ ※グレー/ カラー	-	×	○ ※グレー/ カラー	×	○ ※グレー/ カラー	×	
ImageScanner			●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○	
Indicator		True/False	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○	
IsExistsFB	True		○	○	○	○	×	-	×	×	-	×	×	×	○	○	×	-	×	×	○	○	○	○
	False		×	×	×	×	○	-	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	-	○	○	○	×	×
JobControl	0	None	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	1	Include and Continue	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	2	Include and Stop	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	3	Exclude and Continue	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	4	Exclude and Stop	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
JpegQuality	0	Level1(高圧縮)	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○	●
	1	Level2	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○	●
	2	Level3	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○	●
	3	Level4	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○	●
	4	Level5	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○	●
	5	Level6	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○	●
	6	Level7(高画質)	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○	●
LongPage		True/False	○ 白黒2値 グレー/カラー 125inch (3175mm)	×	○ 白黒2値 グレー/カラー 125inch (3175mm)	×	○ 白黒2値 グレー/カラー 125inch (3175mm)	-	×	○ 白黒2値 グレー/カラー 125inch (3175mm)	-	×	○ 白黒2値 グレー/カラー 125inch (3175mm)	×	○ 白黒2値 グレー/カラー 125inch (3175mm)	-	×	○ 白黒2値 グレー/カラー 34inch(863.6 mm)	×	○ 白黒2値 グレー/カラー 34inch(863. 6mm)	×	○ 白黒2値 グレー/カラー 34inch(863.6mm)	×	
Mirroring		True/False	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×
MultiFeed	0	None	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	×	×	×
	1	Mode0	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	2	Mode1	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	×	-	×	○	×	×	×
	3	Mode2	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	×	-	×	○	×	×	×
	4	Mode3	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	×	-	×	○	×	×	×
NoiseRemoval	0	None	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×
	1	Matrix2	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×
	2	Matrix3	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×
	3	Matrix4	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×
	4	Matrix5	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×
Orientation	0	Portrait 縦	●	×	●	×	●	-	×	●	-	×	●	×	●	×	●	-	×	●	×	●	×	●
	1	Landscape 横	●	×	●	×	●	-	×	●	-	×	●	×	●	×	●	-	×	●	×	●	×	●

プロパティ			fi-6240Z/fi-6230Z		fi-6240/fi-6230		fi-6140Z/fi-6130Z			fi-6140/fi-6130			fi-6110		fi-5220C		fi-5120C			fi-5110C		fi-5015C	
				S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	S ※3		S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		S ※3		S ※3
Outline 白黒またはカラーのみ			白黒/ カラー	×	白黒/ カラー	×	白黒/ カラー	-	×	白黒/ カラー	-	×	白黒/ カラー	×	白黒/ カラー	×	白黒/ カラー	-	×	白黒/ カラー	×	白黒/ カラー	×
	0	None	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	-	×	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	×	O/O	×
	1	Outline Emphasis Low	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	-	×	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	×	×/×	×
	2	Outline Emphasis Mid	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	-	×	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	×	×/×	×
	3	Outline Emphasis High	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	-	×	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	×	×/×	×
	4	Outline Smooth	O/x	×	O/x	×	O/x	-	×	O/x	-	×	O/x	×	O/x	×	O/x	-	×	O/x	×	×/×	×
	5	Edge Extract(白黒2値)/ De-Screen Level-1(カラー)	x/O	×	x/O	×	x/O	-	×	x/O	-	×	x/O	×	x/O	×	x/O	-	×	x/O	×	×/O	×
	6	De-Screen Level-2	x/O	×	x/O	×	x/O	-	×	x/O	-	×	x/O	×	x/O	×	x/O	-	×	x/O	×	×/O	×
	7	De-Screen Level-3	x/O	×	x/O	×	x/O	-	×	x/O	-	×	x/O	×	x/O	×	x/O	-	×	x/O	×	×/O	×
	8	De-Screen Level-4	x/O	×	x/O	×	x/O	-	×	x/O	-	×	x/O	×	x/O	×	x/O	-	×	x/O	×	×/O	×
OverScan		True/False	O	×	O	×	O	-	×	O	-	×	O	×	O	×	O	-	×	O	×	O ※ADF	×
Overwrite	0	OFF(Mode0)	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	1	ON	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	2	Confirm(Mode0)	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	3	OFF(Mode1)	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	4	Confirm(Mode1)	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
PageCount			●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
PaperSize			縦/横		縦/横		縦/横			縦/横			縦/横		縦/横		縦/横			縦/横		縦/横	
	0	A3	x/x	×	x/x	×	x/x	-	×	x/x	-	×	x/x	×	x/x	×	x/x	-	×	x/x	×	x/x	×
	1	A4	O/x	×	O/x	×	O/x	-	×	O/x	-	×	O/x	×	O/x	×	O/x	-	×	O/x	×	O/x	×
	2	A5	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	-	×	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	×	O/O	×
	3	A6	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	-	×	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	×	x/x	×
	4	B4	x/x	×	x/x	×	x/x	-	×	x/x	-	×	x/x	×	x/x	×	x/x	-	×	x/x	×	x/x	×
	5	B5	O/x	×	O/x	×	O/x	-	×	O/x	-	×	O/x	×	O/x	×	O/x	-	×	O/x	×	O/x	×
	6	B6	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	-	×	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	×	O/x	×
	7	Letter	O/x	×	O/x	×	O/x	-	×	O/x	-	×	O/x	×	O/x	×	O/x	-	×	O/x	×	O/x	×
	8	Legal	O/x	×	O/x	×	O/x	-	×	O/x	-	×	O/x	×	O/x	×	O/x	-	×	O/x	×	O/x	×
	9	Executive	O/x	×	O/x	×	O/x	-	×	O/x	-	×	O/x	×	O/x	×	O/x	-	×	O/x	×	O/x	×
	10	Double Letter	x/x	×	x/x	×	x/x	-	×	x/x	-	×	x/x	×	x/x	×	x/x	-	×	x/x	×	x/x	×
	11	PostCard	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	-	×	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	×	x/x	×
	12	Photo	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	-	×	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	×	×/x	×
	13	Card	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	-	×	O/O	×	O/O	×	O/O	-	×	O/O	×	×/x	×
	99	Custom	O/x	×	O/x	×	O/x	-	×	O/x	-	×	O/x	×	O/x	×	O/x	-	×	O/x	×	O/x	×

プロパティ			fi-6240Z/fi-6230Z		fi-6240/fi-6230		fi-6140Z/fi-6130Z			fi-6140/fi-6130			fi-6110		fi-5220C		fi-5120C			fi-5110C		fi-5015C	
				S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	S ※3		S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		S ※3		S ※3
PaperSupply	0	Flatbed	○	×	○	×	×	-	×	×	-	×	×	○	×	×	-	×	×	×	○	×	
	1	ADF	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
	2	ADF(Duplex)	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	×	×
	3	ADF(BackSide)	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	×	×
	4	ADF(CarrierSheet Spread A3)	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	5	ADF(CarrierSheet Spread DL)	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	6	ADF(CarrierSheet Spread B4)	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	7	ADF(CarrierSheet Clipping)	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	10	ADF(CarrierSheet Spread A3)	○	×	×	×	○	-	×	×	-	×	○	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	11	ADF(CarrierSheet Spread DL)	○	×	×	×	○	-	×	×	-	×	○	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	12	ADF(CarrierSheet Spread B4)	○	×	×	×	○	-	×	×	-	×	○	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	13	ADF(CarrierSheet Spread Auto)	○	×	×	×	○	-	×	×	-	×	○	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
	14 ~ 49	ADF(CarrierSheet Clipping All) ~ ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)	○	×	×	×	○	-	×	×	-	×	○	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×
PixelType	0	Black & White 白黒二値	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
	1	Grayscale グレースケール	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
	2	RGB カラー	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
PreFiltering		True/False	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×
RegionLength			◎	×	◎	×	◎	-	×	◎	-	×	◎	×	◎	×	◎	-	×	◎	×	◎	×
RegionLeft			◎	×	◎	×	◎	-	×	◎	-	×	◎	×	◎	×	◎	-	×	◎	×	◎	×
RegionTop			◎	×	◎	×	◎	-	×	◎	-	×	◎	×	◎	×	◎	-	×	◎	×	◎	×
RegionWidth			◎	×	◎	×	◎	-	×	◎	-	×	◎	×	◎	×	◎	-	×	◎	×	◎	×
Report	0	OFF	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	1	Display	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	2	File	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	3	Display+File	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
ReportFile			●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
Resolution	0	200x200	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
	1	240x240	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
	2	300x300	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
	3	400x400	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
	4	500x500	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
	5	600x600	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
	6	700x700	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×
	7	800x800	×	×	×	×	×	-	×	×	-	×	×	×	×	×	-	×	×	×	×	×	×
	99	Custom	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
Reverse		True/False	○	×	○	×	○	-	×	○	-	×	○	×	○	×	○	-	×	○	×	○	×
Rotation	0	None	●	×	●	×	●	-	×	●	-	×	●	×	●	×	●	-	×	●	×	●	×
	1	R90	●	×	●	×	●	-	×	●	-	×	●	×	●	×	●	-	×	●	×	●	×
	2	R180	●	×	●	×	●	-	×	●	-	×	●	×	●	×	●	-	×	●	×	●	×
	3	R270	●	×	●	×	●	-	×	●	-	×	●	×	●	×	●	-	×	●	×	●	×
ScanCount			○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
ScanTo	0	File	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	1	Dib Handle	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
	2	Raw Image Handle	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○

プロパティ			fi-6240Z/fi-6230Z		fi-6240/fi-6230		fi-6140Z/fi-6130Z			fi-6140/fi-6130			fi-6110		fi-5220C		fi-5120C			fi-5110C		fi-5015C	
				S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		E ※1	S ※3		S ※3		S ※3		E ※1	S ※3		S ※3		S ※3
SEE	0	OFF		x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x
	1	ON		x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x	x
Shadow	0~254		○ ※グレー/ カラー	x	○ ※グレー/ カラー	x	○ ※グレー/ カラー	-	x	○ ※グレー/ カラー	-	x	○ ※グレー/ カラー	x	○ ※グレー/ カラー	x	○ ※グレー/ カラー	-	x	○ ※グレー/ カラー	x	○ ※グレー/ カラー	x
ShowSourceUI		True/False	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
SilentMode		True/False	●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
SkipBlackPage	0~15		○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	x	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x
SkipWhitePage	0~15		○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x
Smoothing		True/False	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x
SourceCurrentScan		True/False	●	x	●	x	●	-	x	●	-	x	●	x	●	x	●	-	x	●	x	●	x
Threshold	1~255	白黒二値	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	x	○	-	x	○	x	○	x
		中間調白黒(Halftone=1~6)	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x
		自動像域分離(AutoSeparation=1)	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x
		選択的強調(SEE=1)	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x
		グレースケール	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x
		カラー	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x
	0	自動二値(簡易 or 完全)	○簡易	x	○簡易	x	○簡易	-	x	○簡易	-	x	○簡易	x	○簡易	x	○簡易	-	x	○簡易	x	○簡易	x
ThresholdCurve	0	Curve1	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x
	1	Curve2	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x
	2	Curve3	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x
	3	Curve4	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x
	4	Curve5	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x
	5	Curve6	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x
	6	Curve7	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x
	7	Curve8	x	x	x	x	x	-	x	x	-	x	x	x	x	x	x	-	x	x	x	x	x
TwainDS			●	○	●	○	●	-	○	●	-	○	●	○	●	○	●	-	○	●	○	●	○
UndefinedScanning		True/False	○	x	○	x	○	-	x	○	-	x	○	x	○	x	○	-	x	○	x	x	x
Unit	0	Inches	●	x	●	x	●	-	x	●	-	x	●	x	●	x	●	-	x	●	x	●	x
	1	Centimeters	●	x	●	x	●	-	x	●	-	x	●	x	●	x	●	-	x	●	x	●	x
	2	Pixels	●	x	●	x	●	-	x	●	-	x	●	x	●	x	●	-	x	●	x	●	x

プロパティ			fi-4340C				fi-60f	
				E ※1	I ※2	S ※3		S ※3
AutoBorderDetection		True/False	○	-	-	×	○	×
AutoSeparation	0	OFF	×	-	-	×	×	×
	1	ON	×	-	□	×	×	×
Background	0	OFF	○	-	-	×	×	×
	1	ON	○	-	-	×	×	×
	2	AUTO	○	-	-	×	×	×
BackgroundColor	0	OFF	○	-	-	×	×	×
	1	ON	○	-	-	×	×	×
Binding	0	Side	○	-	-	×	×	×
	1	Height	○	-	-	×	×	×
Brightness	1~255	白黒二値	×	-	-	×	○	×
		中間調白黒(Halftone=1~6)	○	-	-	×	○	×
		自動像域分離(AutoSeparation=1)	×	-	□	×	×	×
		選択的強調(SEE=1)	○	-	-	×	×	×
		グレースケール	×	-	-	×	○	×
		カラー	○	-	-	×	○	×
CloseSourceUI		True/False	●	-	-	○	●	○
CompressionType	0	No Compress	●	-	-	○	●	○
	1	CCITT G3(1D)	●	-	-	○	●	○
	2	CCITT G3(2D) Kfactor=2	●	-	-	○	●	○
	3	CCITT G3(2D) Kfactor=4	●	-	-	○	●	○
	4	CCITT G4	●	-	-	○	●	○
	5	JPEG	●	-	-	○	●	○
	6	Old JPEG	●	-	-	○	●	○
Contrast	1~255		○	-	-	×	○	×
CustomGamma	0.1~10.0		○	-	-	×	○	×
CustomPaperLength			◎	-	-	×	◎	×
CustomPaperWidth			◎	-	-	×	◎	×
CustomResolution	最大	白黒二値	○800	-	-	×	○600	×
	最大	グレースケール	○600	-	-	×	○600	×
	最大	カラー	○600	-	-	×	○600	×
	最小		○50	-	-	×	○50	×
	単位		○1	-	-	×	○1	×
DoubleFeed (MultiFeedを参照してください)								
Endorser		True/False	×	□	-	×	×	×
EndorserCountDirection	0	Add	×	□	-	×	×	×
	1	Del	×	□	-	×	×	×
EndorserCounter	-1~		×	□	-	×	×	×
EndorserCountStep	0	None	×	□	-	×	×	×
	1	1 Step	×	□	-	×	×	×
	2	2 Step	×	□	-	×	×	×

プロパティ			fi-4340C				fi-60F	
				E ※1	I ※2	S ※3		S ※3
EndorserDirection	1	ToUnder	x	□	-	x	x	x
	3	ToUpper	x	□	-	x	x	x
EndorserOffset	0~		x	□	-	x	x	x
EndorserString			x	□	-	x	x	x
	最大半角文字数		x	40	-	x	x	x
ErrorCode			●	-	-	○	●	○
FileCounter			●	-	-	○	●	○
FileName			●	-	-	○	●	○
FileType	0	BMP	●	-	-	○	●	○
	1	TIFF	●	-	-	○	●	○
	2	MultipageTIFF	●	-	-	○	●	○
	3	JFIF(JPEG)	●	-	-	○	●	○
	4	PDF	●	-	-	○	●	○
	5	MultipagePDF	●	-	-	○	●	○
	6	Multi Image Output	●	-	-	○	●	○
	7	Auto Color Detection	●	-	-	○	●	○
Filter	0	Green	○	-	-	x	○	x
	1	Red	○	-	-	x	○	x
	2	Blue	○	-	-	x	○	x
	3	None	○	-	-	x	x	x
	4	White	x	-	-	x	x	x
	99	Custom1	x	-	-	x	x	x
	100	Custom2	x	-	-	x	x	x
	101	Custom3	x	-	-	x	x	x
Gamma	0	None	○ ※白黒/ グレー	-	-	x	○ ※白黒	x
	1	Soft	○ ※白黒/ グレー	-	-	x	x	x
	2	Sharp	○ ※白黒/ グレー	-	-	x	x	x
	3	Gamma Pattern File	○ ※白黒/ グレー	-	-	x	x	x
	4	Custom	○	-	-	x	○	x
GammaFile			○	-	-	x	x	x
Halftone	0	None	○	-	-	x	○	x
	1	Dither Pattern0	○	-	-	x	○	x
	2	Dither Pattern1	○	-	-	x	○	x
	3	Dither Pattern2	○	-	-	x	○	x
	4	Dither Pattern3	○	-	-	x	○	x
	5	Dither Pattern File	○	-	-	x	○	x
	6	Error Diffusion	○	-	-	x	○	x

プロパティ			fi-4340C				fi-60F	
				E ※1	I ※2	S ※3		S ※3
HalftoneFile			○	-	-	×	○	×
Highlight	1～ 255		○ ※グレー/ カラー	-	-	×	○ ※グレー/ カラー	×
ImageScanner			●	-	-	○	●	○
Indicator		True/False	●	-	-	○	●	○
IsExistsFB	True		○	-	-	○	○	○
	False		×	-	-	×	×	×
JobControl	0	None	○	-	-	×	×	×
	1	Include and Continue	○	-	-	×	×	×
	2	Include and Stop	○	-	-	×	×	×
	3	Exclude and Continue	○	-	-	×	×	×
	4	Exclude and Stop	○	-	-	×	×	×
JpegQuality	0	Level1(高圧縮)	●	-	-	○	●	○
	1	Level2	●	-	-	○	●	○
	2	Level3	●	-	-	○	●	○
	3	Level4	●	-	-	○	●	○
	4	Level5	●	-	-	○	●	○
	5	Level6	●	-	-	○	●	○
	6	Level7(高画質)	●	-	-	○	●	○
LongPage		True/False	○白黒2値 60.680inch (1541mm)	-	-	×	×	×
Mirroring		True/False	×	-	-	×	×	×
MultiFeed	0	None	○	-	-	×	×	×
	1	Mode0	○	-	-	×	×	×
	2	Mode1	○	-	-	×	×	×
	3	Mode2	○	-	-	×	×	×
	4	Mode3	○	-	-	×	×	×
NoiseRemoval	0	None	×	-	□	×	×	×
	1	Matrix2	×	-	□	×	×	×
	2	Matrix3	×	-	□	×	×	×
	3	Matrix4	×	-	□	×	×	×
	4	Matrix5	×	-	□	×	×	×
Orientation	0	Portrait 縦	●	-	-	×	●	×
	1	Landscape 横	●	-	-	×	●	×

プロパティ			fi-4340C				fi-60F	
				E ※1	I ※2	S ※3		S ※3
Outline		白黒/カラー	-	-	x	白黒/カラー	x	
白黒またはカラーのみ	0	None	O/O	-	-	x	O/O	x
	1	Outline Emphasis Low	O/O	-	-	x	O/O	x
	2	Outline Emphasis Mid	O/O	-	-	x	O/O	x
	3	Outline Emphasis High	O/O	-	-	x	O/O	x
	4	Outline Smooth	O/x	-	-	x	O/x	x
	5	Edge Extract(白黒2値)/ De-Screen Level-1(カラー)	O ※白黒 二値(スラ イス)のみ /O	-	-	x	x/O	x
	6	De-Screen Level-2	x/O	-	-	x	x/O	x
	7	De-Screen Level-3	x/O	-	-	x	x/O	x
	8	De-Screen Level-4	x/O	-	-	x	x/O	x
OverScan		True/False	O	-	-	x	x	x
Overwrite	0	OFF(Mode0)	●	-	-	O	●	O
	1	ON	●	-	-	O	●	O
	2	Confirm(Mode0)	●	-	-	O	●	O
	3	OFF(Mode1)	●	-	-	O	●	O
	4	Confirm(Mode1)	●	-	-	O	●	O
PageCount		●	-	-	O	●	●	O
PaperSize		縦/横				縦/横		
	0	A3	x/x	-	-	x	x/x	x
	1	A4	O/x	-	-	x	x/x	x
	2	A5	O/O	-	-	x	x/x	x
	3	A6	O/O	-	-	x	O/x	x
	4	B4	x/x	-	-	x	x/x	x
	5	B5	O/x	-	-	x	x/x	x
	6	B6	O/O	-	-	x	x/x	x
	7	Letter	O/x	-	-	x	x/x	x
	8	Legal	O/x	-	-	x	x/x	x
	9	Executive	O/x	-	-	x	x/x	x
	10	Double Letter	x/x	-	-	x	x/x	x
	11	PostCard	O/O	-	-	x	O/x	x
	12	Photo	O/O	-	-	x	O/x	x
	13	Card	O/O	-	-	x	O/O	x
	99	Custom	O/x	-	-	x	O/x	x

プロパティ			fi-4340C			fi-60F		
				E ※1	I ※2	S ※3		
PaperSupply	0	Flatbed	○	-	-	×	○	×
	1	ADF	○	-	-	×	×	×
	2	ADF(Duplex)	○	-	-	×	×	×
	3	ADF(BackSide)	×	-	-	×	×	×
	4	ADF(CarrierSheet Spread A3)	×	-	-	×	×	×
	5	ADF(CarrierSheet Spread DL)	×	-	-	×	×	×
	6	ADF(CarrierSheet Spread B4)	×	-	-	×	×	×
	7	ADF(CarrierSheet Clipping)	×	-	-	×	×	×
	10	ADF(CarrierSheet Spread A3)	×	-	-	×	×	×
	11	ADF(CarrierSheet Spread DL)	×	-	-	×	×	×
	12	ADF(CarrierSheet Spread B4)	×	-	-	×	×	×
	13	ADF(CarrierSheet Spread Auto)	×	-	-	×	×	×
	14 ~ 49	ADF(CarrierSheet Clipping All) ~ ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)	×	-	-	×	×	×
PixelType	0	Black & White 白黒二値	○	-	-	×	○	×
	1	Grayscale グレースケール	○	-	-	×	○	×
	2	RGB カラー	○	-	-	×	○	×
PreFiltering		True/False	×	-	□	×	×	×
RegionLength			◎	-	-	×	◎	×
RegionLeft			◎	-	-	×	◎	×
RegionTop			◎	-	-	×	◎	×
RegionWidth			◎	-	-	×	◎	×
Report	0	OFF	●	-	-	○	●	○
	1	Display	●	-	-	○	●	○
	2	File	●	-	-	○	●	○
	3	Display+File	●	-	-	○	●	○
ReportFile			●	-	-	○	●	○
Resolution	0	200x200	○	-	-	×	○	×
	1	240x240	○	-	-	×	○	×
	2	300x300	○	-	-	×	○	×
	3	400x400	○	-	-	×	○	×
	4	500x500	○	-	-	×	○	×
	5	600x600	○	-	-	×	○	×
	6	700x700	○※白 黒のみ	-	-	×	×	×
	7	800x800	○※白 黒のみ	-	-	×	×	×
	99	Custom	○	-	-	×	○	×
Reverse		True/False	○ ※白黒 二値の み	-	-	×	○	×
Rotation	0	None	●	-	-	×	●	×
	1	R90	●	-	-	×	●	×
	2	R180	●	-	-	×	●	×
	3	R270	●	-	-	×	●	×

プロパティ			fi-4340C			fi-60F	
				E ※1	I ※2	S ※3	
ScanCount			○	-	-	○	×
ScanTo	0	File	●	-	-	○	● ○
	1	Dib Handle	●	-	-	○	● ○
	2	Raw Image Handle	●	-	-	○	● ○
SEE	0	OFF	○	-	-	×	×
	1	ON	○	-	-	×	×
Shadow	0~254		○ ※グレー/ カラー	-	-	×	○ ※グレー/ カラー
ShowSourceUI		True/False	●	-	-	○	● ○
SilentMode		True/False	●	-	-	○	● ○
SkipBlackPage	0~15		○	-	-	×	×
SkipWhitePage	0~15		○	-	-	×	×
Smoothing		True/False	×	-	□	×	×
SourceCurrentScan		True/False	●	-	-	×	● ×
Threshold	1~255	白黒二値	○	-	-	×	○ ×
		中間調白黒(Halftone=1~6)	×	-	-	×	×
		自動像域分離(AutoSeparation=1)	×	-	□	×	×
		選択的強調(SEE=1)	×	-	-	×	×
		グレースケール	×	-	-	×	×
		カラー	×	-	-	×	×
	0	自動二値(簡易 or 完全)	○簡易	-	□ 完全	×	○簡易 ×
ThresholdCurve	0	Curve1	×	-	□	×	×
	1	Curve2	×	-	□	×	×
	2	Curve3	×	-	□	×	×
	3	Curve4	×	-	-	×	×
	4	Curve5	×	-	-	×	×
	5	Curve6	×	-	-	×	×
	6	Curve7	×	-	-	×	×
	7	Curve8	×	-	-	×	×
TwainDS			●	-	-	○	● ○
UndefinedScanning		True/False	○	-	-	×	×
Unit	0	Inches	●	-	-	×	● ×
	1	Centimeters	●	-	-	×	● ×
	2	Pixels	●	-	-	×	● ×

## 5.2 エラー番号とエラー時の対処方法

以下にエラー番号、および対処方法と属性を記述します。

- : ハードウェアに起因するエラー(重度)、□: ハードウェアに起因するエラー(軽度)
- : ソフトウェアに起因するエラー(重度)、○: ソフトウェアに起因するエラー(軽度)

エラー番号	対処方法	属性
0x00000000	EC_SUCCESS	—
0x00000001	EC_NOT_READY (装置の準備ができていません)	初期化中。装置の準備ができてから、再度処理を実行してください。 エラー番号 0x00000001 は、旧バージョンとの互換を保つためのものです。
0x00000002	EC_DETECT_SPECIAL_PAPER (特殊な原稿を検出しました)	特殊原稿検出エラー。ユーザーに通知するエラーです。原稿の状態を確認してください。
0x00000003	EC_JAM (ジャムが発生しました)	原稿の状態を見直してから、再度処理を実行してください。
0x00000004	EC_OPENED_ADFCOVER (ADF カバー、またはエンドーサ/インプリンタカバーが開いています)	カバーを閉じてから、再度処理を実行してください。 ※装置によってカバーが開いている場合、エラー番号 0x0000001B または 0x0000002A で通知される場合があります。
0x00000005	EC_NOT_ENOUGH_PAPER (原稿がなくなりました)	原稿の状態を見直してください。
0x00000006	EC_RUNDOWN_FUSE_FBMOTOR (FB 用のモータヒューズ切れ)	部品の交換、または故障が考えられます。お使いの装置の説明書をご参照願います。
0x00000007	EC_RUNDOWN_FUSE_ADFMOTOR (ADF 用のモータヒューズ切れ)	部品の交換、または故障が考えられます。お使いの装置の説明書をご参照願います。
0x00000008	EC_RUNDOWN_FUSE_HEATER (ヒーター用のヒューズ切れ)	部品の交換、または故障が考えられます。お使いの装置の説明書をご参照願います。
0x00000009	EC_RUNDOWN_FUSE_LAMP (ランプ用のヒューズ切れ)	部品の交換、または故障が考えられます。お使いの装置の説明書をご参照願います。
0x0000000A	EC_RUNDOWN_FUSEENDORSER (エンドーサ/インプリンタ用のヒューズ切れ)	部品の交換、または故障が考えられます。お使いの装置の説明書をご参照願います。
0x0000000B	EC_RUNDOWN_SYSTEM (装置の走行系異常)	輸送用ロック状態になっていることが考えられます。 あるいは部品の交換、または故障が考えられます。お使いの装置の説明書をご参照願います。
0x0000000C	EC_ABNORMAL_LIGHTLEVEL (光量異常)	部品の交換、または故障が考えられます。お使いの装置の説明書をご参照願います。
0x0000000D	EC_CANNOT_CONTROL_SPC (内部ターゲットエラー)	部品の交換、または故障が考えられます。お使いの装置の説明書をご参照願います。
0x0000000E	EC_ABNORMALENDORSER (エンドーサ/インプリンタ異常)	部品の交換、または故障が考えられます。お使いの装置の説明書をご参照願います。
0x0000000F	EC_INVALID_COMMAND (無効なコマンド)	ドライバ、コントロールの不正処理、または、不明な装置故障が考えられます。コンピュータおよび、スキヤナ装置を再起動後、再度処理を実行してください。

エラー番号	対処方法	属性
0x000000010	EC_INVALID_CDB_FIELD (CDB フィールドに意味不明のコードが存在)	● ■
0x000000011	EC_UNSUPPORTED_LOGICAL_UNIT (サポートしていない論理ユニット)	● ■
0x000000012	EC_INVALID_PARAM_FIELD (無効なパラメータフィールド)	● ■
0x000000013	EC_ABNORMAL_WINDOWID (Window ID の組み合わせエラー)	● ■
0x000000014	EC_ERROR_SEQUENCE (シーケンスエラー)	● ■
0x000000015	EC_UNIT_ATTENTION (装置がリセット状態です)	□
0x000000016	EC_ERROR_TRANSFER_IMAGE (イメージ転送エラー)	□ ○
0x000000017	EC_ERROR_SCSI_PARITY (SCSIパリティエラー)	■
0x000000018	EC_ERROR_LOAD_SM (ソースマネージャのロードエラー)	○
0x000000019	EC_ERROR_OPEN_SM (ソースマネージャのオープンエラー)	○
0x00000001A	EC_ERROR_OPEN_DS (データソースのオープンエラー)	○
0x00000001B	EC_ERROR_ENABLE_DS (データソースのイネーブルエラー)	○ □

エラー番号	対処方法	属性	
0x00000001D	EC_DEVICE_NOT_FOUND (接続されているデバイスが見つかりません)	装置が正しく接続されているか装置の電源が入っているか確認してください。または、他アプリケーションで使用中でないかを確認してください。スキャナ共用装置(fi-5000N)をお使いの場合は、他の利用者が使用中で無いかを確認してください。	○ □
0x0000001E	EC_UNSUPPORTED_XFERMECH (転送モードがサポートされていません)	未サポートの転送モードが指定されました。ScanTo プロパティを変更して再度処理を実行してください。	○
0x0000001F	EC_UNSUPPORTED_FILE_TYPE (サポートされていないファイル形式です)	未サポートのファイル形式が指定されました。FileType プロパティを変更して再度処理を実行してください。	○
0x00000020	EC_CANNOT_MAKE (ファイルが作成できません)	FileName プロパティで指定した文字列(ファイルパス)を確認してください。	○
0x00000022	EC_UNSUPPORTED_DS_UIONLY (データソースが設定画面のみのモードをサポートしていません)	FUJITSU TWAIN ドライバのバージョンを確認してください。	○
0x00000023	EC_INVALID_WINDOWHANDLE (アプリケーションのウィンドウハンドルが異常)	指定された Window ハンドルが異常です。指定した Window ハンドルが正しいか確認してください。	○
0x00000024	EC_UNSUPPORTED_DEVICEONLINE (使用しているデータソースが DeviceOnline 機能をサポートしていない)	スキャナドライバのバージョンが古い。または、他社スキャナドライバが選択されていることが考えられます。選択されてるスキャナドライバをご確認ください。	○
0x00000025	EC_UNSUPPORTED_FEEDER (ADF がサポートされていない)	ADF がサポートされていません。ADF がある装置か確認してください。また PaperSupply プロパティを確認して再度処理を実行してください。	□
0x00000026	EC_UNSUPPORTED_FLATBED (フラットベッド(FB)がサポートされていない)	フラットベッド(FB)がサポートされていません。PaperSupply プロパティを確認して再度処理を実行してください。	□
0x00000027	EC_ERROR_FEEDPAGE (フィードエラー)	ADF に原稿があるか確認してください。	□
0x00000028	EC_ERROR_CLEARPAGE (排紙エラー(or ClearPage 機能をサポートしていない))	JAM になっていないか確認してください。または、ClearPage 機能をサポートしているドライバか確認してください。	■
0x00000029	EC_ERROR_NOT_DS_FJTWAIN (PRODUCT FAMILY が「FUJITSU」ではない)	非 FUJITSU TWAIN ドライバエラー。現在選択されているドライバソースを確認して Fujitsu TWAIN ドライバを選択してください。	○
0x0000002A	EC_ERROR_CANCELED (ユーザーによるキャンセル、または装置が読み取りを継続できないエラー検出)	キャンセル検出エラー。ユーザーに通知するエラーです。または装置が読み取りを継続できないエラー(ディスク容量不足、パターンファイルの誤り、メモリ不足、および、イメージ転送エラー等)です。FileName プロパティで指定したドライブのディスク空き容量を確認、パターンファイルが正しいことの確認、および読み取る画像のサイズおよび解像度を小さくして、再度処理を実行してください。	□ ○
0x0000002B	EC_ERROR_MAX_CONNECTIONS (他のアプリなどでドライバが使用されている)	他でドライバが使用されています。他アプリ終了後再度処理を実行してください。	○

エラー番号	対処方法	属性
0x0000002C	EC_ERROR_LOW_MEMORY (メモリ不足)	読み取る画像のサイズおよび解像度を小さくして、再度処理を実行してください。
0x0000002D	EC_ERROR_LOW_DISK (ディスク容量不足、またはファイル書き込み時のエラー)	FileName プロパティで指定したドライブのディスク空き容量を確認してください。またはその他エラーがないか確認してください。
0x0000002E	EC_ERROR_ACCESSDENIED (ファイルが他で使用中)	FileName プロパティで指定したファイルパスを確認してください。
0x0000002F	EC_ERROR_ENV_SAVEFILE (ファイル保存環境異常)	FileName プロパティで指定したファイルパスを確認してください。
0x00000030	EC_ERROR_WRITEDENIED_FILE (ファイルに書き込み権なし)	FileName プロパティで指定したファイルパスを確認してください。
0x00000031	EC_ERROR_UNSETTING_FILENAME (ファイル名が指定されていない)	FileName プロパティで指定したファイルパスにファイル名を指定してください。
0x00000032	EC_ERROR_BAD_PATH (指定されたパスが不正)	FileName プロパティで指定したファイルパスが正しいか確認してください。
0x00000033	EC_ERROR_WRITEDENIED_DIRECTORY (指定されたディレクトリは書き込み権なし)	FileName プロパティで指定したファイルパスのディレクトリが書き込み可能か確認してください。
0x00000034	EC_ERROR_NOT_NCEVENT (NegotiateCapabilities イベントではない)	GetCapability/SetCapability メソッドを NegotiateCapabilities イベントで呼び出してください。
0x00000035	EC_ERROR_BAD_PARAMETER (指定されたパラメータが異常)	GetCapability メソッドで指定したパラメータが異常です。パラメータを確認してください。
0x00000036	EC_DOUBLEFEED (用紙のマルチフィード/ダブルフィード検出)	用紙マルチフィード(ダブルフィード)検出エラー。ユーザーに通知するエラーです。原稿の状態を見直してから、再度処理を実行してください。
0x00000037	EC_ABNORMAL_IPCOPTION (IPC オプション異常)	部品の交換、または故障が考えられます。お使いの装置の説明書をご参照願います。
0x00000038	EC_ADF_SETUPERROR (ADF セットアップエラー)	ADFピックローラの取付異常、または装置故障が考えられます。お使いの装置の説明書をご参照願います。
0x00000039	EC_ABNORMALENDORSER_PRINTEA (インプリンタ(エンドーサ)印字領域指定異常)	インプリンタ(エンドーサ)の印字領域の指定が異常です。印字位置を変更して下さい。
0x0000003A	ECENDORSER_PRINthead_CHECK (インプリンタ(エンドーサ)インクカートリッジ確認)	インプリンタ(エンドーサ)のインクカートリッジを確認してください。
0x0000003B	EC_UNSUPPORTED_FEEDERLOADED (FeederLoaded メソッドが未サポート)	スキャナドライバのバージョンが古い。または、他社スキャナドライバが選択されていることが考えられます。選択されてるスキャナドライバをご確認ください。

エラー番号	対処方法	属性
0x00000062	EC_ERROR_SYSENV (システム環境エラー)	●
0x00000063	EC_ERROR_INTERNAL (内部エラー)	●
0x000003E9	EC_ERROR_CS_VLINE_NOT_FOUND (キャリアシートの縦線が見つからない)	● ■
0x000003EA	EC_ERROR_CS_HLINE_NOT_FOUND (キャリアシートの横線が見つからない)	● ■
0x000003EC	EC_ERROR_CS_INPUT_ERROR (キャリアシート処理の入力パラメタ異常)	●
0x000007D0	EC_ERROR_CS_INVALID_DS (キャリアシート非対応データソース)	○
0x01050000	自動原稿サイズ検出機能と読み取り領域指定機能を組み合わせた時、指定した読み取り領域が原稿サイズに対して正しくない。あるいは原稿を検出するセンサーの異常。	○ ■
0x02000001	EC_ERROR_JAVA_NOINITIALIZE	○
0x02000002	EC_ERROR_JAVA_SDKABNORMITY	●
0x02000003	EC_ERROR_METHOD_SEQUENCE	●
0x02000004	EC_ERROR_SIPC_NOTINSTALL	●
0x02000005	EC_ERROR_TEMPLATEGET	●
0x02000006	EC_ERROR_TEMPLATESET	●

エラー番号	対処方法	属性
0x02000007	資源ファイル「FiScn.dll」が見つかりません。 「FiScn.dll」ファイルは、「Fiscnjar」と同じ箇所に置いているかを確認してください。	○
0x02000010	TWAIN ドライバがインストールされていません。 TWAIN ドライバをインストールしてください。	●
0x02000011	「TWAIN ドライバ」の設定ファイル総数/名称/番号の取得に失敗しました。「TWAIN ドライバ」が正しくインストールされているか確認してください。	●
0x02000012	「TWAIN ドライバ」の設定ファイル番号の設定に失敗しました。「TWAIN ドライバ」が正しくインストールされているか確認してください。	●
0x02000100	システムエラーが発生しました。再度処理を実行してください。それでもエラーが発生する場合は、弊社サポートに連絡してください。	●
0x0F000000 ～ 0x0F00FFFF	GetCapability/SetCapability メソッド呼び出し時に設定されるエラー詳細 下位 2 バイトは、TWAIN 規約の Condition Code が設定されています。 TWAIN 規約については、 <a href="http://www.twain.org/">http://www.twain.org/</a> を参照してください。	○
0xFFFFFC16	メモリ異常により、キャリアシートの画像処理に失敗しました。 再度処理を実行してください。それでもエラーが発生する場合は、弊社サポートに連絡してください。	●

上記対処方法で、問題が解決しない、または上記以外のエラーコードが復帰する場合は、エラーコードをご控えの上、弊社サポートまでご連絡ください。

## 5.3 プロパティにおける相関関係

プロパティの相関関係について下記に記述します。また対象プロパティによっては、優先順位が存在する場合がありますので、「[5.4 プロパティにおける優先順位](#)」も参照してください。

対象のプロパティに対して、有効となる条件が設定されていない場合は無効(無視される)となります。

また、無効となる条件が1つでも設定されている場合は、そのプロパティは無効となります。

注)下記表は、装置によりサポートされていないプロパティは考慮されていません。(※「[5.1 各装置で有効となるプロパティ](#)」を参照してください。)

対象プロパティ	左記プロパティが有効／無効となる条件(プロパティ値)		
	有／無	プロパティ	設定値
<a href="#">AutoBorderDetection</a>	×無効	<a href="#">UndefinedScanning</a>	「True」
	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「0 – Flatbed」 「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」 「10 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 ～ 「49 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)」
<a href="#">AutoSeparation</a>	○有効	<a href="#">PixelType</a>	「0 – Black & White」
<a href="#">BackgroundColor</a>	×無効	<a href="#">AutoBorderDetection</a>	「True」
	×無効	<a href="#">OverScan</a>	「1 – ON」
	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」 「10 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 ～ 「49 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)」
	×無効	<a href="#">UndefinedScanning</a>	「True」
<a href="#">Binding</a>	○有効	<a href="#">PaperSupply</a>	「2 – ADF(Duplex)」
	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」
<a href="#">Brightness</a>	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」
<a href="#">CloseSourceUI</a>	○有効	<a href="#">ShowSourceUI</a>	「True」
<a href="#">CompressionType</a>	×無効	<a href="#">FileType</a>	「0 – BMP」 ※ScanTo – 「2 – Raw Image Handle」 時除く

対象プロパティ	左記プロパティが有効／無効となる条件(プロパティ値)		
	有／無	プロパティ	設定値
<u>CompressionType</u> - 「6 - Old JPEG」	×無効	① <a href="#">FileType</a> ② <a href="#">PixelType</a>	「4 - PDF」「5 - Multipage PDF」「1 - Grayscale」「2 - RGB」
<u>CompressionType</u> - 「1 - CCITT G3(1D)」「2 - CCITT G3(2D) KFactor = 2」「3 - CCITT G3(2D) KFactor = 4」「4 - CCITT G4」「6 - Old JPEG」	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 - ADF(CarrierSheet Spread A3)」「5 - ADF(CarrierSheet Spread DL)」「6 - ADF(CarrierSheet Spread B4)」「7 - ADF(CarrierSheet Clipping)」
<u>Contrast</u>	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 - ADF(CarrierSheet Spread A3)」「5 - ADF(CarrierSheet Spread DL)」「6 - ADF(CarrierSheet Spread B4)」「7 - ADF(CarrierSheet Clipping)」
<u>CustomGamma</u>	○有効	<a href="#">Gamma</a>	「4 - Custom」
	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 - ADF(CarrierSheet Spread A3)」「5 - ADF(CarrierSheet Spread DL)」「6 - ADF(CarrierSheet Spread B4)」「7 - ADF(CarrierSheet Clipping)」
<u>CustomPaperLength</u> 、 <u>CustomPaperWidth</u>	○有効	<a href="#">PaperSize</a>	「99 - Custom」
<u>CustomResolution</u>	○有効	<a href="#">Resolution</a>	「99 - Custom」
<u>Endorser</u>	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「0 - Flatbed」「4 - ADF(CarrierSheet Spread A3)」「5 - ADF(CarrierSheet Spread DL)」「6 - ADF(CarrierSheet Spread B4)」「7 - ADF(CarrierSheet Clipping)」「10 - ADF(CarrierSheet Spread A3)」～「49 - ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)」
<u>EndorserCountDirection</u> <u>EndorserCounter</u> <u>EndorserCountStep</u> <u>EndorserDirection</u> <u>EndorserOffset</u> <u>EndorserString</u>	○有効	<a href="#">Endorser</a>	「True」
<u>FileCounter</u>	○有効	<a href="#">ScanTo</a>	「0 - File」
<u>FileName</u>	○有効	<a href="#">ScanTo</a>	「0 - File」
<u>FileType</u>	○有効	<a href="#">ScanTo</a>	「0 - File」
<u>Filter</u>	×無効	<a href="#">PixelType</a>	「2 - RGB」
<u>Gamma</u>	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 - ADF(CarrierSheet Spread A3)」「5 - ADF(CarrierSheet Spread DL)」「6 - ADF(CarrierSheet Spread B4)」「7 - ADF(CarrierSheet Clipping)」

対象プロパティ	左記プロパティが有効／無効となる条件(プロパティ値)		
	有／無	プロパティ	設定値
<a href="#">GammaFile</a>	○有効	<a href="#">Gamma</a>	「3 – Gamma Pattern File」
<a href="#">Halftone</a>	○有効	<a href="#">PixelType</a>	「0 – Black & White」
	○有効	<a href="#">CompressionType</a>	「0 – No Compress」
<a href="#">HalftoneFile</a>	○有効	<a href="#">Halftone</a>	「5 – Dither Pattern File」
<a href="#">Highlight</a>	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」
	○有効	<a href="#">PixelType</a>	「2 – RGB」
	○有効	① <a href="#">Gamma</a> ② <a href="#">PixelType</a>	「4 – Custom」 「1 – Grayscale」
<a href="#">Indicator</a>	○有効	<a href="#">ShowSourceUI</a>	「False」
<a href="#">JpegQuality</a>	○有効	① <a href="#">ScanTo</a> ② <a href="#">FileType</a>	「0 – File」 「3 – JPEG」、「4 – PDF」、「5 – Multipage PDF」
	○有効	① <a href="#">ScanTo</a> ② <a href="#">FileType</a> ③ <a href="#">CompressionType</a>	「0 – File」 「1 – TIFF」、「2 – Multipage TIFF」 「5 – JPEG」、「6 – Old JPEG」
	○有効	<a href="#">PaperSize</a>	「99 – Custom」
<a href="#">LongPage</a>	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「0 – Flatbed」 「3 – ADF(BackSide)」 「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」 「10 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 ～「49 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)」
	○有効	<a href="#">PaperSupply</a>	「0 – Flatbed」 「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」
<a href="#">MultiFeed</a>	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「0 – Flatbed」 「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」
<a href="#">NoiseRemoval</a>	○有効	① <a href="#">PixelType</a> ② <a href="#">Threshold</a>	「0 – Black & White」 「0」
	○有効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」
<a href="#">Orientation</a>	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」
<a href="#">Outline</a>	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」

対象プロパティ	左記プロパティが有効／無効となる条件(プロパティ値)		
	有／無	プロパティ	設定値
<u>Outline</u> - 「0 – None」 「1 – Outline Emphasis Low」 「2 – Outline Emphasis Mid」 「3 – Outline Emphasis High」 「4 – Outline Smooth」 「5 – Edge Extract」	○有効	<u>PixelType</u>	「0 – Black&White」
<u>Outline</u> - 「0 – None」 「1 – Outline Emphasis Low」 「2 – Outline Emphasis Mid」 「3 – Outline Emphasis High」 「5 – De-Screen Level 1」 「6 – De-Screen Level 2」 「7 – De-Screen Level 3」 「8 – De-Screen Level 4」	○有効	<u>PixelType</u>	「2 – RGB」
<u>OverScan</u>	×無効	<u>AutoBorderDetection</u>	「True」
	×無効	<u>PaperSupply</u>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」 「10 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 ～ 「49 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)」
	×無効	<u>UndefinedScanning</u>	「True」
<u>Overwrite</u>	○有効	<u>ScanTo</u>	「0 – File」
<u>PaperSize</u>	×無効	<u>PaperSupply</u>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」 「10 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 ～ 「49 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)」
<u>PixelType</u> - 「0 – Black&White」	×無効	<u>FileType</u>	「3 – JPEG」
	×無効	<u>PaperSupply</u>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」
<u>PixelType</u> - 「1 – Grayscale」	×無効	① <u>ScanTo</u> ② <u>FileType</u> ③ <u>CompressionType</u>	「0 – File」 「1 – TIFF」、「2 – Multipage TIFF」 「1 – CCITT G3(1D)」、「2 – CCITT G3(2D) KFactor = 2」、「3 – CCITT G3(2D) KFactor = 4」、「4 – CCITT G4」
	×無効	<u>PaperSupply</u>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」

対象プロパティ	左記プロパティが有効／無効となる条件(プロパティ値)		
	有／無	プロパティ	設定値
<a href="#">PreFiltering</a>	○有効	<a href="#">①PixelType</a> <a href="#">②Threshold</a>	「0 – Black & White」 「0」
<a href="#">RegionLeft</a> <a href="#">RegionLength</a> <a href="#">RegionTop</a> <a href="#">RegionWidth</a>	✗ 無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」 「10 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 ～ 「49 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)」
<a href="#">ReportFile</a>	○有効	<a href="#">Report</a>	「2 – File」、 「3 – Display+File」
<a href="#">Reverse</a>	✗ 無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」
<a href="#">Rotation</a>	✗ 無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」
<a href="#">ScanCount</a>	✗ 無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「0 – Flatbed」 「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」
<a href="#">ScanTo</a> – 「2 – Raw Image Handle」	✗ 無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」 「10 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 ～ 「49 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)」

対象プロパティ	左記プロパティが有効／無効となる条件(プロパティ値)		
	有／無	プロパティ	設定値
SEE	○有効	<a href="#">PixelType</a>	「0 – Black & White」
	×無効	<a href="#">AutoSeparation</a>	「ON」
	×無効	<a href="#">Halftone</a>	「0 – None」
Shadow	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」
	○有効	<a href="#">PixelType</a>	「2 – RGB」
	○有効	① <a href="#">Gamma</a> ② <a href="#">PixelType</a>	「4 – Custom」 「1 – Grayscale」
ShowSourceUI	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」
SkipBlackPage SkipWhitePage	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」
Smoothing	○有効	① <a href="#">PixelType</a> ② <a href="#">Threshold</a>	「0 – Black & White」 「0」
ThresholdCurve	○有効	① <a href="#">PixelType</a> ② <a href="#">Threshold</a>	「0 – Black & White」 「0」
UndefinedScanning	×無効	<a href="#">PaperSupply</a>	「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」 「10 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」 ～「49 – ADF(CarrierSheet Clipping Duplex Custom)」

※SourceCurrentScan プロパティが「True」の場合は、ScanTo、FileType、FileName、CompressionType、ScanCount、ShowSourceUI、SilentMode、FileCounter、JpegQuality、Indicator プロパティ以外は無効となります。

## 5.4 プロパティにおける優先順位

複数のプロパティ(効果)に対して有効となる値を設定しても、1つのプロパティ(効果)しか有効とならない(その他は無効となる)場合があり下記に記述します。

不等号の右側にあるものが左側よりも優先されることをあらわしています。

注)下記は、装置によりサポートされていないプロパティは考慮されていません。(※「5.1 各装置で有効となるプロパティ」を参照してください。)

- [BackgroundColor](#) < [OverScan](#) < [AutoBorderDetection](#) < [UndefinedScanning](#)
- [PixelType](#) 「0 – Black & White」 < [Threshold](#) 「0」 < [Halftone](#) < [SEE](#) < [AutoSeparation](#) < [PixelType](#) 「1 – Grayscale」、「2 – RGB」
- [PixelType](#) 「1 – Grayscale」、「2 – RGB」 < [CompressionType](#) 「1 – CCITT G3(1D)」, 「2 – CCITT G3(2D) KFactor = 2」, 「3 – CCITT G3(2D) KFactor = 4」, 「4 – CCITT G4」  
(但し、FileType プロパティが「1 – TIFF」, 「2 – Multipage TIFF」が指定されている場合)
- [PixelType](#) 「0 – Black & White」、「1 – Grayscale」 < [PaperSupply](#) 「4 – ADF(CarrierSheet Spread A3)」, 「5 – ADF(CarrierSheet Spread DL)」, 「6 – ADF(CarrierSheet Spread B4)」, 「7 – ADF(CarrierSheet Clipping)」

## 5.5 画像処理ソフトウェアオプションを利用する場合に有効な指定

### プロパティ

「5.1 各装置で有効となるプロパティ」をご覧ください。

### メソッド

SetCapability と GetCapability 以外が有効です。

### イベント

すべて有効です。

## 5.6 用語説明

### ASPI (Advanced SCSI Programming Interface)

高度化SCSIインターフェースドライバ。代表的なアプリケーションインターフェースを持つ SCSI インタフェースドライバの一つです。

### Capability

TWAIN インタフェースにおいて、ソース(ドライバ)とやりとりする際に使用される機能を表します。

### TWAIN

ソフトウェア・アプリケーションとイメージスキャナなどの画像入力装置との間のやり取りを行なうための標準規格です。

### インプリンタ(エンドーサ)

プリンタ機構の一種であり、fiシリーズイメージスキャナのオプション装置です。このオプションが装着されたイメージスキャナでは、読み取り前後に原稿を識別する為の番号などを印刷することができます。(一部のイメージスキャナでは対応しておりません)

### ガンマ補正

原稿から反射した光に比例したイメージセンサーの出力の暗部を、より明るくしたり明部をより暗くする等の補正を行うことです。

### 画像処理ソフトウェアオプション

画像処理ボードが対応していないイメージスキャナに対して、高度な画像処理をソフトウェアで低価格に実現したオプション製品です。

### 画像処理ボード

読み込んだ画像データをイメージ処理アプリケーションに送信する前に、高度な画像処理を高速に実現可能とするオプションボードです。(一部のイメージスキャナでは対応しておりません。)

### 誤差拡散法

注目画素と周辺の画素の濃度の総和と、隣接画素間の相互関係に基づき、高濃度順に黒画素を再配置し、高階調特性と高解像度特性の両立を図った疑似中間調方式。

### コントラスト

原稿において、画像の最も明るいところと暗いところの比。白黒の明瞭なものをコントラストが高いと表現します。

### サイレントモード

エラーメッセージなどの通知を行なわないモードをいいます。

### 下地追従

下地色(背景色)が白色でない原稿を読み取る場合に、コントラストを自動的に補正することをいいます。

## **自動像域分離**

読み取り時に線画(文字)と画像(写真)領域を区別して、線画部分は「2値白黒」で読み取り、画像部分は、「中間調白黒(ハーフトーン)」で読み取る処理をいいます。

## **ジャム**

原稿がイメージスキャナの搬送路の途中に詰まってしまうことです。

## **ジョブ制御**

特殊原稿(特定形状の原稿)を検出した場合の処理の制御をいいます。

## **スレッシュホールド**

白黒画像の白と黒を区別する基準となるしきい値をいいます。

## **選択的強調**

線画(文字)と画像(写真)領域を中間調で読み取り、線画部分のみを強調する処理をいいます。

## **ソース(データソース)**

「FUJITSU TWAIN32 ドライバ」などのイメージスキャナ制御部のことです。

## **ソースマネージャー(データソースマネージャー)**

TWAIN.DLL／TWAIN\_32.DLL のことであり、アプリケーションとソース(ドライバ)の間のやり取りは、このソースマネージャーを通して行なわれます。

## **マルチフィード(ダブルフィード)**

一度に2枚以上の原稿が重なって給紙されてしまう現象をいいます。

## **中間調(ハーフトーン)処理**

白と黒の2階調で、グレーを擬似的に表現する処理をいいます。

## **ドロップアウトカラー**

原稿上に予め印刷もしくは印字されている画像の色の内、人の目には見えるが、イメージスキャナ等で読み取ったときに画像として現れない色のことをいいます。

## **ブライトネス**

輝度のことで、画像の明るさのことです。

## **輪郭平滑化**

ギザギザになった線を取り除いて、画像内の曲線を滑らかにします。

# 索引

---

## A

AboutBox .....	128
ADF .....	87
AutoBorderDetection .....	29
AutoSeparation .....	30

---

## B

Background .....	31
BackgroundColor .....	32
Binding .....	33
BMP .....	58
Brightness .....	34

---

## C

CancelScan .....	129
ClearPage .....	130
CloseScanner .....	132
CloseSourceUI .....	35
CompressionType .....	36
Contrast .....	38
CustomGamma .....	39
CustomPaperLength .....	40
CustomPaperWidth .....	42
CustomResolution .....	43

---

## D

DetectJobSeparator .....	160
--------------------------	-----

---

## E

Endorser .....	45
EndorserCountDirection .....	46
EndorserCounter .....	47
EndorserCountStep .....	49
EndorserDirection .....	50
EndorserOffset .....	51
EndorserString .....	52
ErrorCode .....	54

---

## F

FeederLoaded .....	133
FileCounter .....	55
FileName .....	56
FileType .....	58
Filter .....	60

---

---

## G

Gamma .....	62
GammaFile .....	63
GetCapability .....	134
GetSIpcTemplateCount .....	135
GetSIpcTemplateName .....	137
GetSIpcTemplateSelect .....	139
GetTWAINTemplateCount .....	140
GetTWAINTemplateName .....	142
GetTWAINTemplateSelect .....	143

---

## H

Halftone .....	64
HalftoneFile .....	66
Highlight .....	67

---

## I

ImageScanner .....	68
Indicator .....	69
IsExistsFB .....	70

---

## J

Java™ サンプル .....	176
JobControl .....	71
JPEG .....	58
JpegQuality .....	72
Jpeg 圧縮形式の設定 .....	72

---

## L

LongPage .....	73
----------------	----

---

## M

Mirroring .....	75
MultiFeed .....	76

---

## N

NegotiateCapabilities .....	161
NoiseRemoval .....	77

---

## O

OCR スムージング/背景除去の設定	117
OpenScanner	144
Orientation	78
Outline	79
OverScan	81
Overwrite	82

---

## P

PageCount	84
PaperSize	85
PaperSupply	87
PDF	58
PixelType	91
PreFiltering	93

---

## R

RegionLeft	94
RegionLength	95
RegionTop	97
RegionWidth	98
Report	100
ReportFile	101
Resolution	102
Reverse	104
Rotation	105

---

## S

ScanCount	106
ScannerAvailable	145
ScanTo	108
ScanToDib	162
ScanToFile	163
ScanToRaw	164
SEE	109
SelectSource	147
SetCapability	149
SetSIpcTemplateSelect	150
SetTWAINTemplateSelect	151
SetupDataSourceProperties	152
Shadow	110
ShowSourceUI	112
SilentMode	114
SkipBlackPage	115
SkipWhitePage	116
Smoothing	117
SoftIPC Template	170
SourceCurrentScan	118
StartScan	154

---

## T

Threshold	120
ThresholdCurve	121
TIFF	58
TWAIN Template	171
TwainDS	122
TWAIN データソースの選択	122

---

## U

UndefinedScanning	124
Unit	125

---

## V

Visual Basic® サンプル	172
Visual C#® サンプル	172
Visual C++® サンプル	174

---

## あ

明るさの設定	34
アンインストール	14, 20

---

## い

イベント	158
イベント一覧	158
イメージスキャナ名の取得	68
イメージの読み取り中止	129
インストール	8

---

## え

ADF の原稿の有無の通知	133
エラー情報の取得	54
エラーコード	197
エンドーサー/インプリント印字開始位置の設定	51
エンドーサー/インプリントカウンタの初期値設定	47
エンドーサー/インプリントカウンタのステップ値を設定	49
エンドーサー/インプリントカウンタのステップ方向を設定	46
エンドーサー/インプリントの印字方向を設定	50
エンドーサー/インプリントの設定	45
エンドーサー/インプリント文字列の設定	52

---

## お

オーバースキャンの設定	81
-------------	----

---

## か

解像度の設定（定型）	102
解像度の設定（カスタム）	43
回転角度の設定	105
カウンタの印字方向	50
カウンタの初期値	47
カウンタのステップ方向	46
カスタム原稿の長さ設定	40
カスタム原稿の横幅設定	42
画像処理ソフトウェアオプション	135, 137, 139, 150
画像処理ソフトウェアオプションで有効な指定	209
画素タイプの設定	91
カレント値で読み取り	118
ガンマ値の指定（カスタム指定）	39
ガンマパターンファイル名の指定	63
ガンマ補正の設定	62

---

## き

キャパビリティ設定通知	161
キャパビリティの取得	134
キャパビリティの設定	149
給紙方法の設定	87
鏡像反転処理の設定	75

---

## け

原稿サイズの設定（定型）	85
原稿の排出処理	130
原稿方向の設定	78

---

## こ

後端検出	124
誤差拡散法	64
ゴミ取りモードの設定	77
コントラストの設定	38

---

## さ

サイレントモードの設定	114
左端位置の設定（読み取り領域）	94

---

## し

下地追従処理の設定	31
自動原稿サイズ検出の設定	29
自動像域分離処理の設定	30
シャドウの設定	110
終了処理	132
上端位置の設定（読み取り領域）	97

---

初期化処理	144
ジョブ制御の設定	71
白黒反転の設定	104

---

## す

ステップ値	49
スレッシュホールドの設定	120
寸法単位の設定	125

---

## せ

製品の構成	6
製品の互換性	6
設定ファイル総数の取得（TWAIN ドライバ）	140
設定ファイル番号の取得（TWAIN ドライバ）	143
設定ファイル番号の設定（TWAIN ドライバ）	151
設定ファイル名の取得（TWAIN ドライバ）	142
選択的強調の設定	109

---

## そ

装置（スキャナ）の状態確認	145, 146
---------------	----------

---

## た

対応機種一覧	177
--------	-----

---

## ち

長尺読み取りの設定	73
-----------	----

---

## て

データ圧縮形式の設定	36
データソースの選択処理	147, 148
テンプレート総数の取得（画像処理ソフトウェアオプション）	135
テンプレート番号の取得（画像処理ソフトウェアオプション）	139
テンプレート番号の設定（画像処理ソフトウェアオプション）	150
テンプレート名の取得（画像処理ソフトウェアオプション）	137

---

## と

TWAIN ドライバ	140, 142, 143, 151
特殊原稿	71
特殊原稿の検出通知（ジョブ制御）	160

ドロップアウトカラーの設定 ..... 60

---

## な

長さの設定（読み取り領域） ..... 95

---

## の

濃度カーブの設定（自動 2 値指定時） ..... 121

---

## は

バージョン情報ダイアログの表示 ..... 128  
ハーフトーンパターンの設定 ..... 64  
ハーフトーンパターンファイルの指定 ..... 66  
背景色（黒背景）の設定 ..... 32  
ハイライトの設定 ..... 67

---

## ふ

ファイル形式の設定 ..... 58  
ファイルの上書き設定 ..... 82  
ファイル名の設定 ..... 56  
ファイル連番の設定 ..... 55  
ファイル渡し ..... 163  
不定長読み取りの設定 ..... 124  
フラットベット ..... 87  
フラットベッドのサポート情報取得 ..... 70  
ブランクページスキップの設定（黒原稿） ..... 115  
ブランクページスキップの設定（白原稿） ..... 116  
プログラムの配布方法 ..... 24  
プログレスインジケーターの表示 ..... 69  
プロジェクトからの削除方法 ..... 23  
プロジェクトへの組み込み方法 ..... 22  
プロパティ ..... 28  
プロパティー覧 ..... 25  
プロパティーの相関関係 ..... 203  
プロパティーの優先順位 ..... 209  
プロパティページ ..... 165

---

## ほ

ボールペンフィルタの設定 ..... 93

---

## ま

マルチイメージ設定 ..... 118  
マルチフィード検出の設定 ..... 76

---

## め

メソッド ..... 127  
メソッド一覧 ..... 126  
メモリ渡し ..... 164

---

## も

文字列 ..... 52

---

## ゆ

ユーザーインターフェースのクローズ指定 ..... 35  
ユーザーインターフェースの表示（設定用） ..... 152  
ユーザーインターフェースの表示 ..... 112

---

## よ

用語説明 ..... 210  
用例および表記規則（イベント） ..... 159  
用例および表記規則（メソッド） ..... 127  
用例および表記方法（プロパティ） ..... 28  
横幅の設定（読み取り領域） ..... 98  
呼び出し元アプリケーションの指定 ..... 90  
読み取りデータの出力先 ..... 108  
読み取りの開始 ..... 126, 154  
読み取りページ数の設定 ..... 106  
読み取り枚数の取得 ..... 84

---

## ら

ランタイムライブラリ ..... 24

---

## り

両面とじ方向の設定 ..... 33  
輪郭強調 ..... 79  
輪郭抽出 ..... 79  
輪郭に関する補正機能の設定 ..... 79  
輪郭平滑化 ..... 79

---

## れ

レポート出力の設定 ..... 100  
レポートファイル名の設定 ..... 101

---

**Fujitsu Scanner Control SDK**  
リファレンスマニュアル

2011 年 10 月 第 01 版発行

© PFU LIMITED 2011

---